

「寝屋川市地域福祉計画」の見直しに向けた

「暮らしと福祉」についてのアンケート調査
地域福祉活動等に関するアンケート調査

報 告 書

平成 22 年 3 月

寝屋川市保健福祉部福祉政策課

目 次

調査の実施概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. この報告書について	2

市民アンケート調査の結果

1. 回答者の属性と暮らしの状況について	3
2. 地域福祉に関する評価やニーズについて	8
3. 地域福祉への参加やしくみづくりに関する意向について	12

校区福祉委員アンケート調査の結果

1. 回答者の属性と暮らしの状況について	18
2. 現在参加している地域福祉活動について	22
3. 地域福祉活動を推進していくための課題などについて	29
4. 地域福祉に関する評価や課題などについて	34

地域福祉計画の見直しに向けて

1. 「地域福祉活動」の取り組みに関すること	40
2. 「地域福祉サービス」の取り組みに関すること	43
3. 「地域福祉のしくみづくり」の取り組みに関すること	45

集 計 表

1. 市民アンケート調査 単純集計表（年齢・性別集計）【表1-1～21】	47
2. 市民アンケート調査 クロス集計表【表2-1～14】	58
3. 校区福祉委員アンケート調査 クロス集計表【表3-1～18】	65
4. 平成15年調査の結果【抜粋】【表4-1～6】	73

調 査 票

1. 市民アンケート調査 調査票	79
2. 校区福祉委員アンケート調査 調査票	82

調査の実施概要

1. 調査の目的

寝屋川市は、“1 + 1 を 3 に！ 私たちのつながりでひろげる「元気都市」の福祉”をスローガンとした「寝屋川市地域福祉計画」を平成17年3月に策定し、市民や関係者の方々と連携して推進してきました。この取り組みをふりかえり、十分には取り組めなかった課題や新たな状況に対応する新しい地域福祉計画を策定します。

この計画は、保健福祉に関する活動・事業を行っている方々や、地域で暮らしている市民の方々と協力して地域福祉をすすめるよう、計画づくりにもできるだけ多くの方に参加していただき、いっしょにつくっていくことを重視して策定します。

そのため、計画づくりへの参加の場のひとつとして、地域での暮らしや地域福祉についてのご意見、地域福祉活動への参加の意向などを広くお聞きするために、市民や地域福祉活動に参加しておられる方々を対象としたアンケート調査を実施しました。

2. 調査の実施概要

(1) 市民アンケート調査

1) 調査の内容

市民に、暮らしや福祉についてのご意見を広くお聞きするために、下記の項目について調査を実施しました。

- ①回答者の属性と暮らしの状況
- ②地域福祉に関する評価やニーズ
- ③地域福祉への参加やしくみづくりに関する意向

2) 調査の対象者

次世代を担う若者の意見も把握するよう、16歳以上の市民を対象として、平成22年2月25日現在の住民基本台帳から3,000人を無作為に抽出しました。

3) 調査の方法

郵送で調査票の配付・回収を行う、自記式の質問紙法で実施しました。

調査票は平成22年2月26日に発送し、3月14日を返信のしめきりとしましたが、できるだけ多くの方のご意見を反映するよう、3月29日までに到着したものを有効としました。また、その後に到着したものについても、記述回答については計画の検討に反映していくものとします。

4) 調査の回収状況

宛先不明等で返送されたものを除いた有効配付数2,976通に対して、1,186通が返送されました。有効回収率は39.9%です。

(2) 校区福祉委員アンケート調査

1) 調査の内容

現在、地域で福祉活動をしておられる校区福祉委員の方々に、活動の状況や今後のご意向、地域福祉に関する課題などをお聞きするため、寝屋川市校区福祉委員長協議会のご協力を得て、下記の項目について調査を実施しました。

- ①回答者の属性と暮らしの状況
- ②現在参加している地域福祉活動
- ③地域福祉活動を推進していくための課題など
- ④地域福祉に関する評価や課題など

2) 調査の対象者

概ね小学校区単位に設置されている23校区福祉委員会の平成21年度の委員名簿に記載された1,349人全員を対象としました。

3) 調査の方法

郵送で調査票の配付・回収を行う、自記式の質問紙法で実施しました。

調査票は平成22年3月1日に発送し、3月17日を返信のしめきりとしましたが、できるだけ多くの方のご意見を反映するよう、3月29日までに到着したものを有効としました。また、その後に到着したものについても、記述回答については計画の検討に反映していくものとします。

4) 調査の回収状況

宛先不明等で返送されたものを除いた有効配付数1,332通に対して、871通が返送されました。有効回収率は65.4%です。

3. この報告書について

- ・この報告書は、選択肢での回答を求めた設問についての集計結果を中心に記載しています。本調査では、多くの方が記述式の設問にも回答してくださっていますので、それらのご意見は計画策定の過程のなかで検討し、計画に反映していきます。
- ・この報告書では、各設問の回答の構成比（パーセント）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、すべての項目の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の問いでは、合計が100%を超える場合があります。

市民アンケート調査の結果

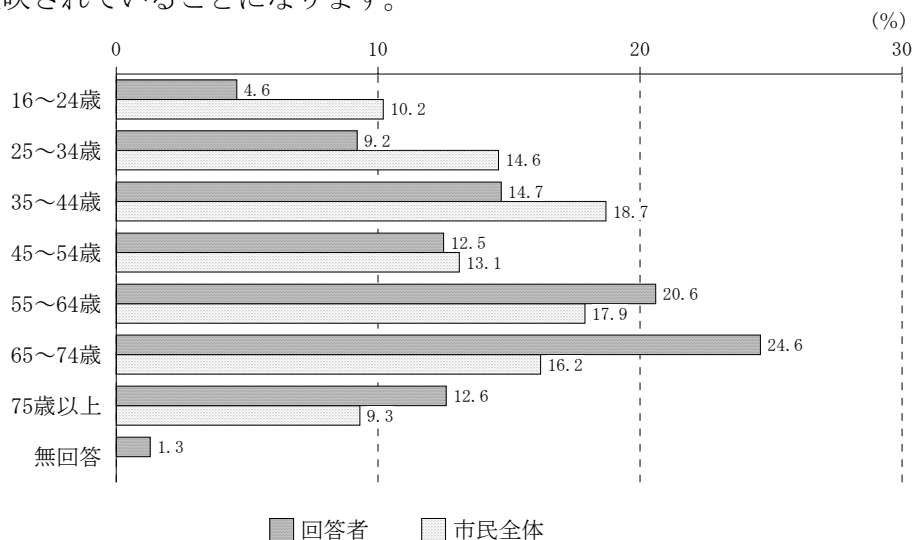
1. 回答者の属性と暮らしの状況について

問1 あなたの年齢は。

回答者の年齢を概ね10歳ごとに区分すると、「65～74歳」が24.6%、「55～64歳」が20.6%と大きめの割合です。

平成15年調査では「55～64歳」が最も多かったことから、今回の調査の結果は、本市でも高齢化がいつそうすすんでいることを反映しているものといえます。[表4-1]

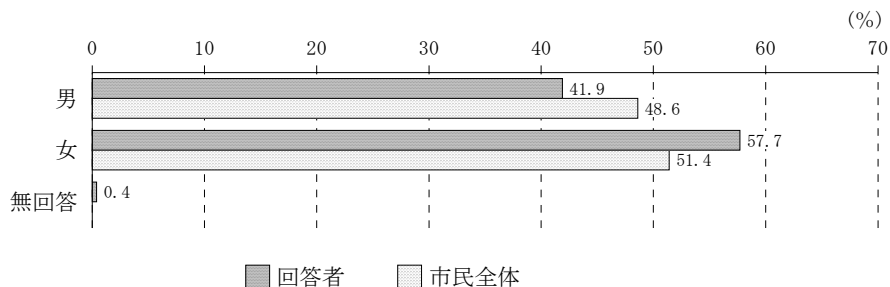
調査の実施時期である平成22年3月1日の本市の人口統計と比較すると、この調査の回答者は55歳以上の人の割合が大きく、回答者全体での集計結果にはこの年代の人の意見が大きめに反映されていることになります。



問2 あなたの性別は。

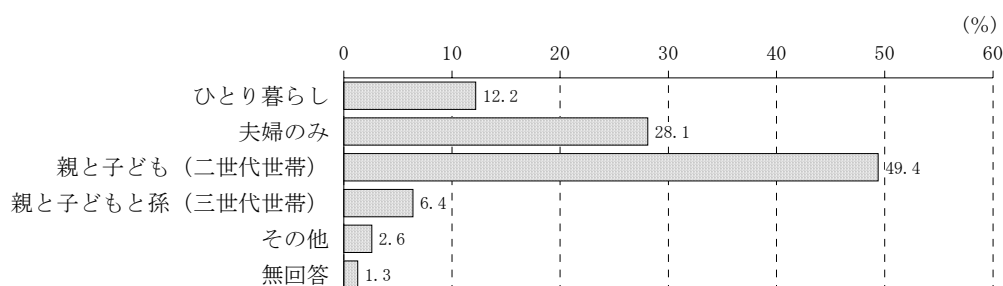
回答者の性別は「男」が41.9%、「女」が57.7%です。

平成22年3月1日の人口統計と比較すると、この調査の回答者は女性の割合が大きく、回答者全体の集計には女性の意見が大きめに反映されていることになります。



問3 同居されている家族の構成は。

「親と子ども（二世世代世帯）」(49.4%)が約半数です。「夫婦のみ」(28.1%)が約3割、「ひとり暮らし」(12.2%)が約1割で、「親と子どもと孫（三世世代世帯）」は6.4%です。



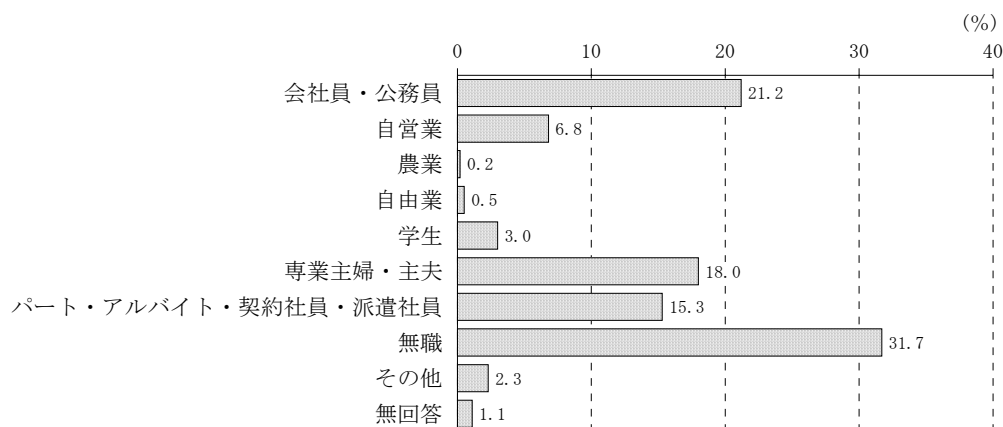
平成15年調査と比較すると、「ひとり暮らし」が7.8% → 12.2%に増加し、「三世世代世帯」は11.8% → 6.4%に減少しており、世帯規模が小さくなっていることが反映されています。

【表4-2】

年齢別にみると、【54歳まで】の各区分では「二世世代世帯」が約7～8割を占めていますが、【55歳以上】の区分では「夫婦のみ」や「ひとり暮らし」が増加し、【65～74歳】では「夫婦のみ」が50.0%となり、さらに、【75歳以上】では「ひとり暮らし」が26.8%と割合が大きくなっています。【表1-3】

問4 あなたのお仕事は。

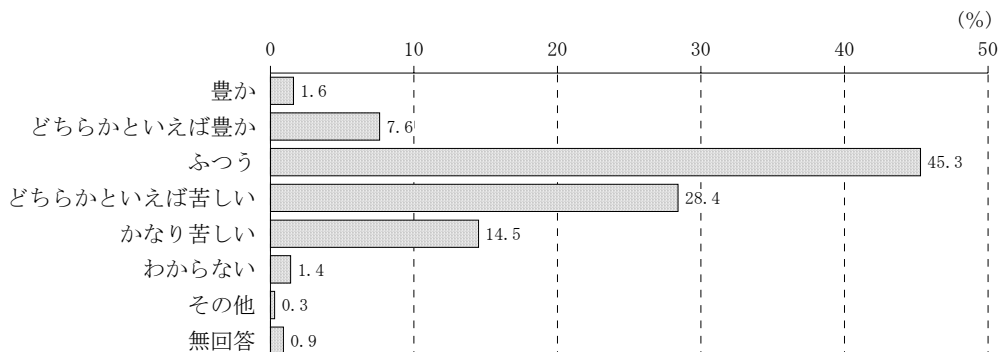
「無職」が31.7%、「会社員・公務員」が21.2%、「専業主婦・主夫」が18.0%、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が15.3%などとなっています。



平成15年調査とは選択肢が異なりますので正確な比較はできませんが、「無職（平成15年調査では「有給の仕事には就いていない」という選択肢でした）」の人が20.5%から31.7%に増加しています。これは、問1（回答者年齢）でみたように、高齢化がすすんだことが関係しています。【表4-3】

問5 あなたの世帯の現在の暮らし向き（経済的な状況）は。

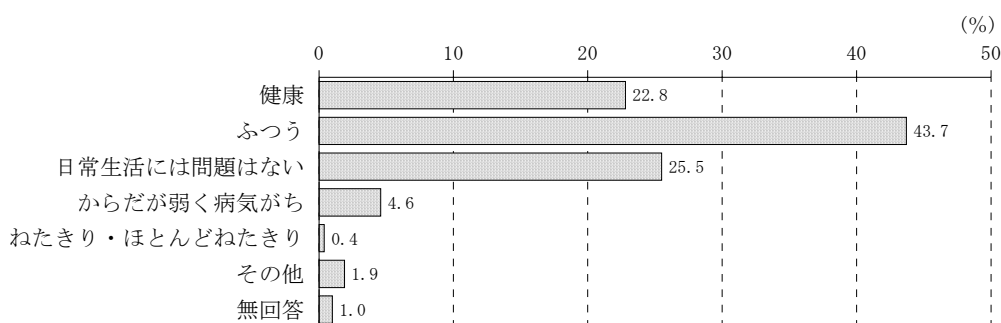
「ふつう」(45.3%)と答えた人が半数弱です。「どちらかといえば苦しい」(28.4%)または「かなり苦しい」(14.5%)と答えた人があわせて4割強、「どちらかといえば豊か」(7.6%)または、「豊か」(1.6%)と答えた人があわせて約1割です。



平成15年調査とは選択肢が若干異なりますが、「ふつう」と答えた人が50.5%から45.3%へとやや減少し、「かなり苦しい」が11.8% → 14.5%、「どちらかといえば豊か」が5.5% → 7.6%へと、いずれもやや増加しています。【表4-4】

問6 あなたの現在の健康状態は。

「ふつう」(43.7%)と答えた人が最も多く、「健康」(22.8%)と答えた人の2倍近い割合でした。「持病や障害などがあるが、日常生活には問題はない」(25.5%)と答えた人を含めて、9割強の人は生活には支障のない健康状態ですが、「からだが弱く、病気がち」の人が4.6%、「ねたきり（ほとんどねたきり）」の人が0.4%です。また、「その他」(1.9%)では、健康上で何らかの問題を感じていることが多く記載されています。

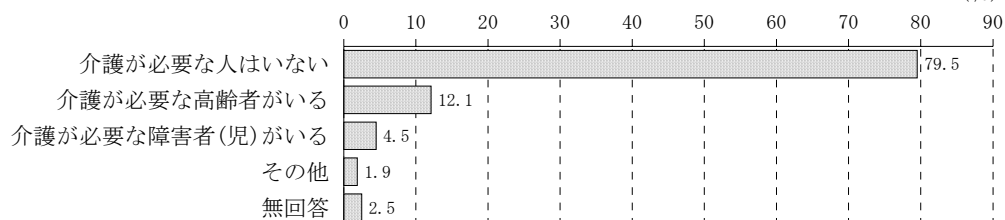


年齢別にみると、【16～24歳】は「健康」が63.0%ですが、【25歳以上】では「ふつう」と答えた人が多くなり、【45歳以上】では「持病や障害などがあるが、日常生活には問題はない」と答えた人が増えています。また、【75歳以上】では「からだが弱く、病気がち」(9.4%)または「ねたきり（ほとんどねたきり）」(2.0%)の人が約1割で、健康や介護の問題が大きくなることが示されています。【表1-6】

問7 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいますか。(複数回答)

ご自身または家族に「介護が必要な高齢者がいる」人が12.1%、「介護が必要な障害者(児)がいる」人が4.5%です。また、これらのうちの0.6%は「介護が必要な高齢者と障害者(児)がいる」と答えています。

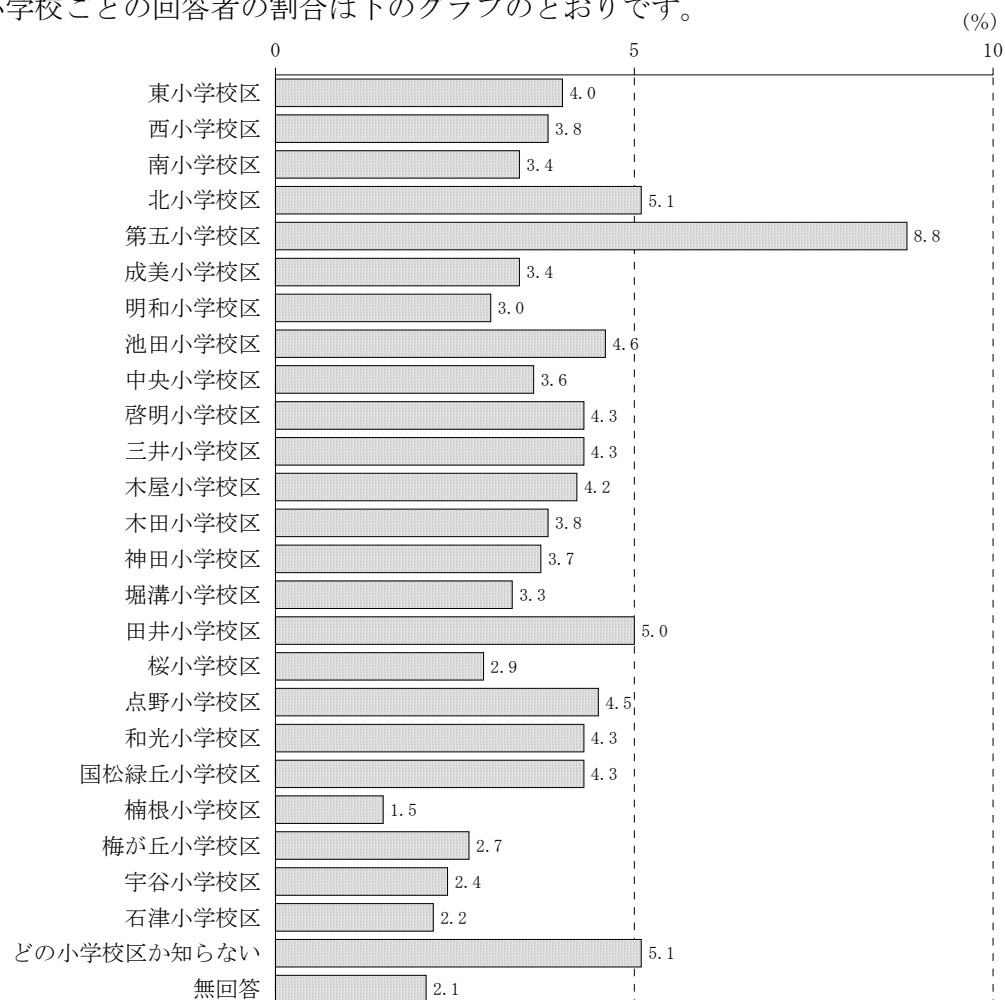
なお、「その他」(1.9%)では、現在は家族に介護が必要な人はいないものの、介護に関して何らかの気がかりなことなどを感じていることが多く記載されています。(%)



介護が必要な人がいると答えた人の年齢別の分布をみると、【55歳以上】の割合が大きくなっています。[表2-1]

問8 あなたが現在お住まいの小学校区は。

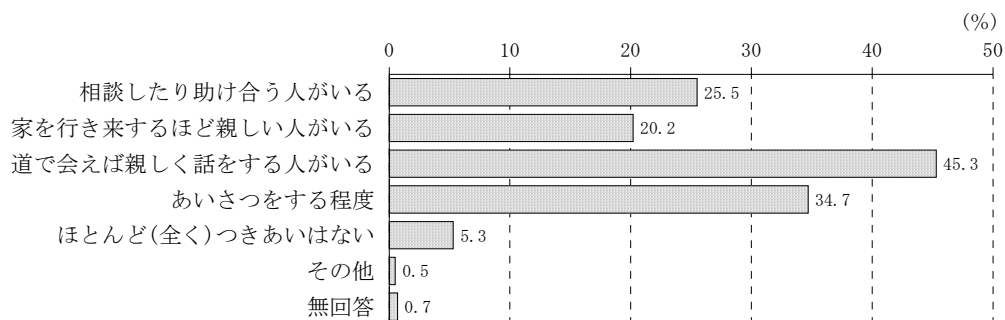
小学校ごとの回答者の割合は下のグラフのとおりです。



問9 あなたやご家族は、近所の人とどの程度の交流がありますか。(複数回答)

「困ったときには相談したり助け合う人がある」(25.5%)、「家を行き来するほど親しい人がある」(20.2%)、「道などで会えば親しく話をする人がある」(45.3%)のいずれか1つ以上に該当する“近所の人と親しい交流がある人”が約6割(58.8%)です。

一方、「あいさつをする程度」の交流の人が34.7%、「ほとんど(全く)つきあいはない」人が5.3%です。



年齢別にみると、【65歳以上】では、相談したり、家を行き来するなどの親しい交流がある人の割合がそれ以下の年齢層よりも大きく、地域とのつながりが増えていることが示されていますが、あいさつ程度やつきあいがいない人も約3割です。また、【34歳以下】で交流が少ない人の割合が大きい傾向がみられます。

また、性別にみると、親しい交流がある人の割合は【女性】の方が大きく、【男性】は「あいさつをする程度」または「ほとんど(全く)つきあいはない」人が約半数です。

【表1-9】

【介護が必要な高齢者または障害者(児)がいる】人(問7)は、生活のなかでさまざまな支援が必要になる場合が多いと考えられますが、近所の人との交流については全体と大きな差はなく、交流が少ない人が少なくありません。【表2-2】

2. 地域福祉に関する評価やニーズについて

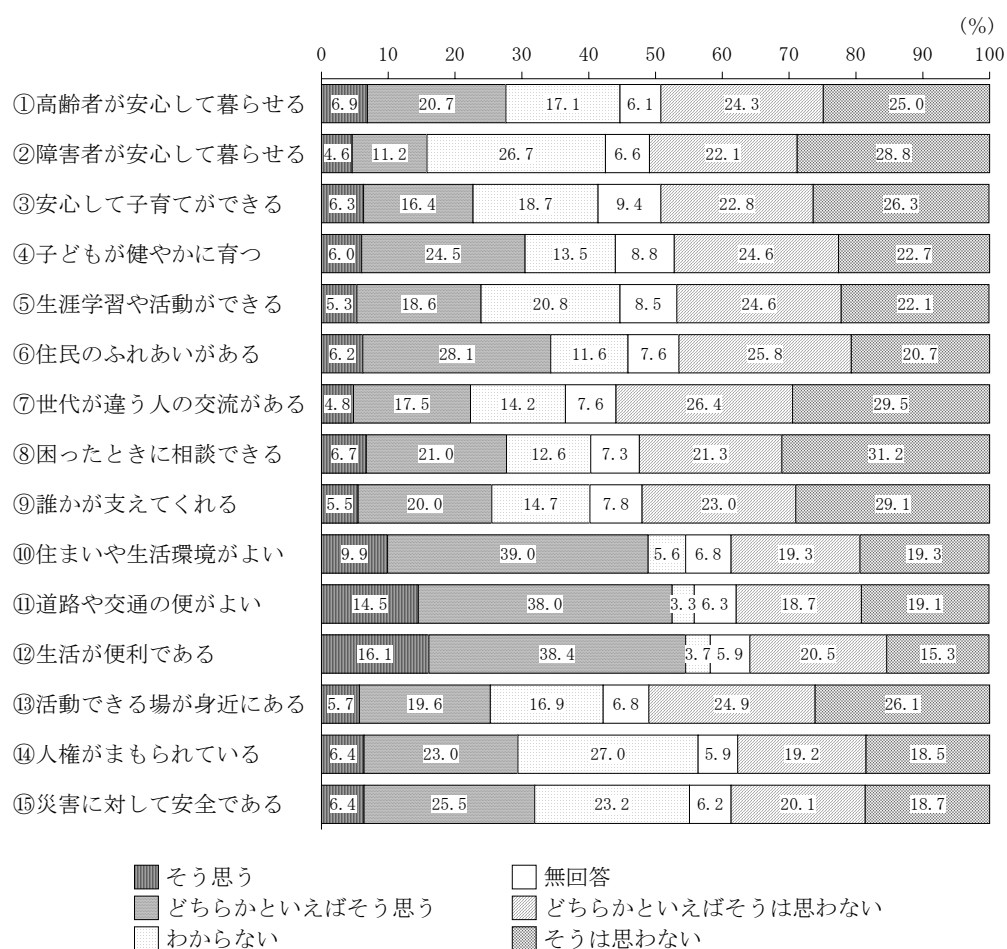
問10 あなたは現在お住まいの地域での暮らしに関するつぎのことについてどのように感じていますか。

暮らしに関わる15の事柄をあげて、現在住んでいる地域での状況をどのように感じているかをたずねました。

望ましい状況としてあげた15の事柄に対して、「そう思う」と肯定的に答えた人の割合が比較的大きかったのは、《⑫生活のいろいろな面で便利である》(16.1%)、《⑪道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい》(14.5%)、《⑩住まいや地域の生活環境がよい》(9.9%)という、いずれも都市環境的な面に関することでした。これらは「どちらかというと思う」と答えた人を加えると、半数程度(順に54.5%、52.5%、48.9%)の人が肯定的に評価しています。

これらに次いで、《⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある》(34.3%)、《⑮災害などに対して安全である》(31.9%)、《④子どもが健やかに育つ環境がある》(30.5%)、《⑭すべての人の人権がまもられている》(29.4%)についても、“どちらかといえば”も含めて肯定的に評価している人の割合が比較的大きめです。

都市環境的な面に関すること(《⑫生活のいろいろな面で便利である》、《⑪道路や交通の



便がよくだれもが外出しやすい》、《⑩住まいや地域の生活環境がよい》) 以外は、否定的な評価をした人の割合の方が大きくなっています。また、肯定的に評価している人が比較的多い事柄についても「どちらかというと思うは思わない」、「そうは思わない」という否定的な評価の人は多く、さまざまな感じ方があることが示されています。

なお、《⑭すべての人の人権がまもられている》(27.0%)、《②障害者が社会に参加し、安心して暮らせる》(26.7%)をはじめ、「わからない」と答えた人の割合が大きい事柄もありました。

回答者の属性等と関係が大きいと思われる項目についてクロス集計をしてみました。

《①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる》について、【65歳以上】の人では「そう思う」または「どちらかというと思う」と肯定的に答えた人の割合がそれ以下の年齢層よりも大きめですが、【65～74歳】と【75歳以上】では意識に違いがあり、【65～74歳】では否定的な評価の人の割合の方が大きくなっています。【表1-10-1】

《③ゆとりをもって安心して子育てができる》については、【25～34歳】では「そう思う」と答えた人の割合が他の年齢層よりも大きい一方で、「そうは思わない」と答えた人の割合も大きく、評価が分かれています。また、【35～54歳】の年齢層でも「そうは思わない」と答えた人の割合が大きくなっています。《④子どもが健やかに育つ環境がある》も同様の傾向で、【16～34歳】で「そう思う」と答えた人の割合が大きめですが、【25～54歳】の年齢層で「そうは思わない」と答えた人の割合が大きくなっています。【表1-10-3・4】

《②障害者が社会に参加し、安心して暮らせる》について、【介護が必要な障害者(児)がいる】人(問7)では、「そう思う」と答えた人の割合が9.4%と全体よりも大きい一方で、「そうは思わない」と答えた人が39.6%にのぼっています。また、【介護が必要な障害者(児)がいる】人では、《⑩道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい》、《⑫生活のいろいろな面で便利である》、《⑭すべての人の人権がまもられている》、《⑮災害などに対して安全である》についても、「そうは思わない」と答えた人の割合が大きくさまざまな面で問題を感じていることが示されています。【表2-3-1～5】

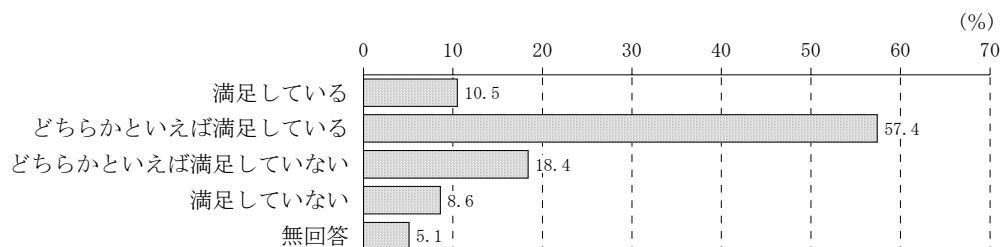
《⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある》、《⑧困ったときにもすぐに相談できる》、《⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる》については、近所の人との交流(問9)で【近所の人と親しい交流がある】と答えた人では肯定的な評価、【交流が少ない】人では否定的な評価の割合が大きくなっています。【表2-4-1～3】

平成15年調査と比較すると、「そう思う」と答えた人の割合はすべての項目で小さくなっています。「どちらかというと思う」と答えた人を含めた肯定的な評価でみると、割合が大きくなったのは《⑩道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい》と《④子どもが健やかに育つ環境がある》の2項目で、他の項目は、肯定的評価をした人の割合が小さくなっています。【表4-5-1～15】

問11 生活全般を通じて、あなたは現在お住まいの地域での暮らしに満足していますか。

「どちらかといえば満足している」(57.4%)と答えた人が6割弱で、「満足している」(10.5%)と答えた人をあわせると、7割弱の人は生活全般を通してみれば、現在住んでいる地域での暮らしに一定の満足感を感じています。

一方、「どちらかといえば満足していない」(18.4%)、「満足していない」(8.6%)と答えた人は、あわせて3割弱です。



年齢別にみると、すべての年齢層で「どちらかといえば満足している」が6割程度ですが、【16～24歳】と【65歳以上】では「満足している」と答えた人の割合が大きめで、その間の【25～64歳】の年齢層では、「満足していない」と答えた人の割合がやや大きめです。

【表1-11】

暮らしの満足度は、回答者の属性とも大きく関わりがあり、暮らし向きの状況（問5）について【豊か】や【どちらかといえば豊か】、健康状態（問6）について【健康】、近所の人との交流（問9）で【親しい交流がある人】と答えた人は、そうでない人よりも満足度の高い人の割合が大きくなっています。【表2-5】

また、地域の状況についての評価（問10）のとクロスすると、各々の事柄について【そう思う】と肯定的に評価している人は、「満足している」と答えた人の割合が大きいますが、特に関連性大きいと思われる項目は《⑩住まいや地域の生活環境がよい》、《⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある》、《⑬いろいろな活動ができる場が身近にある》、《④子どもが健やかに育つ環境がある》、《⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる》でした。

【表2-6】

平成15年調査と比較すると、「満足している」は15.5% → 10.5%と割合が小さくなっており、「どちらかといえば満足している」とあわせると71.4% → 67.9%となっています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」をあわせると26.2% → 27.0%と、やや満足度が下がっています。【表4-6】

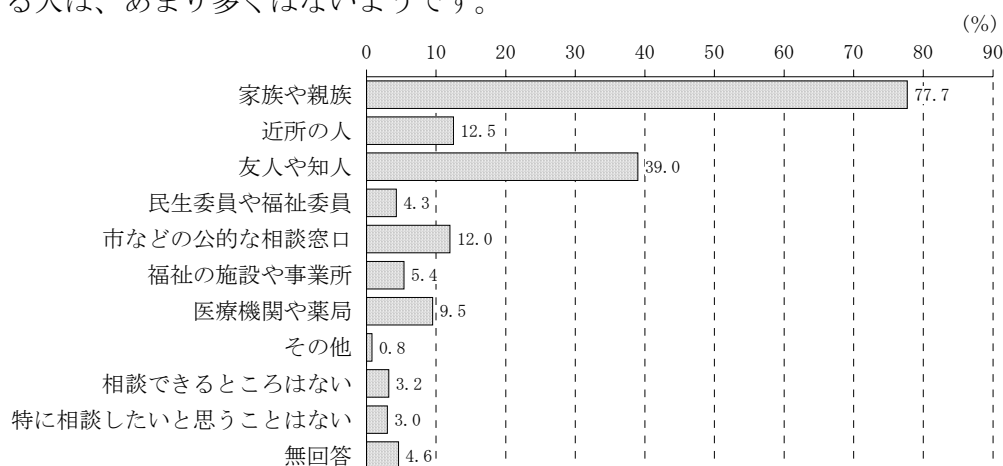
問12 あなたは生活のなかで困ったときに、だれ（どこ）に相談しますか。（複数回答）

「家族や親族」を77.7%と多くの人があげています。次いで、「友人や知人」を39.0%、「近所の人」を12.5%と、身近な人が多くあげられています。

専門的な機関等については、「市などの公的な相談窓口」は12.0%、「医療機関や薬局」は9.5%、「福祉の施設や事業所」は5.4%の人があげています。また、地域で活動している

「民生委員や福祉委員」をあげた人は4.3%でした。

「相談できるところはない」と答えた人は3.2%で、ほとんどの人は相談できる相手はいますが、「生活のなかで困ったとき」という問いに対して、専門的な機関への相談をイメージする人は、あまり多くはないようです。



年齢別にみると、「家族や親族」は【55歳以上】でやや割合が小さくなっています。また、「友人や知人」も【65歳以上】では割合が小さめです。一方で専門的な機関等は【65歳以上】で割合がそれ以下の年齢層よりは大きくなっています。【表1-12】

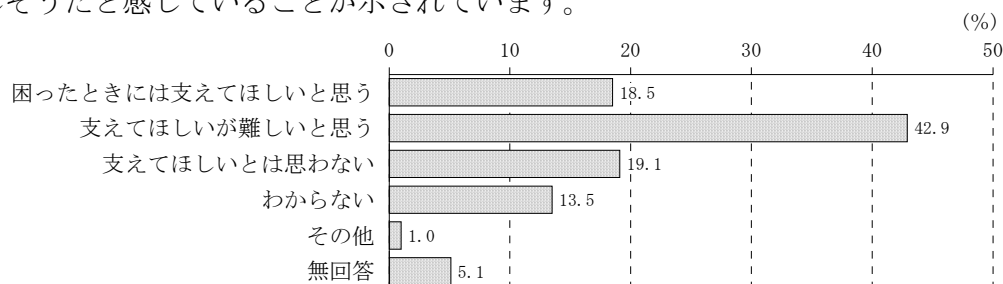
【介護が必要な高齢者または障害者(児)がいる】人(問7)では、専門的な機関をあげた人の割合が全体よりは大きいですが、それぞれ1～2割程度にとどまっています。

また、【福祉活動に参加している】人(問16)も、専門的な機関をあげた人の割合が全体よりは大きめで、活動を通じてある程度のつながりが生まれていることがうかがえます。

【表2-7】

問13 あなたは生活のなかで困ったときに、近所の人に支えてほしいと思いますか。

「困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う」人は18.5%ですが、「支えてほしいが、難しいと思う」と答えた人が42.9%と最も多いという結果です。「近所の人に支えてほしいとは思わない」と答えた人は19.1%で、多くの人は近所の人への支えを期待しつつも、難しそうだと感じていることが示されています。



【介護が必要な高齢者または障害者(児)がいる】人(問7)では、「困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う」人の割合が全体の平均よりも大きめです。

また、【近所の人と親しい交流がある】人（問9）も、「困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う」人の割合が全体よりも大きめです。一方、【交流が少ない】人では「近所の人に支えてほしいとは思わない」と答えた人の割合が大きめですが、「支えてほしいが、難しいと思う」と答えた人の割合は全体と同じくらいで、期待する気持ちもうかがえます。

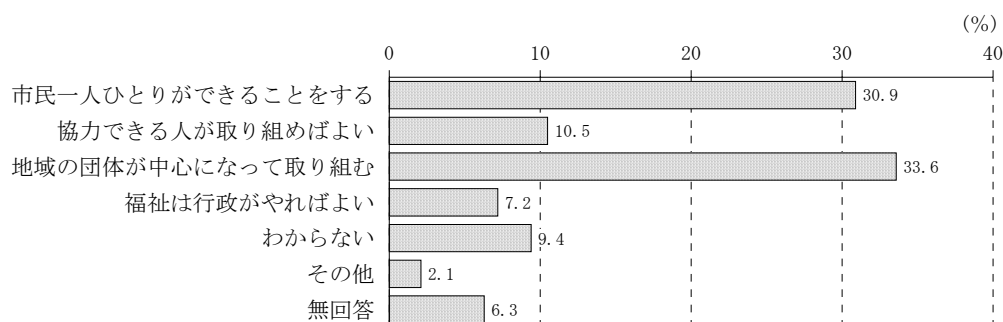
【地域の福祉活動やボランティア活動に参加している】人（問16）では、「支えてほしいが、難しいと思う」と答えた人の割合が大きくなっています。これは、活動を通じて難しさを実感される場面があるということかもしれません。[表2-8]

3. 地域福祉への参加やしきみづくりに関する意向について

問14 あなたは、市民も参加して「地域で支えあう福祉」を推進していくことについて、どのように思いますか。

「市民一人ひとりが、自分ができることをしていけばよい」(30.9%)と答えた人が約3割です。一方、「個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組めばよい」(33.6%)や「協力できる人が取り組めばよい」(10.5%)と、市民が福祉活動に参加することを是としながらも、参加の難しさを感じている人が多いようです。

一方、「福祉は行政の仕事なので、行政がやればよい」と答えた人は7.2%でした。



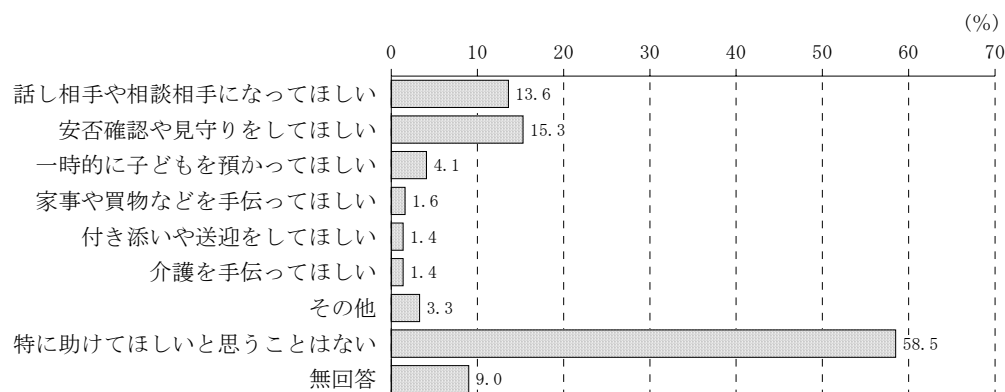
年齢別にみると、【若い年齢層】の人の方が「市民一人ひとりが、自分ができることをしていけばよい」と答えた人の割合が大きめです。[表1-14]

また、【福祉活動に参加している】人（問16）も、「市民一人ひとりが、自分ができることをしていけばよい」と答えた人の割合が大きめです。[表2-9]

問15 あなたは、日常生活で、近所の人に助けてほしいと思うことがありますか。(複数回答)

現時点では「特に助けてほしいと思うことはない」(58.5%)と答えた人が約6割ですが、3割あまりの人は、何らかの近所の人に助けてほしいことがあると答えています。

助けてほしいことの内容については、「安否確認や見守りをしてほしい」(15.3%)と「自分や家族の話し相手や相談相手になってほしい」(13.6%)が比較的多くあげられています。また、「用事するときなど一時的に子どもを預かってほしい」(4.1%)、「家事や買物などを手伝ってほしい」(1.6%)、「出かける時に付き添いや送迎をしてほしい」(1.4%)、「介護を手伝ってほしい」(1.4%)など、さまざまなニーズが示されています。



年齢別にみると、「自分や家族の話し相手や相談相手になってほしい」や「安否確認や見守りをしてほしい」という、どちらかといえば高齢者を対象とした活動が行われていることを、【16～44歳】などの若い年齢層の人が比較的多くあげています。また、「用事するときなど一時的に子どもを預かってほしい」も【25～34歳】では18.3%の人が希望しています。

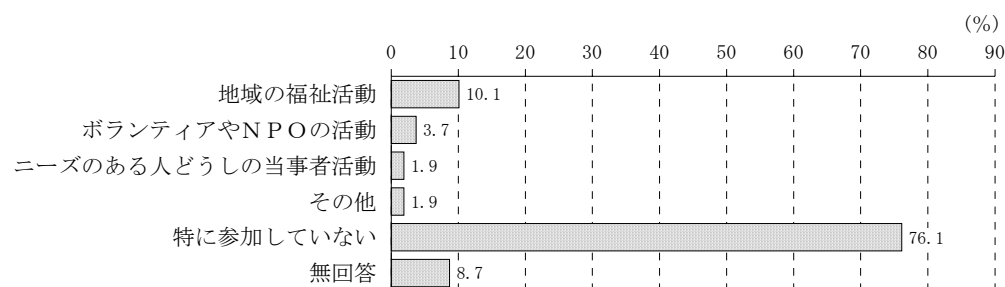
【表1-15】

また、【介護が必要な高齢者または障害者(児)がいる】人(問7)では、さまざまな支援を希望する人の割合が大きめです。【表2-10】

問16 あなたは、福祉に関するつぎのような活動に参加していますか。(複数回答)

現在は「特に福祉に関する活動には参加していない」人が76.1%、無回答も8.7%で、何らかの活動に参加している人は約15%です。

参加している活動としては「自治会や校区福祉委員会などの地域の福祉活動」(10.1%)が最も多く、「福祉に関するボランティアやNPOの活動」に3.7%、「福祉ニーズのある人どうしの当事者活動」と「その他」の活動に1.9%の人が参加しています。



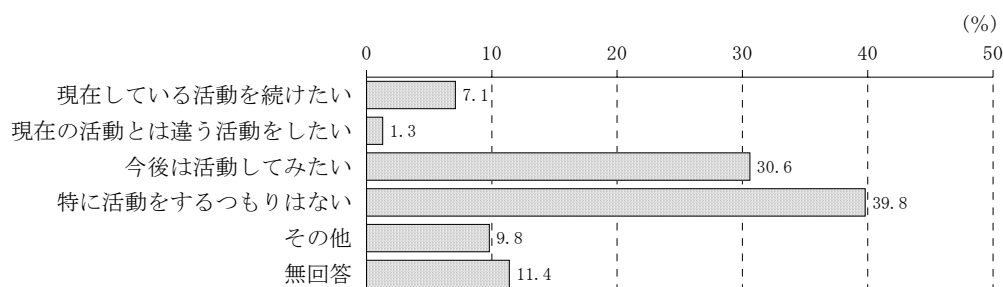
年齢別では、【65～74歳】では21.2%の人が何らかの福祉活動に参加しており、他の年齢層よりも割合が大きくなっています。【表1-16】

問17 あなたは今後、福祉に関する活動をしたい（または続けたい）と思いますか。

「現在している活動を続けたい」が7.1%、「現在の活動とは違う活動をしたい（現在の活動に加えてほしい）」が1.3%で、回答者全体で8.4%の人が、活動を継続したいと答えています。

特に、現在【ボランティアやNPOの活動、当事者活動】をしている人（問16）では、8割程度の人が活動を継続していく意向を示しています。[表2-11]

さらに、「現在は活動していないが、今後は活動してみたい」と答えた人が30.6%と、多くの人が活動への参加の意向を示しています。約1割の人が「その他」（9.8%）ですが、そのなかには活動したいができない状況などが記載されているものもあります。

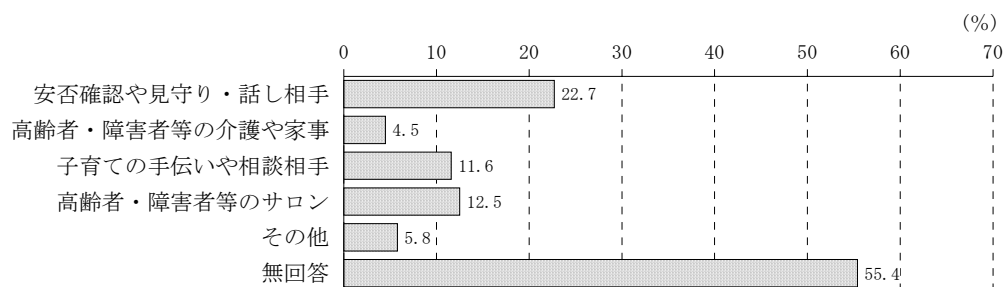


年齢別にみると、【25～34歳】と【55～64歳】で、「現在は活動していないが、今後は活動してみたい」と答えた人の割合が大きめです。一方、【16～24歳】では、「特に活動をするつもりはない」と答えた人の割合が大きめでした。[表1-17]

【困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う】人（問13）では、「現在は活動していないが、今後は活動してみたい」と答えた人の割合が大きめであり、“おたがいさま”の意識での活動をイメージされているものと考えられます。[表2-11]

問18 今後、福祉に関する活動をしたい（または続けたい）とお考えの方は、どのような活動をしたいと思いますか。（複数回答）

「ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手」（22.7%）を最も多くの方があげています。また、「高齢者・障害者等のサロン（地域での交流の場）などの手伝い」を12.5%、「子育ての手伝いや相談相手」を11.6%、「高齢者・障害者等の介護や家事の手伝い」を4.5%、「その他」の活動を5.8%の方があげています。

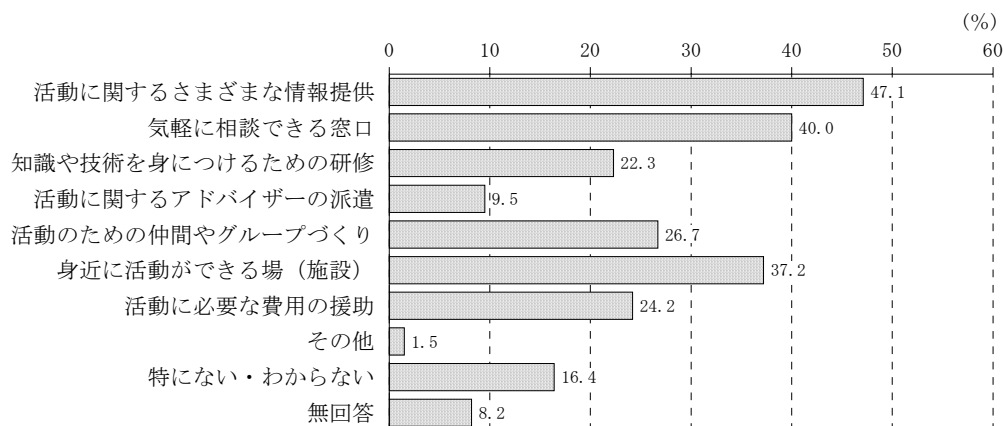


年齢別にみると、「ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手」は【55～74歳】、「高齢者・障害者等の介護や家事の手伝い」は【65～74歳】、「子育ての手伝いや相談相手」は【16～44歳】など、同年代の人を対象とした活動に、比較的多くの参加意向が示されています。また、「高齢者・障害者等のサロンなどの手伝い」は、すべての年齢層で比較的高い参加意向が示されています。

性別にみると、【男性】は「ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手」、【女性】は「子育ての手伝いや相談相手」をあげた人の割合が大きめです。[表1-18]

問19 市民が福祉に関する活動に参加しやすくするために、どのような条件づくりが必要だと思いますか。(複数回答)

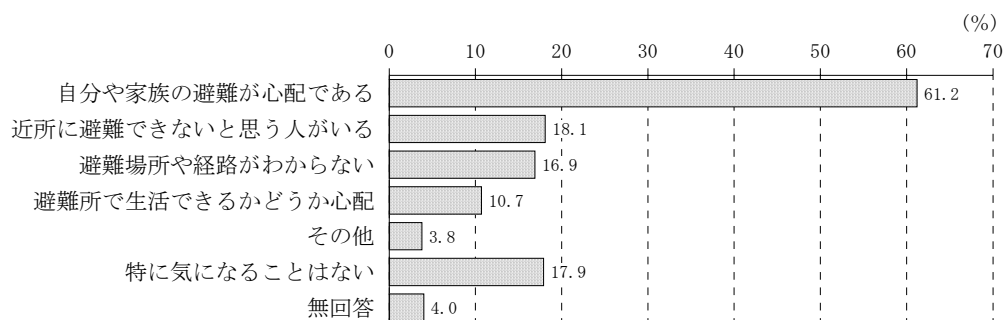
「活動に関するさまざまな情報提供」(47.1%)と「気軽に相談できる窓口」(40.0%)という活動につながる情報提供や相談を多くの人があげています。また、これらと並んで「身近に活動ができる場(施設)」(37.2%)も多くの人があげています。



現在、【福祉活動に参加している】人(問16)は、活動していない人よりこれらの条件づくりが必要だとした人の割合が大きいです。特に【福祉ニーズのある人どうしの当事者活動をしている】人では、すべての項目について全体を大きく上回る割合となっており、条件づくりの必要性が強く感じられているものと推測されます。[表2-12]

問20 地震や風水害等の災害時に、だれもが安全に避難などができるようにしていくうえで、あなたが気になることがありますか。(複数回答)

「自分や家族が安全に避難できるか心配である」を61.2%の人があげており、災害時の避難は多くの人にとって無関心ではいられない課題であることが示されています。また、「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」(18.1%)と、近所の人のことを気にかけている人も少なくありません。「避難場所やそこまでの経路がわからない」(16.9%)、「介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である」(10.7%)などの具体的な問題点もあげられています。



年齢別にみると、「自分や家族が安全に避難できるか心配である」については高齢の方よりも、むしろ【16～44歳】の年齢層で割合が大きくなっています。また、この年齢層では「避難場所やそこまでの経路がわからない」ことをあげた人の割合も大きめです。一方、【65～74歳】で「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」をあげた人の割合が大きめで、同年代の高齢者を気にかけているものと考えられます。また、【75歳以上】で「介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である」をあげた人の割合が大きめです。[表1-20]

【介護が必要な高齢者または障害者(児)がいる】人(問7)では、「介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である」を非常に多くの人があげています。また、「自分や家族が安全に避難できるか心配である」についても割合がさらに大きめです。

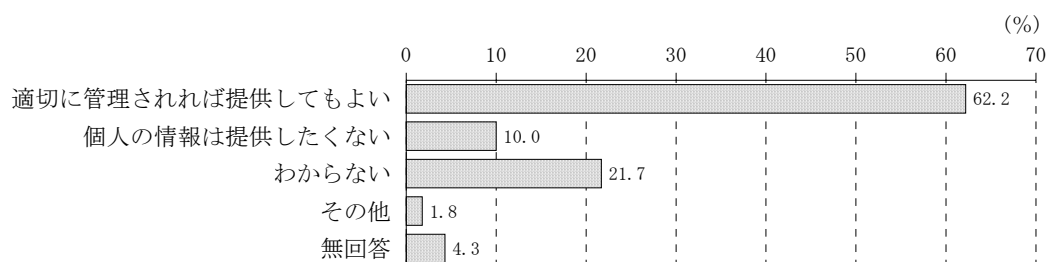
また、【福祉活動に参加している】人(問16)は、「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」をあげた人の割合が大きく、活動を通じて状況を把握していることがうかがえます。[表2-13]

問21 災害時にだれもが安全に避難などができるよう地域で支えあうために、支援が必要な人の情報などを地域で共有することについて、どのように思いますか。

「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う」と答えた人が62.2%であり、適切に管理することを前提として、情報共有の必要性を多くの人が感じていることが示されています。

一方で、「どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う」(10.0%)

や「わからない」(21.7%)と答えた人も3割あまりで、個人の意思を尊重しながらすすめていくことの必要性も示されています。



年齢別にみると、「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う」と答えた人の割合は【65歳以上】の年齢層ではやや小さくなっており、【75歳以上】では「どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う」と答えた人の割合が大きいです。[表1-21]

一方、【介護が必要な障害者(児)がいる】人(問7)では、「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う」と答えた人の割合が非常に大きくなっています。また、災害時に【自分や家族が安全に避難できるか心配である】と答えた人(問20)や、【困ったときには、近所の人に支えてほしい】という意識の人(問13)も、「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う」と答えた人の割合が大きめで、支援の必要性を切実に感じていることが反映されているものと考えられます。

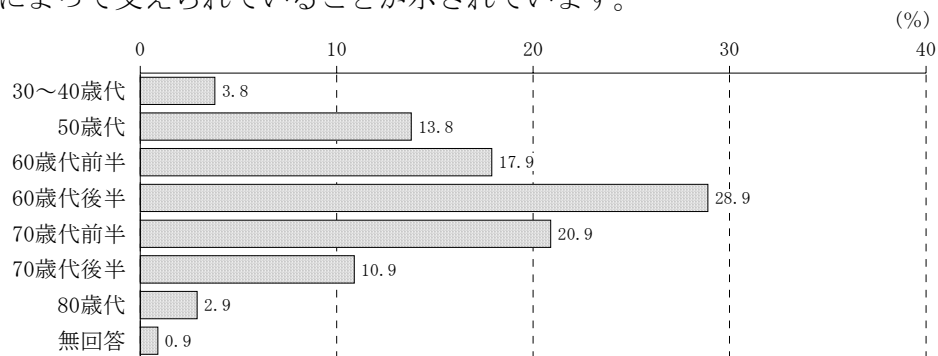
近所との交流(問9)についても、【親しい交流がある人】の方が情報提供を容認する人の割合が大きいますが、【交流が少ない人】でも半数以上は「情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う」と答えており、災害時に備えるためのつながりの必要性を感じているようです。[表2-14]

校区福祉委員アンケート調査の結果

1. 回答者の属性と暮らしの状況について

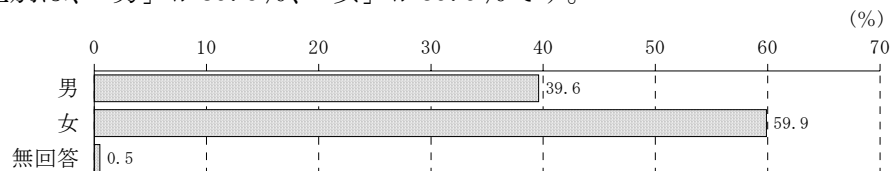
問1 あなたの年齢は。

回答者の年齢は、「60歳代後半」(28.9%)と「70歳代前半」(20.9%)をあわせた65～74歳の方が約半数です。60歳以上の方が81.5%を占めており、福祉委員会の活動がシニア世代の方々によって支えられていることが示されています。



問2 あなたの性別は。

回答者の性別は、「男」が39.6%、「女」が59.9%です。



問3 同居されている家族の構成は。

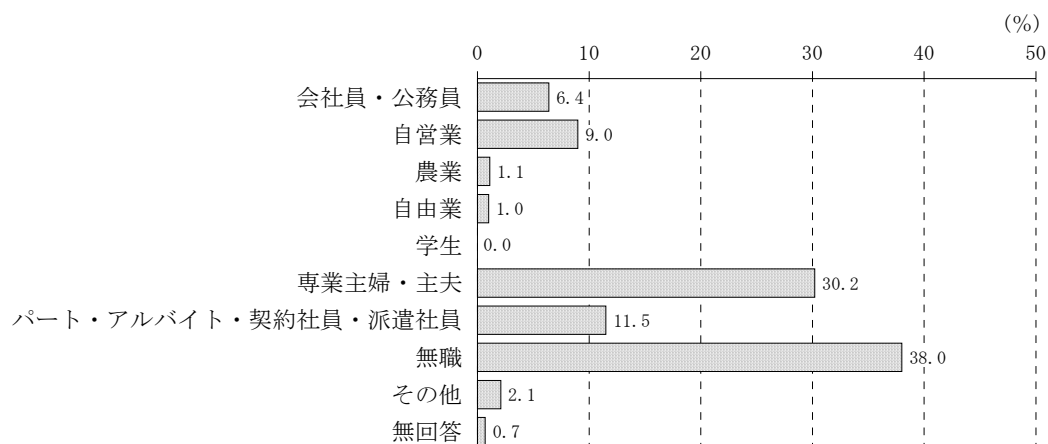
「夫婦のみ」が45.1%と最も多く、「親と子ども（二世世代世帯）」が35.1%、「親と子どもと孫（三世世代世帯）」が8.6%、「ひとり暮らし」が8.5%です。



問4 あなたのお仕事は。

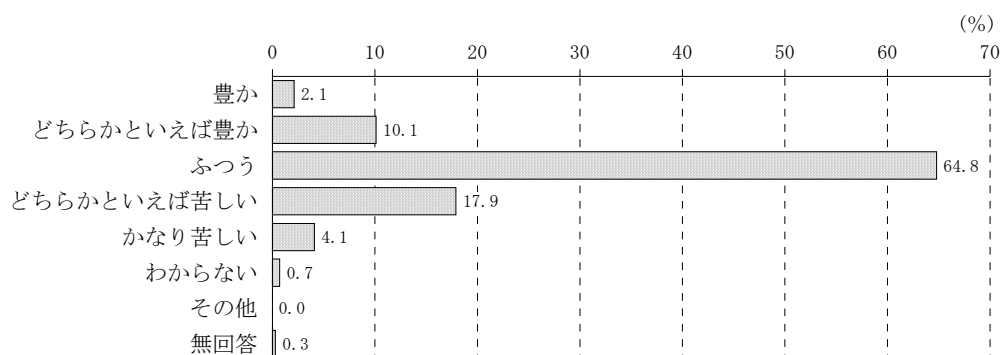
「無職」が38.0%、「専業主婦・主夫」が30.2%です。

有給の仕事に就いている人では、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が11.5%、「自営業」9.0%が比較的多く、「会社員・公務員」は6.4%です。



問5 あなたの世帯の現在の暮らし向き（経済的な状況）は。

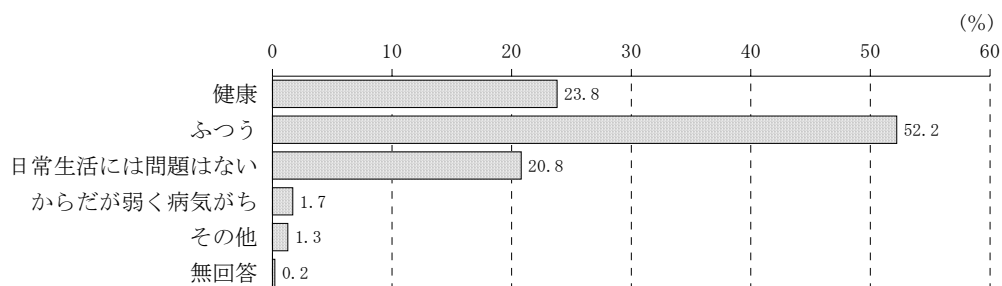
「ふつう」が64.8%で、「どちらかといえば苦しい」が17.9%、「どちらかといえば豊か」が10.1%、「かなり苦しい」が4.1%、「豊か」が2.1%となっています。



問6 あなたの現在の健康状態は。

「ふつう」が52.2%、「健康」が23.8%、「持病や障害などがあるが、日常生活には問題はない」が20.8%です。

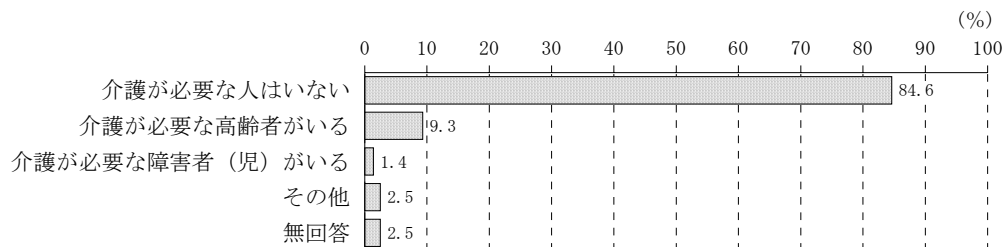
市民アンケート調査の年齢別集計と比較すると、「健康」と答えた人の割合は65～74歳で市民調査の14.4%に対して校区福祉委員調査では24.7%、75歳以上では市民調査の9.4%に対して校区福祉委員調査では15.8%であるなど、この調査の回答者の方が健康度の高い人の割合が大きいようです。[表3-1]



問7 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいますか。(複数回答)

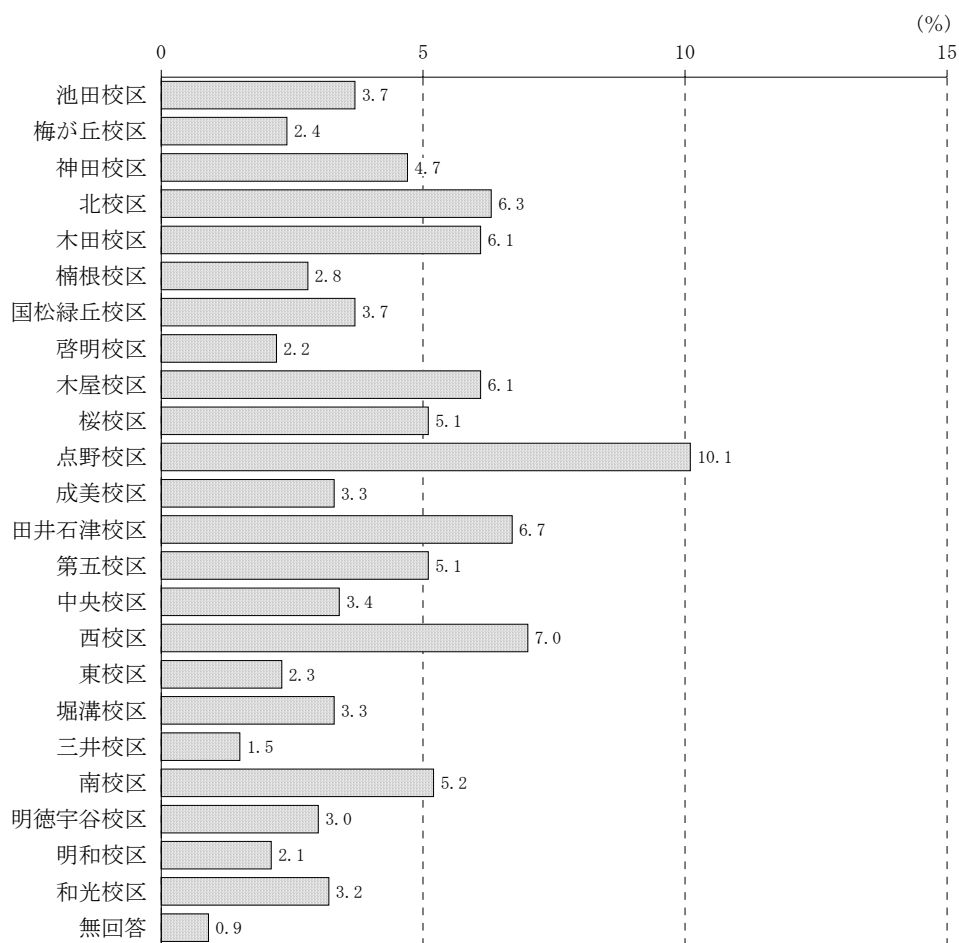
「介護が必要な高齢者がいる」人が9.3%、「介護が必要な障害者(児)がいる」人が1.4%です。

このうち0.3%の人は、介護が必要な高齢者と障害者(児)の両方がいると答えています。



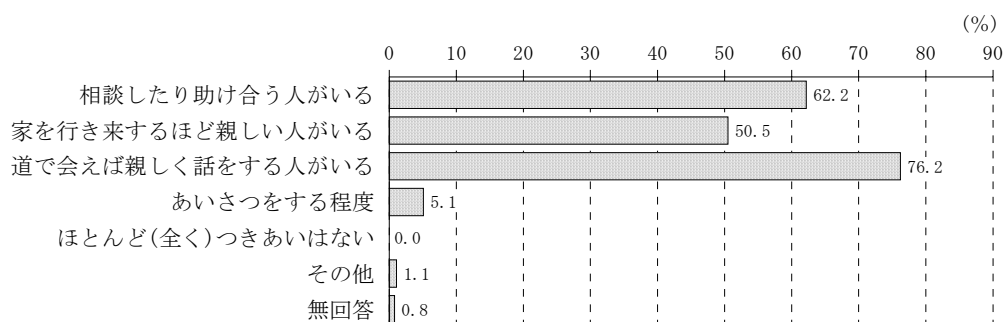
問8 あなたが活動されている福祉委員会の校区は。

回答者の所属している福祉委員会ごとの割合は下のグラフのとおりです。



問9 あなたは近所の人とどの程度の交流がありますか。(複数回答)

福祉委員として活動されている方だけに、「困ったときには相談したり助け合う人がある」(62.2%)、「家を行き来するほど親しい人がある」(50.5%)、「道などで会えば親しく話をする人がある」(76.2%)など、ほとんどの人は近所の人と一定以上の親しい交流をしています。



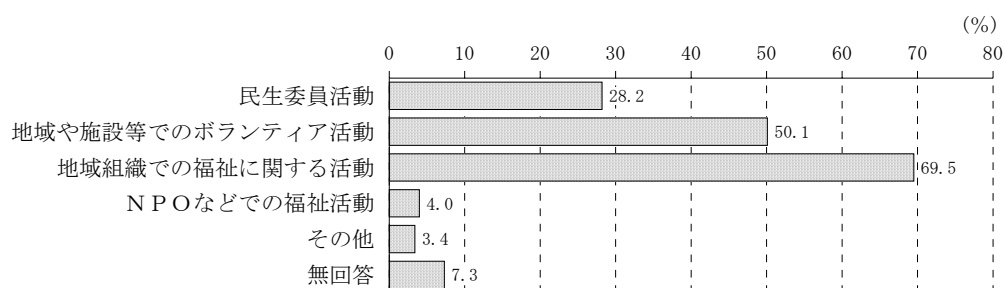
2. 現在参加している地域福祉活動について

問10 あなたは、校区福祉委員会活動以外に、福祉に関する活動をされていますか。

(複数回答)

本市では校区福祉委員会が自治会との密接な連携のもとで組織されていることから、「自治会、老人会、子ども会、婦人会等の地域組織での福祉に関する活動」(69.5%)を約7割の人が行っています。また、「校区福祉委員会活動・民生委員活動以外の、地域や施設等でのボランティア活動」(50.1%)も約5割の人があげていますが、これらは重複してあげられている場合もあると考えられます。

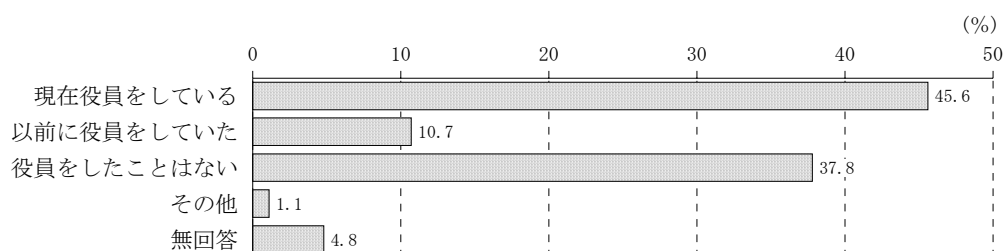
「民生委員活動」をしている人は28.2%です。また、「NPOなどでの福祉活動」(4.0%)や「その他」(3.4%)の活動をしている人もおり、ほとんどの人は他の活動とともに校区福祉委員会活動を行っています。



問11 あなたは、校区福祉委員会の役員をされていますか。

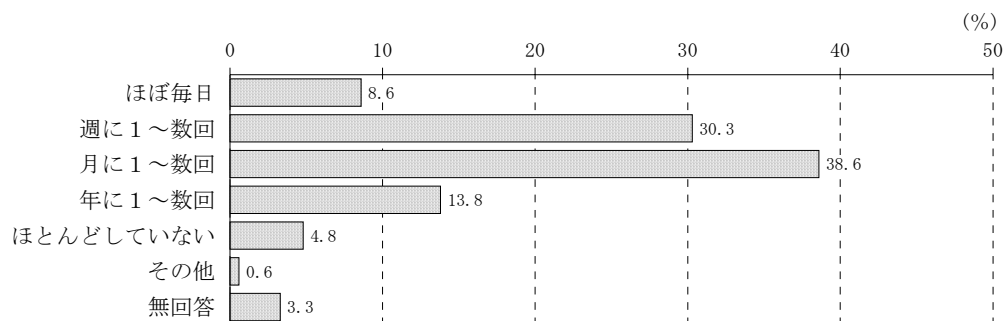
「現在、役員をしている」人が45.6%、「以前に役員をしていた」人が10.7%です。

ただし、このなかには“自治会等の役員をしている”ことと混同して回答されている人もいと推測されます。



問12 現在、福祉の活動（校区福祉委員会以外の活動も含めて）をされている頻度は。

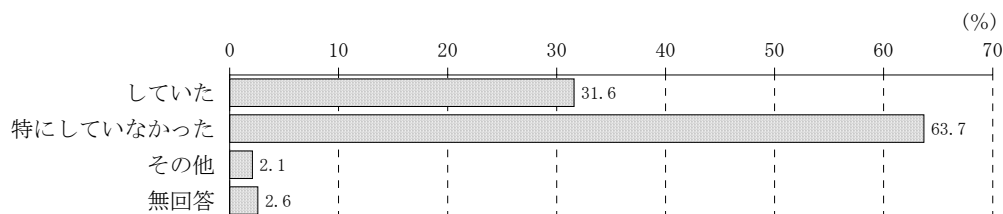
「月に1～数回」が38.6%で最も多く、「週に1～数回」が30.3%です。また、「ほぼ毎日」の人も8.6%います。



【民生委員活動をしている】人（問10）では、「ほぼ毎日」が11.8%、「週に1～数回」は52.0%です。また、【現在、役員をしている】人（問11）も、「ほぼ毎日」が13.4%であるなど、役員や民生委員の活動の頻度が高い状況が示されています。[表3－2]

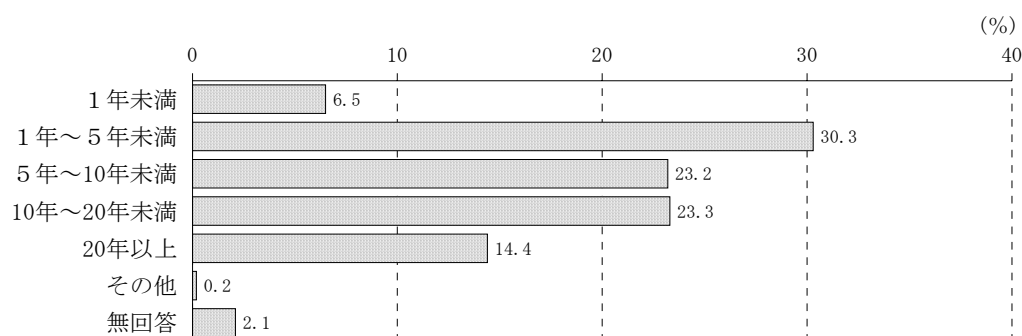
問13 あなたは、校区福祉委員になる前から、福祉の活動をしていましたか。

校区福祉委員になる前から福祉の活動を「していた」（31.6%）人は約3割で、多くの人は校区福祉委員になったことが福祉活動のきっかけになっています。



問14 あなたが福祉の活動を始められてからの期間は。

選択肢の区分では「1年～5年未満」(30.3%)が最も多いですが、5年以上活動している人が約6割(60.9%)と、多くの人が継続して活動していることが示されています。

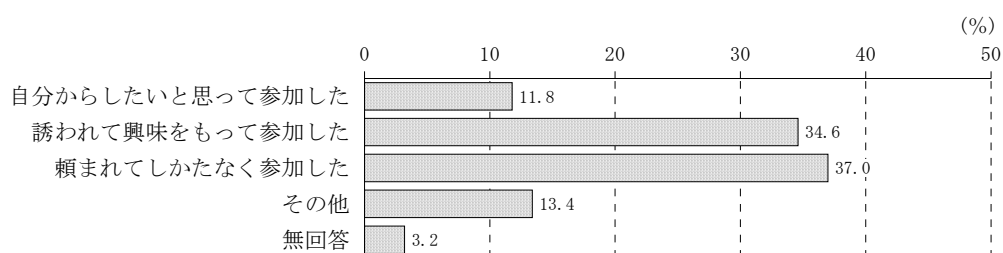


校区福祉委員になる前の活動経験別(問13)にみると、以前から活動を【していた】人は約6割(61.0%)が10年以上活動しています。一方、【特にしていなかった】人は5年未満が約半数(49.5%)です。[表3-3]

問15 あなたが福祉の活動に参加したきっかけは。

活動に参加した直接のきっかけとしては、「友人や知人、地域の人などに頼まれて、しかたなく参加した」(37.0%)が最も多いですが、誘われた人のなかでも「友人や知人、地域の人などに誘われて、活動に興味をもって参加した」人が34.6%で、「自分から活動したいと思って参加した」(11.8%)人とあわせると、半数近い人(46.4%)は、主体的な意識で参加しています。

なお、「その他」(13.4%)では、自治会役員になったことで、同時に参加したことが多くあげられています。



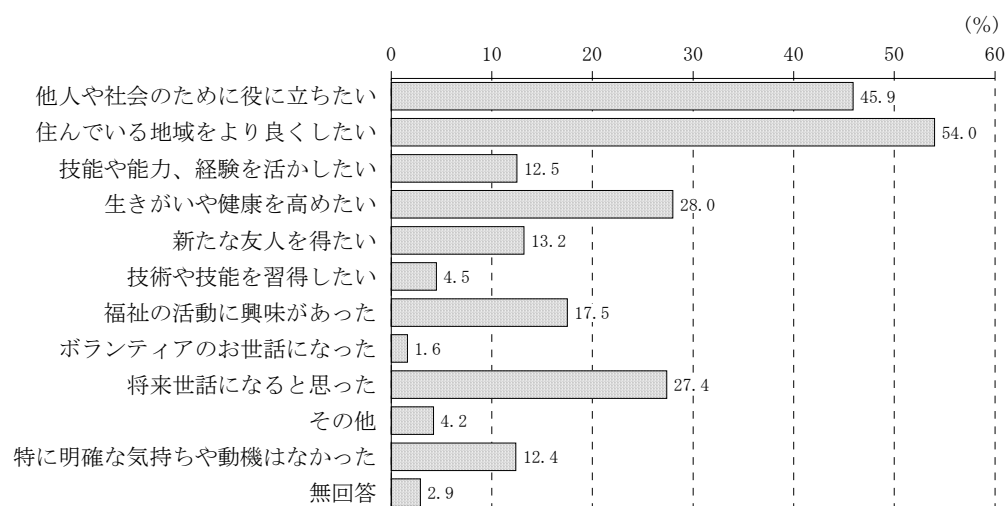
校区福祉委員になる前の活動経験別(問13)にみると、以前から活動を【していた】人は「自分から活動したいと思って参加した」または「友人や知人、地域の人などに誘われて、活動に興味をもって参加した」人が約3分の2(65.8%)です。一方、【特にしていなかった】人は「友人や知人、地域の人などに頼まれて、しかたなく参加した」と「その他」が約6割(60.2%)です。[表3-4]

問16 あなたが福祉の活動を始めたときの気持ちや動機は。(複数回答)

参加のきっかけにかかわらず、活動を始めたときの気持ちとしては、「自分の住んでいる地域をより良くしたい」(54.0%)と、「他人や社会のために役に立ちたい」(45.9%)という意識があったと、いずれも半数程度の人が回答しています。また、「将来、自分自身がボランティアのお世話になるかもしれないと思った」(27.4%)という“おたがいさま”の気持ちも、多くの人がもって参加しています。

あわせて、「自分の生きがいや健康を高めたい」(28.0%)、「福祉の活動に興味があった」(17.5%)、「新たな友人を得たい」(13.2%)、「自分の技能や能力、経験を活かしたい」(12.5%)など、自分自身にとっても意味のある活動をしたいという気持ちをもって参加した人も少なくありません。

「特に明確な気持ちや動機はなかった」(12.4%)と答えた人は約1割で、ほとんどの人は何らかの意識をもって活動に参加していることが示されています。



活動に参加したきっかけ別（問15）にみると、【しかたなく参加した】人でも「特に明確な気持ちや動機はなかった」人は22.0%であり、相対的にみると「将来、自分自身がボランティアのお世話になるかもしれないと思った」という“おたがいさま”の気持ちをもって参加した人が多いといえます。このことから、高齢化が進展するなかで、支援や介護を自らの問題とを感じる意識が普遍的に広がってきていることがうかがえます。[表3-5]

問17 福祉の活動をされていて、つぎのようなことを感じますか。(複数回答)

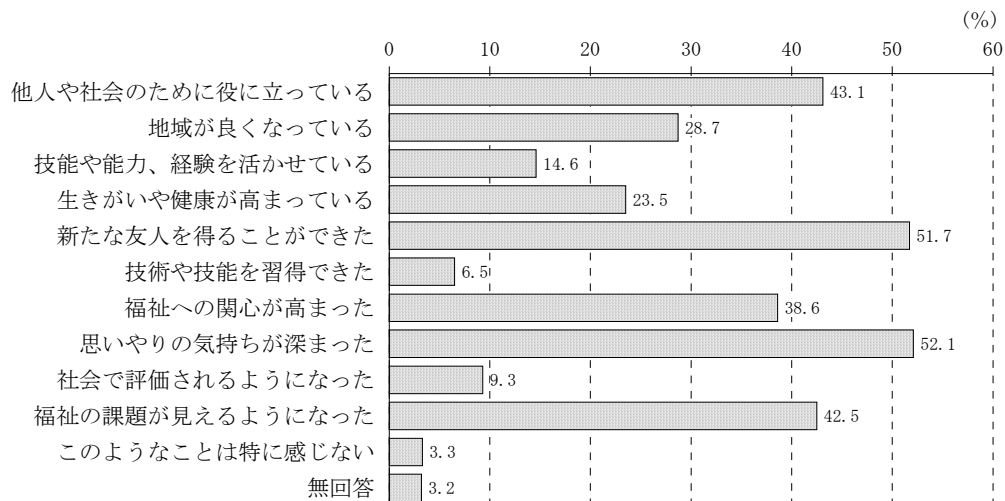
「他人への思いやりの気持ちが深まった」(52.1%)を最も多くの人があげています。

この問いは問16とも対比させて選択肢を設定していますが、「新たな友人を得ることができた」(51.7%)は、活動を始めたときにはそれほど多くは意識されていませんでしたが、参加した成果として多くの人があげています。また、問16で多くの人があげた「他人や社会のために役に立っている」(43.1%)は成果としても多くの人を感じていますが、「地域が良くなっている」(28.7%)は相対的にみると少なめで、成果としてはまだ十分ではないと感じている人が多いようです。

さらに、「福祉の課題がより見えるようになった」(42.5%)や「福祉への関心が高まった」(38.6%)を多くの人があげていることは、地域福祉活動に参加することが、具体的な活動を担うことだけでなく、地域福祉を推進していくために不可欠な市民の理解や意識を高めていくうえで、大きな役割を担っていることを示しているといえます。

あわせて、「自分の生きがいや健康が高まっている」(23.5%)や「自分の技能や能力、経験を活かしている」(14.6%)など、活動者自身の生活を高めることにもつながっています。

一方、「社会で評価されるようになった」(9.3%)をあげた人は少なく、活動を普及していくうえでのひとつの課題であると考えられます。



活動を始めたときの気持ち(問16)とクロス集計をしてみると、例えば、【自分の技能や能力、経験を活かしたい】と考えていた人では、「自分の技能や能力、経験を活かしている」人が全体を大きく上回るなど、活動を始めたときの気持ちが、活動を通じて得られるものにつながっていることが示されています。しかし、【特に明確な気持ちや動機はなかった】人でも、ほとんどの人は何らかの成果を感じています。

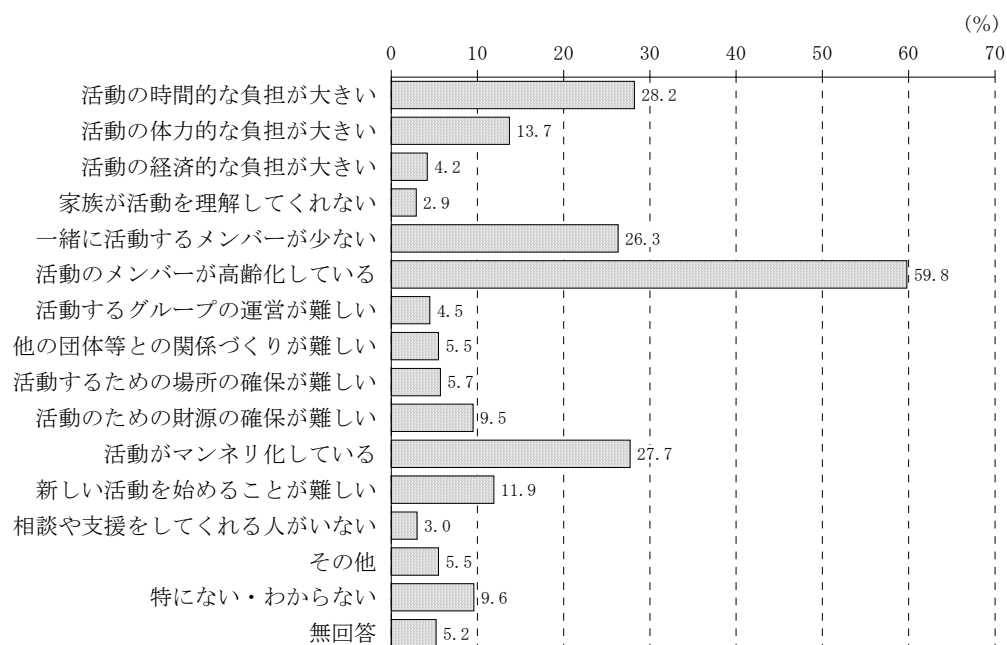
また、活動に参加したきっかけ別(問15)にみても、【しかたなく参加した】人も、「新たな友人を得ることができた」、「他人への思いやりの気持ちが深まった」、「福祉の課題がより見えるようになった」などを比較的多くの人があげており、地域福祉をすすめるうえでのつながりや意識づくりの面で、“しかたなく”であっても実際に活動に参加してみることが大きな意味をもつことが示されています。【表3-6】

問18 福祉の活動をするうえで困っていることがありますか。(複数回答)

「活動のメンバーが高齢化している」(59.8%)を非常に多くの人があげていることは、回答者の年齢構成を反映したものであり、多様な世代の参加をすすめていくことが校区福祉委員会活動を含めた地域福祉活動の大きな課題だということが示されています。「活動の時間的な負担が大きい」(28.2%)、「いっしょに活動するメンバーが少ない」(26.3%)を多くの人があげていることも、担い手を広げていくことの必要性を示しています。

これらとあわせて「活動がマンネリ化している」(27.7%)や「新しい活動を始めることが難しい」(11.9%)ことも、多くの人があげています。

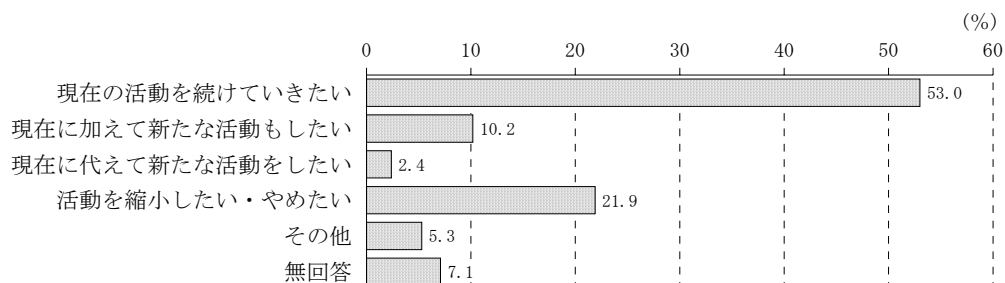
「活動の時間的な負担が大きい」は【民生委員活動をしている】人(問10)や【現在、役員をしている人】人(問11)は全体よりも割合が大きく、活動の頻度の高さが負担につながっている状況が示されています。[表3-7]



問19 今後の活動について、どのようにお考えですか。

「現在の活動を続けていきたい」(53.0%)と答えた人が約半数で、「現在の活動に加えて、新たな活動もしていきたい」(10.2%)や「現在の活動に代えて、新たな活動をしていきたい」(2.4%)といった新たな展開を考えている人もいます。

一方、「活動を縮小したい、または、やめたい」(21.9%)と答えた人も2割あまりいます。



活動で困っていること（問18）として、【活動の時間的な負担が大きい】、【活動の体力的な負担が大きい】をあげた人は、「活動を縮小したい・やめたい」と考える人の割合が大きく、無理なくできる活動にしていくことも重要であることが示されています。また、【家族が活動を理解してくれない】人も「活動を縮小したい・やめたい」の割合が大きく、ひとつの課題だと考えられます。

また、活動で感じていること（問17）とクロス集計すると、【何も感じない】人は多くが「活動を縮小したい・やめたい」と答えており、単に活動に参加するだけでなく、その意味を理解してもらうことの大切さが示されています。一方、【自分のためになる技術や技能を習得できた】、【社会で評価されるようになった】、【自分の生きがいや健康が高まっている】と感じている人は「現在の活動に加えて、新たな活動もしていきたい」と答えた割合が大きく、活動を広げていくうえでのひとつのポイントなるものと考えられます。

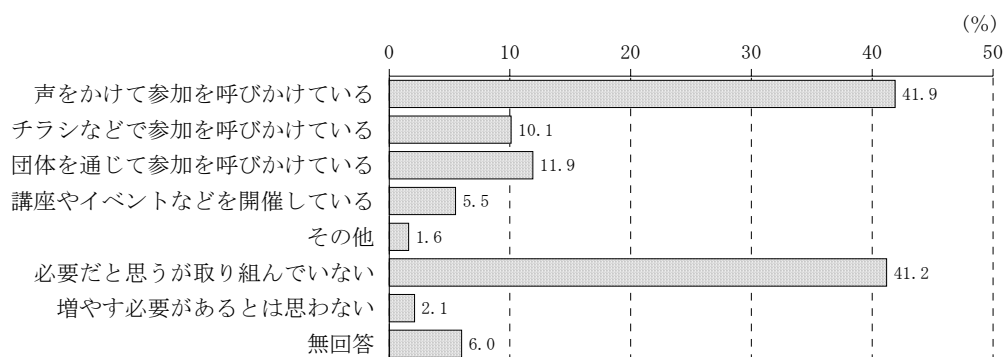
【表3-8】

3. 地域福祉活動を推進していくための課題などについて

問20 福祉の活動をする人を増やすために、あなたが取り組んでいることがありますか。
(複数回答)

「友人や知人、近所の人などに声をかけて、参加を呼びかけている」(41.9%) ことについては多くの人々が心がけて取り組んでいます。さらに、「関わりのある団体等を通じて参加を呼びかけている」(11.9%)や「チラシや機関紙、ポスターなどで、広く参加を呼びかけている」(10.1%)、「活動の参加につながる講座やイベントなどを開催している」(5.5%)といった取り組みも行われています。

一方、「福祉の活動に参加する人を増やすことは必要だと思うが、特に取り組みはしていない」(41.2%)も約4割です。

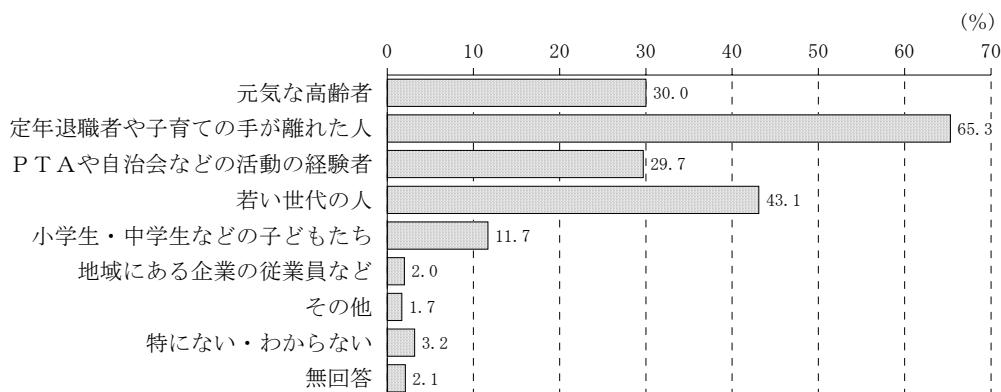


【現在、役員をしている】人(問11)は、活動者を増やすための取り組みをしている人の割合が大きいです。【役員をしたことがない】人は「必要だと思うが、特に取り組みはしていない」人が半数以上で、役員以外も含めて、できるだけ多くの委員が担い手を広げる取り組みをすすめられるようにしていくことが求められます。【表3-9】

問21 今後、特にどのような人に、福祉の活動に参加してほしいと思いますか。
(複数回答・2つまで)

「定年退職者や子育ての手が離れた世代の人」(65.3%)が最も多くあげられており、まずは現在、校区福祉委員会で中心的に活動している人と同じか、少し若い世代に期待していることが示されています。しかし、「若い世代の人」(43.1%)への期待も大きく、多様な人の参加が求められています。

一方、「地域にある企業の従業員など」については(2.0%)、今の段階では地域の福祉活動の担い手として、あまり意識されていません。

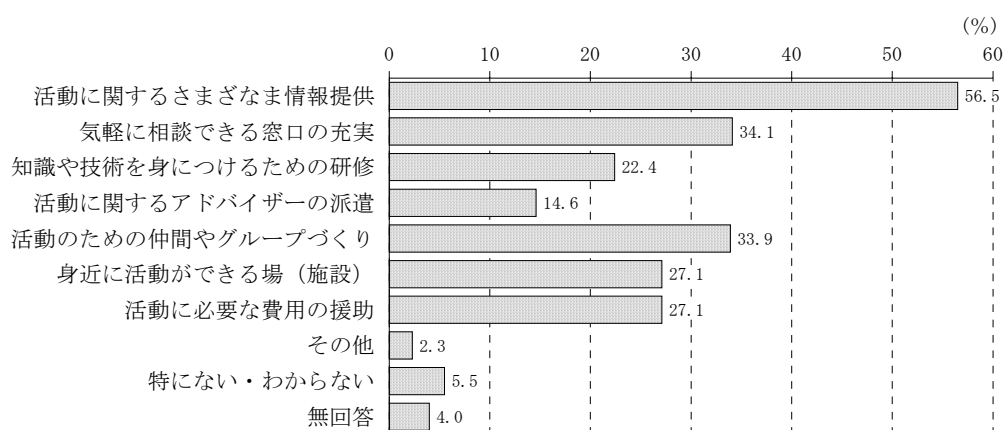


年齢別にみると、【70歳代以上】の人では「元気な高齢者」を比較的多くの人があげており、シニア世代の仲間の参加が期待されています。一方、【30～40歳代】では同じ年齢層である「若い世代の人」をあげた人の割合は特に大きくはなく、むしろ「小学生・中学生などの子どもたち」への期待が大きいようです。これは、仕事や子育て等で忙しい世代として、活動のしにくさや負担を感じているということかもしれません。【表3-10】

問22 市民が福祉の活動に参加しやすくするために、どのような条件づくりが必要だと思いますか。(複数回答)

「活動に関するさまざまな情報提供」(56.5%)が特に多くあげられています。次いで、「気軽に相談できる窓口の充実」(34.1%)、「活動のための仲間やグループづくり」(33.9%)、「身近に活動できる場(施設)の充実」、「活動に必要な費用の援助」(ともに27.1%)など、多様な条件づくりが求められています。

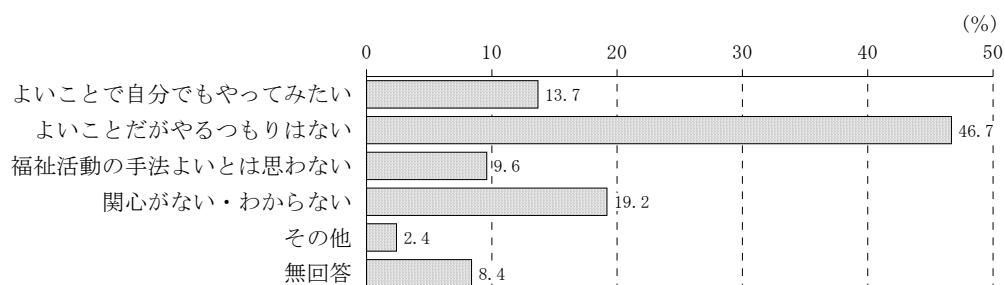
市民アンケート調査の回答と比較すると、「活動に関するさまざまな情報提供」と「気軽に相談できる窓口の充実」は、市民調査、校区福祉委員調査ともに多くの人からあげられています。一方、「活動のための仲間やグループづくり」や「活動に関するアドバイザーの派遣」をあげた人の割合が校区福祉委員調査の方が大きく、実際に活動を行うなかでの実践的なニーズとして感じられているものと考えられます。



問23 NPOやコミュニティビジネスなどの、より組織的なかたちで福祉の活動をすすめることについて、あなたはどのように思いますか。

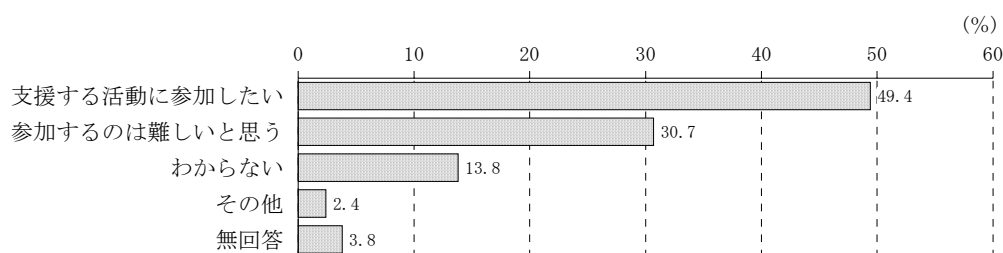
「活動を広げる手法としてよいことであり、自分でもやってみたいと思っている」（13.7%）と「活動を広げる手法としてよいことだと思うが、自分ではやるつもりはない」（46.7%）をあわせると、約6割（60.4%）の人が必要性を認めています。また、1割強の人が“自分でもやってみたい”と考えており、実践に向けた支援も求められます。

一方、「福祉の活動の手法として、よいことだとは思わない」（9.6%）と答えた人も約1割であり、福祉活動における“ビジネス”や“有償”などの手法についての共通認識づくりがさらに必要なことが示されています。



問24 あなたは災害時の福祉活動について、どのように思いますか。

「災害時に支援が必要な人の役に立つよう、支援する活動に参加したい」(49.4%)と、約半数の人が答えています。



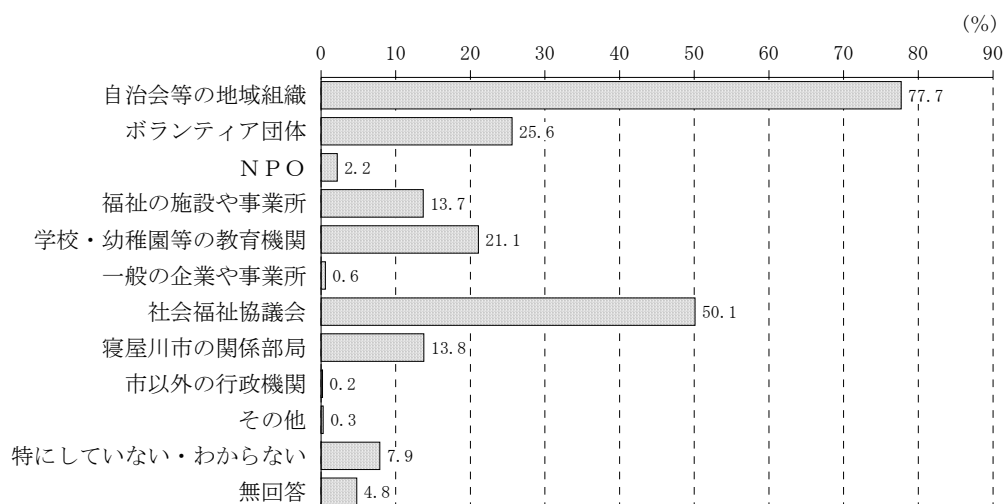
年齢別にみると、【60歳代以上】の人では、「災害時に活動に参加するのは難しいと思う」と答えた人の割合が大きくなります。また、【30～50歳代】では「わからない」と答えた人の割合が大きめです。【表3-11】

問25 福祉の活動に関して、協働している団体や機関等がありますか。(複数回答)

「自治会等の地域組織」を77.7%、「社会福祉協議会」を50.1%があげています。これらは校区福祉委員会の活動と密接に関連している団体・機関ですが、必ずしもすべての委員に“協働”とは認識されていないのかもしれません。

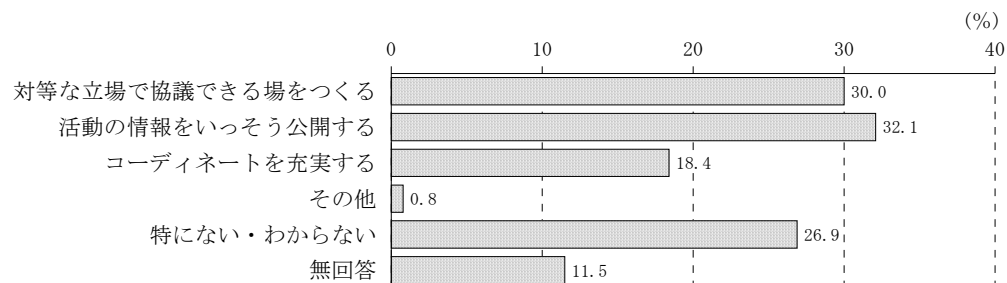
これら以外では「ボランティア団体」(25.6%)、「学校・幼稚園等の教育機関」(21.1%)、「寝屋川市の関係部局」(13.8%)、「福祉の施設や事業所」(13.7%)が、比較的多くあげられています。

また、「NPO」(2.2%)、「一般の企業や事業所」(0.6%)、「市以外の行政機関」(0.2%)との協働も、少ないながら行われています。



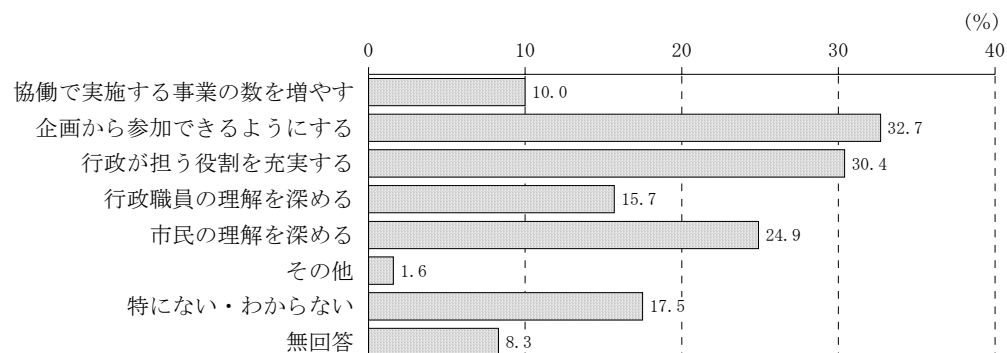
問26 他の団体や機関等との協働をよりすすめていくためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答・2つまで)

「多様な団体・機関等の活動に関する情報をいっそう公開する」(32.1%)ことと「団体・機関等が対等な立場で協議ができる場をつくる」(30.0%)ことが、多くあげられています。



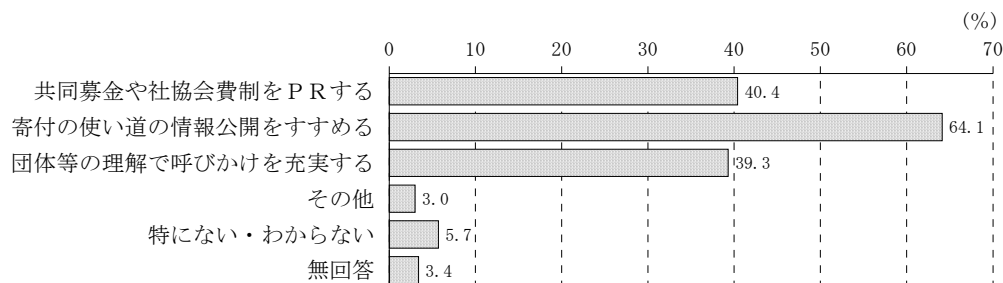
問27 市民の活動と行政の協働をよりすすめていくためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答・2つまで)

「効果的に協働するために、事業の企画・立案段階から市民が参加できるようにする」(32.7%)ことと「効果的に協働するために、財源の確保をはじめ、行政が担う役割を充実する」(30.4%)ことが、多くあげられています。



問28 市民が福祉活動への寄付をしやすいするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答・2つまで)

「寄付の使い道についていっそうの情報公開をすすめる」(64.1%)ことが、特に多くあげられています。



年齢別にみると、【30～50歳代】の人では「寄付の使い道についていっそうの情報公開をすすめる」ことをあげた人の割合が特に大きく、情報公開の重要性への認識が高まっていることがうかがえます。[表3-12]

4. 地域福祉に関する評価や課題などについて

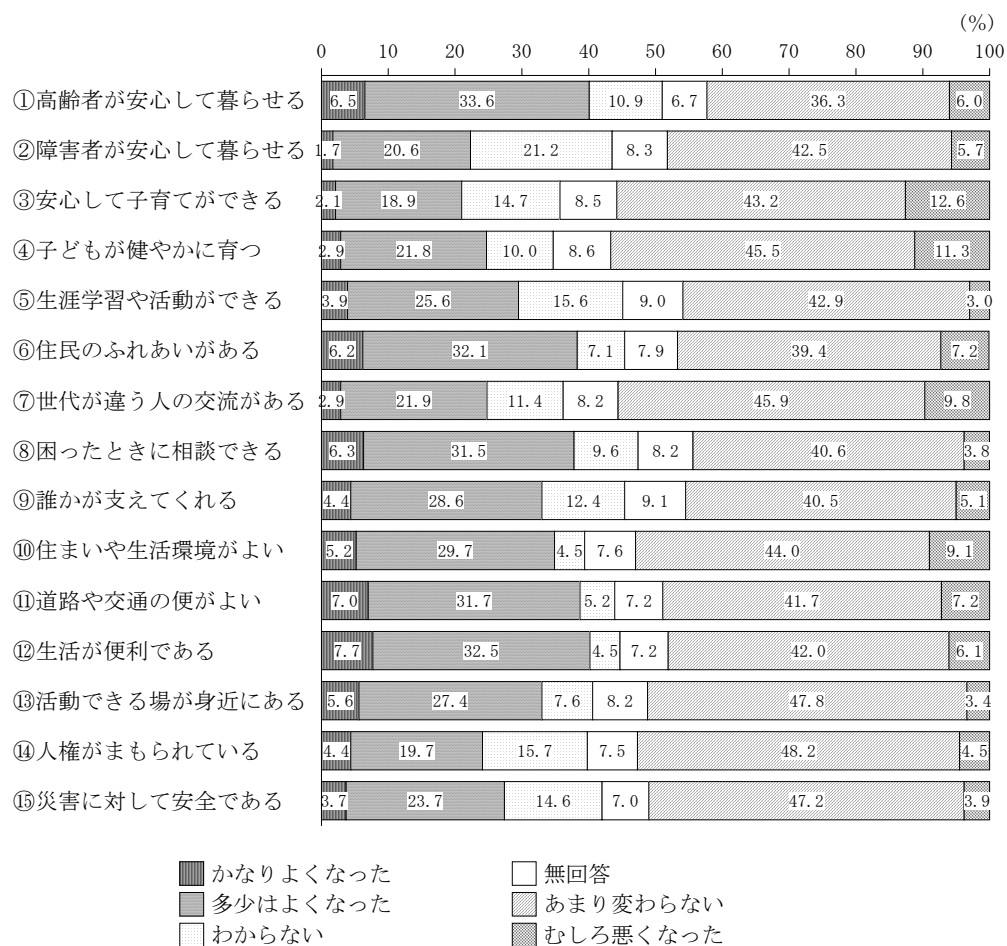
問29 あなたの地域の福祉に関する環境について、つぎのことは、おおむね5年前とくらべてどのように変わったと思いますか。

地域の福祉に関する環境がこの5年間にどのように変化したかを、15の事柄をあげて評価していただきました。

「かなりよくなった」と評価した人が比較的多かった事柄は、《⑫生活のいろいろな面で便利である》(7.7%)、《⑪道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい》(7.0%)、《①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる》(6.5%)、《⑧困ったときにもすぐに相談できる》(6.3%)、《⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある》(6.2%) などです。これらは「多少はよくなった」と評価した人もあわせると、4割程度の人が向上していると評価しています。

一方、「むしろ悪くなった」と評価した人が多かったのは、《③ゆとりをもって安心して子育てができる》(12.6%)、《④子どもが健やかに育つ環境がある》(11.3%) など、子育て、子育てに関する項目でした。

また、《②障害者が社会に参加し、安心して暮らせる》については「わからない」と答えた人が21.2%と多く、校区福祉委員にも見えにくい課題であることがうかがえます。



年齢別にみると、《③ゆとりをもって安心して子育てができる》と《④子どもが健やかに育つ環境がある》は、【30～40歳代】の人で「むしろ悪くなった」と答えた人の割合が大きく、子育てに関係が深い世代で、特に問題だと感じられているようです。

【表 3-13-1～2】

市民アンケート調査では、同じ事柄について、5年間の変化ではなく現在の評価を質問しました。その回答と比較してみると、校区福祉委員調査で向上したと評価した人が多い事柄は、市民調査でも肯定的に評価した人の割合が大きいものが多いですが、《①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる》や《⑧困ったときにもすぐに相談できる》については、市民の評価は必ずしも高くはなく、多くの市民によりいっそうの充実が求められているといえます。

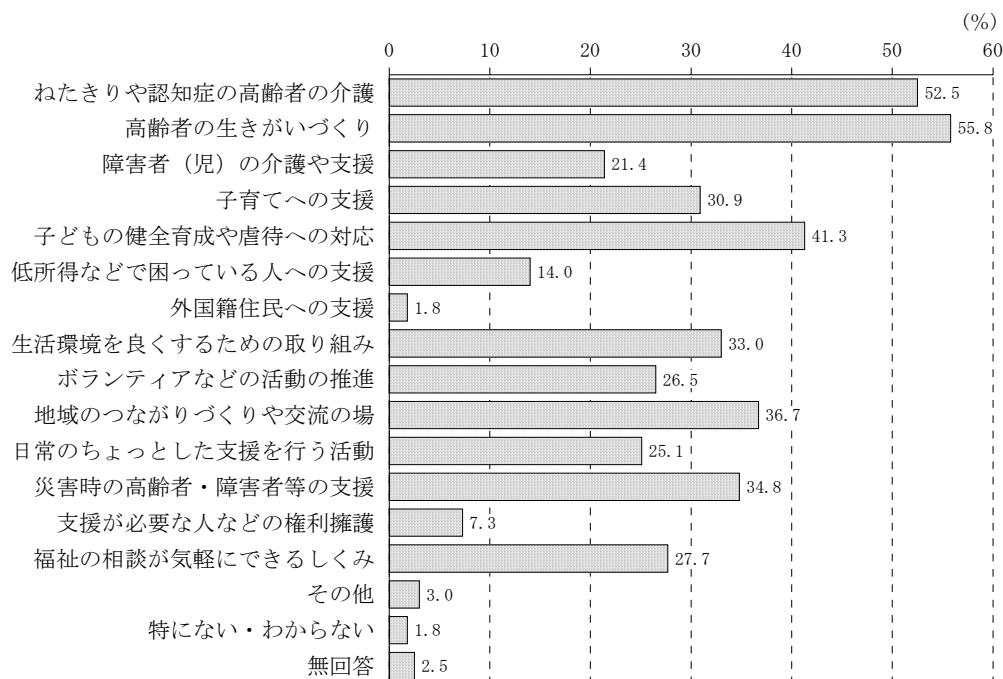
一方、《④子どもが健やかに育つ環境がある》は、市民調査では比較的高めの評価であり、校区福祉委員調査とは多少の感じ方の違いがみられます。

問30 寝屋川市において、今後おおむね5年間で、特に力を入れて取り組むべき福祉の課題はなんでしょうか。(複数回答・5つまで)

「高齢者の生きがいづくり」(55.8%)と「ねたきりや認知症など的高齢者の介護」(52.5%)という高齢者分野の課題を、最も多くの人があげています。これらに次いで、「子どもの健全育成や虐待問題への対応」(41.3%)を多くの人があげているのは、問29での評価を反映しているものと考えられます。

また、「地域の人のつながりづくりや交流の場づくり」(36.7%)や「地域の生活環境を良くするための取り組み」(33.0%)という校区福祉委員会が力を入れて取り組んでいる課題とならんで、「災害時の高齢者・障害者等の支援体制づくり」(34.8%)を多くの人があげているのは、新たな課題として、災害時の要援護者支援への関心が高まっていることを反映していると考えられます。

これらに対して、「障害者(児)の介護や支援」(21.4%)をあげた人が少なめなのは、“特に力を入れるべきものを5つまで”という条件にあてはまりにくかったこととともに、問29でも示された“課題の見えにくさ”も影響しているものと考えられます。このことは、「低所得などで生活に困っている人への支援」(14.0%)、「外国籍住民への支援」(1.8%)、「福祉の支援が必要な人などの権利擁護」(7.3%)などについても同様だと推測されます。



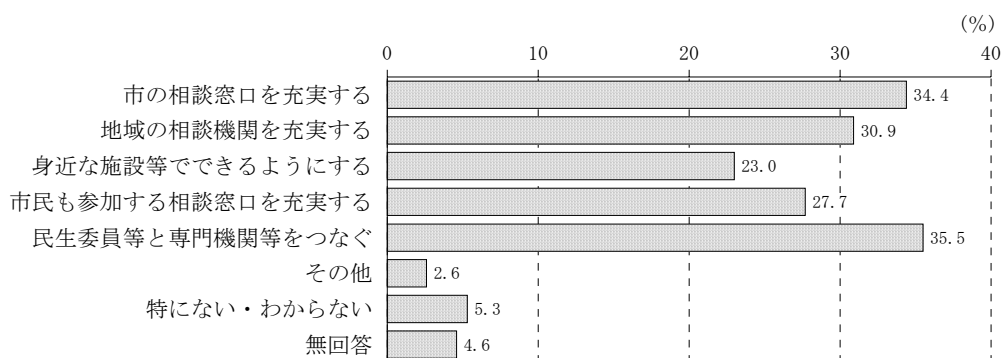
年齢別にみると、「高齢者の生きがいづくり」と「ねたきりや認知症など的高齢者の介護」、「災害時の高齢者・障害者等の支援体制づくり」は【60歳代後半以上】であげた人の割合が特に大きくなっています。また、「子どもの健全育成や虐待問題への対応」と「子育てへの支援」は【30～50歳代】であげた人の割合が大きく、委員自身が所属する年齢層に関わりが大きな課題への関心の高さが示されています。そういう意味で、「地域の人のつながりづくりや交流の場づくり」、「ボランティアなどの地域での活動の推進」をあげた人の割合が【60歳代以上】で大きくなっていることは、高齢期になって地域とのつながりが大きく

なっていることを示していると考えられます。[表3-14]

問31 市民が福祉に関していっそう相談しやすくするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答・2つまで）

「地域で相談にのっている民生委員・福祉委員等と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する」（35.5%）を最も多くの方があげていることは、日常の活動を通じて必要性が感じられていることの現れだと考えられます。

この問いでは、いずれの選択肢も一定の割合で選択されており、それぞれの充実が求められているといえますが、どちらかといえば「福祉に関する市の相談窓口を充実する」（34.4%）、「地域包括支援センターなどの相談機関を充実する」（30.9%）という公的な取り組みの充実をあげた人の割合が大きく、まずは専門の相談機能を充実し、地域の取り組みと効果的に連携していくことが求められているものと考えられます。



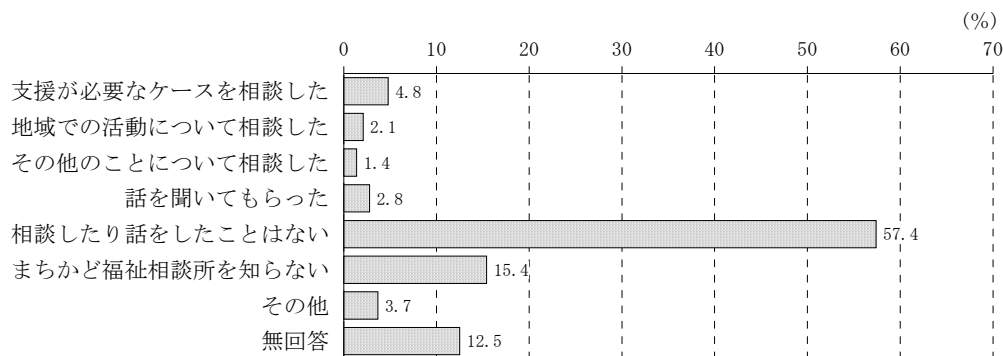
特に、【民生委員活動をしている】人（問10）では、「地域包括支援センターなどの相談機関を充実する」をあげた人の割合が大きく、身近な相談の専門的な受け皿が地域にあることの必要性を、日常の相談活動のなかで感じていると考えられます。[表3-15]

問32 あなたは「まちかど福祉相談所」に相談などをしたことがありますか。

「支援が必要なケースについて相談した」人が4.8%、ケース以外の「地域での活動について相談した」人が2.1%、「その他のことについて相談した」人が1.4%、「相談ではないが、話を聞いてもらった」人が2.8%で、1割強(11.1%)の人が、まちかど福祉相談所を利用したと答えています。また、「その他」(3.7%)と答えた人のなかには、「まちかど福祉相談所の相談員をしている」という記載も多く含まれています。

一方で、「相談したり、話を聞いてもらったことはない」と答えた人は57.4%、「まちかど福祉相談所を知らない」と答えた人も15.4%でした。

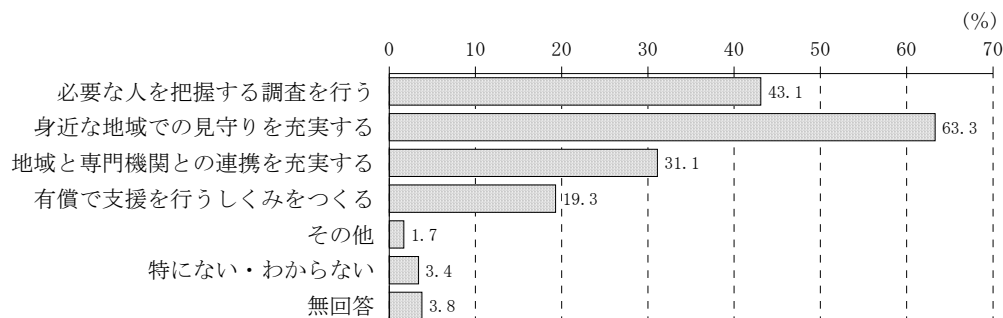
これは、本市では校区福祉委員会が設置・運営主体となってまちかど福祉相談所を開設してきたことから、開設していない校区での認知度や利用度が低いためですが、平成20年度からはコミュニティセンターエリアごとに開設するかたちにして、実施箇所も増えていることから、利用が広がっていくものと考えられます。[表3-16]



問33 日常的に見守りや生活支援が必要な人が安心して生活できるようにしていくために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答・2つまで)

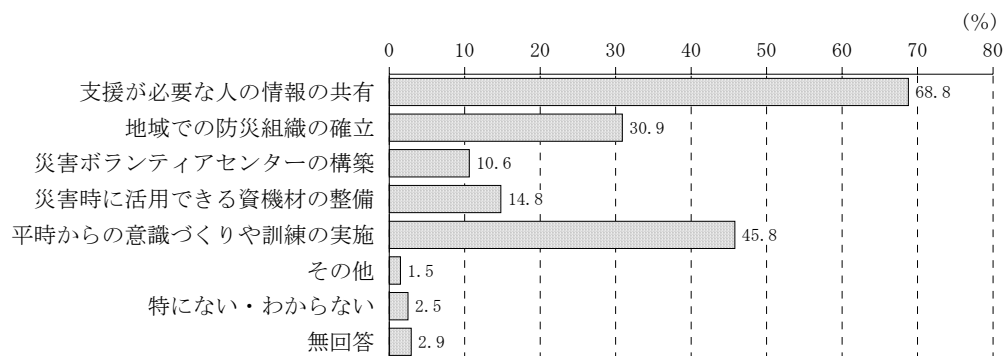
「自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する」(63.3%)ことを、特に多くの人があげています。次いで、「見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う」(43.1%)ことの必要性も多くの人を感じていることが示されています。

「希望する人には有償で生活支援を行うしくみをつくる」(19.3%)ことについても約2割の人は必要性を感じており、新たな取り組みとして検討・推進すべき課題となっています。



問34 災害時に地域で支えあう活動をすすめるために、特にどのような条件づくりが必要だと思いますか。（複数回答・2つまで）

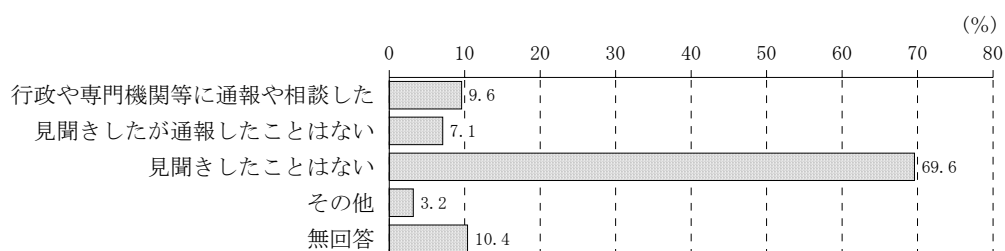
「災害時に支援が必要な人がどこにいるかなどの情報の共有」(68.8%)を非常に多くの人があげしており、特に重要な課題であることが認識されています。そのうえで、「平時からの意識づくりや話しあい、訓練などの実施」(45.8%)や「地域での防災組織の確立」(30.9%)という日常的な取り組みをすすめていくことの必要性を、多くの人があげています。



特に、【民生委員活動をしている】人（問10）では、「災害時に支援が必要な人がどこにいるかなどの情報の共有」を約8割(80.5%)の人があげしており、情報共有の重要性が強く認識されています。[表3-17]

問35 あなたは、活動や日常生活のなかで、虐待や権利侵害を見聞きしたり、それについて通報や相談などをしたことがありますか。

「虐待や権利侵害を見聞きし、行政や専門機関等に通報や相談を行った」(9.6%)人が約1割です。また、「虐待や権利侵害を見聞きしたが、通報や相談をしたことはない」(7.1%)と答えた人もおり、あわせて2割近い校区福祉委員が虐待を見聞きしています。



特に、【民生委員活動をしている】人（問10）では、「虐待や権利侵害を見聞きし、行政や専門機関等に通報や相談を行った」人が18.3%であり、虐待の早期発見や通報等において重要な役割を担っていることが、この調査でも示されています。[表3-18]

これらは、身近な地域で活動している民生委員や校区福祉委員による発見が非常に重要であり、より多くの人意識するよう取り組んでいくとともに、早期に適切な対応につながるしくみづくりをすすめていくことの必要性を示しています。

地域福祉計画の見直しに向けて

調査結果から、寝屋川市地域福祉計画の見直しのなかで検討すべきと考えられる課題を、計画に基づく取り組みの3つの柱に沿って整理しました。

今後、記述回答の内容なども含めて、計画に反映していきます。

1. 「地域福祉活動」の取り組みに関すること

①市民も参加した「地域で支えあう福祉」をすすめていくことを、多くの人が肯定しています。(市民アンケート：問14)

地域福祉は、地域のさまざまな力をあわせてすすめていくものであり、ひとりでも多くの市民が担い手としても参加していくことが、“私たちのまちの福祉”を広げていくことになります。

市民も参加した「地域で支えあう福祉」をすすめていくことについては、約7割の市民が肯定的に捉えており、平成15年の調査よりもさらに割合が大きくなっています。

ただし、参加の方法については「市民一人ひとりができることをする」という意見の人よりも、一人ひとりの参加は難しいので「地域の団体や協力できる人が中心となって取り組む」ことを期待する人の割合が大きくなっており、市民一人ひとりが、ちょっとしたことからでも主体的に関わるという意識を広げていくことが必要だといえます。

②現在、地域福祉活動に参加している人に加え、今後、活動したいと考えている人が少なくありません。(市民アンケート：問16・問17・問18)

現在、福祉に関する活動に参加している市民は約15%でした。参加している活動は、「地域の福祉活動」が最も多く、「ボランティアやNPOの活動」や「当事者活動」など多岐にわたっています。

これらの人々の多くは、活動を継続したり、新たな活動を展開する意向をもっています。さらに、現在は活動していない人で「今後は活動してみたい」という意向をもつ人が市民の約3割にのぼっており、こうした意識を活動につないでいくとともに、さらに多くの人が参加意識をもてるよう、呼びかけていく必要があります。

また、市民がやってみたいと考える活動は多岐にわたり、年齢や性別などによる志向性などもみられることから、多様な人々が参加できる多彩な活動をつくっていくことも求められています。

③近所どうして支えあえる地域づくりが求められており、市民の参加意識を活かして取り組んでいく必要があります。（市民アンケート：問13・問15）

「困ったときには、近所の人に支えてほしい」という思いを約6割の市民がもっており、この思いは、現在は近所の人との親しい交流がない人ももっていることが示されています。しかし、支えてほしいと思う人の約7割は、現実には「難しい」と感じており、多くの人の思いを活かしていくことで、支えあえる地域を実現していくことが必要です。

特に、「現に、日常生活のなかで近所の人に支えてほしいことがある」人が市民の約3割にのぼっており、支えてほしいことの内容も、見守りや話し相手、子どもの預かりや家事、送迎、介護の支援など多様です。こうしたニーズをきちんと把握し、今回の調査でも示された市民の地域福祉活動への参加意識とつなぐしくみをつくっていくことで、お互いのニーズを満たしていく必要があります。

④“頼まれてしかたなく”地域福祉活動に参加した人も少なくありませんが、活動を通じて多くのことが得られたと感じています。（福祉委員アンケート：問15・問16・問17）

現在、校区福祉委員として活動している人でも、地域福祉活動に参加したきっかけは「頼まれてしかたなく」という人が少なくありません。「誘われて興味をもった」人も多く、口コミで声をかけることが、活動に参加する人を増やしていくうえで非常に大きな効果があることが示されています。「頼まれてしかたなく」参加した人も、そのときの気持ちとして「地域を良くしたい」、「人の役に立ちたい」、「いずれお世話になる」といった“おたがいさま”の気持ちや、「自分のためになる」という気持ちを感じて活動を始めており、そうした潜在的な気持ちを、声をかけることで活かすことができたといえます。

また、活動を通じて、「他人への思いやりの気持ちが高まった」り、「福祉の課題がより見えるようになった」と多くの人を感じています。これは「頼まれてしかたなく」参加した人でも同じであり、まずは活動に参加してみることが、地域福祉への理解を広げていくうえでも非常に重要だということが示されています。「新たな友人ができた」り、「役に立っている」という気持ちを持てたり、「生きがいや健康が高まった」など、活動者自身の生活にもよい影響が表れており、こうしたプラスの面をPRするとともに、「活動に対する社会的な評価」などもすすめていくことで、参加の機運を高めていくことが重要です。

⑤地域福祉活動への参加を増やしていくよう、幅広い視点をもってみんなで取り組んでいく必要があります。

（市民アンケート：問19 福祉委員アンケート：問18・問19・問20・問21・問22）

校区福祉委員の方々が活動するうえでいちばん困っていることは「メンバーが少なく、高齢化していること」です。また、メンバーが少ないことが活動の「時間的な負担」にも

つながっていると考えられ、みんなが活動を継続していくためにも、無理なく活動できるよう、担い手を増やしていかなければなりません。

校区福祉委員の方々は、活動に参加する人を増やすためにさまざまな取り組みをしていますが、役員以外の人では、必要だとは思いつつ具体的な取り組みはしていない人も多いことから、みんなで意識して取り組めるようにしていく必要があります。

市民が地域福祉活動に参加しやすくするための条件として、市民も校区福祉委員も「情報提供と相談窓口の充実」を多くの人が求めており、これらが身近なところにあり、さらに、そこから活動につながるしかけが必要です。

また、校区福祉委員の方々は、特に活動に参加してほしい人として、「定年退職者や子育ての手が離れた世代の人」を最も多くあげており、シニア世代の人たちのいっそうの活躍が期待されています。一方で、「若い世代」の参加にも期待を寄せていますが、若い世代の市民は仕事などのため地域にいないことが多いため、例えば、「地域にある企業の従業員」等にも地域の活動への参加を呼びかけるなど、幅広い視点で捉えていくことも必要だと考えられます。

⑥活動の活性化を図るための専門的な支援なども求められています。

(福祉委員アンケート：問18・問19・問22)

校区福祉委員がメンバーが少ないこととともに感じている困難は、「活動がマンネリ化」していて「新しい活動を始めることが難しい」ということです。そのために、「活動の仲間やグループづくり」や「アドバイザーの派遣」などが必要だと感じている人もおり、「活動できる場」や「費用の援助」などとあわせて、活動を専門的に支援してくれる人やしくみの重要性が感じられています。また、活動で「特に何も感じていない」人は活動を継続する意欲がもちにくいことも示されており、成果や課題を振り返りながら活動をすすめていけるような支援も重要であると考えられます。

市民が福祉に関する活動をしやすい条件づくりに関して、福祉ニーズをもつ立場で当事者活動を行っている方々から、特にさまざまな支援が求められています。市民の誰もが“支援の受け手であると同時に担い手にもなる”地域福祉をすすめていくうえで、支援が必要な人どうしがお互いに理解しあう関係のなかで行うピア（仲間どうしの）活動は重要であり、活動しやすい条件づくりをすすめていく必要があります。

⑦多様な「協働」をすすめていくための条件整備やしくみづくりが必要です。

(福祉委員アンケート：問25・問26・問27)

「協働」は、“地域のあらゆる力をあわせてすすめる”地域福祉の重要なキーワードです。地域で活動している校区福祉委員の多くは「自治会等の地域組織」や「社会福祉協議会」等との協働を意識して活動していますが、“各々の主体の特徴を活かして協力しあう”と協

働の意義をいっそう効果的に活かした活動を展開していくよう、より多様な組織等との協働を広げていくことが望まれます。

多様な“思い”をもつ主体が協働していくうえでは、相互に理解しあうための「情報公開」や「対等な立場で協議ができる場」が求められています。

また、行政と市民の協働においては、「事業の企画・立案段階からの参加」や「協働において行政が担う役割の充実」が望まれています。本市では「みんなのまち基本条例」に基づいて市民と行政の協働を推進しており、地域福祉を推進していくなかでも、具体的な取り組みをすすめていく必要があります。

⑧地域での取り組みについての情報公開をすすめ、地域の資源や力を活かす「寄付文化」を醸成していくことが望まれます。(福祉委員アンケート：問28)

「寄付」は市民が地域福祉に参加するうえでのひとつの形態であり、“各々の特徴を活かす”という協働の視点からも、積極的に推進していくことが望まれます。

市民が福祉活動に寄付をしやすいするために、今回の調査でも「使い道についての情報公開をいっそうすすめていく」ことの重要性が指摘されています。これは寄付への理解を得ると同時に、活動している人々自身が成果や課題を振り返りながら活動をすすめていくうえでも、重要だと考えられます。

あわせて、金銭だけでなく、活動に活かせる場や物品など、地域の資源やさまざまな主体の力を有効に活用することなども含めた「寄付文化」の醸成をすすめていくことが望まれます。

2. 「地域福祉サービス」の取り組みに関すること

①だれもが安心して心豊かに暮らせるよう、地域福祉サービスの充実が求められています。

(市民アンケート：問10・問11 福祉委員アンケート：問29)

市民の暮らしに関わる地域の環境についての評価をみると、「生活の利便性」や「住まいの環境」などの面では比較的高い評価がなされている一方で、高齢者、障害者の生活や子育てなどの面では、平成15年の調査と比較しても厳しい評価となっています。生活全般を通じてみると約7割の市民は「満足」または「どちらかといえば満足」と答えており、これは平成15年の調査と大きな差はないことから、社会経済情勢がより厳しさを増しているという意識が地域の環境の評価にも反映されているとも考えられますが、「だれもが安心して心豊かに暮らせる」という地域福祉の目標を市民一人ひとりが実感できるよう、地域福祉サービスを含めた取り組みのいっそうの充実が求められています。

なかでも、障害のある人やその家族は、暮らしの環境のさまざまな面について評価が低

い傾向がみられ、多くの“生きづらさ”を感じていることが示されていることから、障害などがあってもあたりまえに生活できるノーマライゼーションの実現に向けた取り組みをいっそうすすめていくことが必要です。

また、生活全般を通じた満足度は、暮らし向き、健康状態、近所との交流などの状況とも関連していることが今回の調査でも示されており、生活全体の質を高めていくという視点で、市民一人ひとりが主体的に生活を考え、健康づくり、生活づくり、生きがいくくりなどに取り組んでいくとともに、生活上のニーズが生じた場合は生活全般を通じて総合的に支援していくことが重要だといえます。そのために、制度などの枠を超えた、まさに地域福祉の視点に立ったしくみづくりが求められます。

②市民のニーズをふまえて、重点的な取り組みをすすめていく必要があります。

(福祉委員アンケート：問30)

地域の環境に対する評価とも符合して、次期の地域福祉計画の計画期間にあたる今後の5年間に特に力を入れて取り組むべき課題として、「高齢者の生きがいくくりや介護」、「子どもの健全育成と虐待問題への対応」を多くの人があげています。

また、高齢化の進行を反映して「地域のつながりづくり」や「地域の生活環境の整備」などに力を入れるべきという意見も多くなっており、地域福祉の視点で、地域にねざしたまちづくりをすすめていくことが求められています。

一方、「障害のある人の介護や支援」については、障害のある当事者からは多くの課題が示されていますが、対象が少数であることなどから優先的な取り組みとしてあげた人は多くないという結果となっています。これは、障害のある人の生活環境について「わからない」と答えた人の割合が、市民アンケートでも校区福祉委員アンケートでも他の課題とくらべて大きかったことも要因であると考えられ、低所得などで困っている人や外国籍住民などへの支援や権利擁護の取り組みなども含め、地域のさまざまな課題について、みんなで理解していくことが必要です。

③NPOやコミュニティビジネスなどによる有償の活動や、自治会等での身近な取り組みなど、多様な方法での支援のしくみづくりが求められています。

(福祉委員アンケート：問23・問33)

NPOやコミュニティビジネスの活動について、校区福祉委員の約6割が「活動を広げる手法としてよいことだ」という評価をしており、そのうちの1割あまりの人は「自分でもやってみたい」と考えています。

地域での日常的な見守りや生活支援の方法として「有償で生活支援を行うしくみ」をつくることも、校区福祉委員の約2割が必要だとしています。一方で、地域の活動を有償で行うことについては反対だとする意見もみられ、お互いの意見について理解を深めていく

必要がありますが、多様なニーズに対応していくために、さまざまな手法での取り組みをすすめていくことの必要性については、理解が広がってきていると考えられます。

また、日常的な見守りや生活支援については、「自治会等の身近な地域での支援体制づくり」を校区福祉委員の多くが必要だと答えており、ちょっとした困りごとなども含めた具体的な生活支援をすすめるには、より身近なところでの活動が必要だということが指摘されています。

3. 「地域福祉のしくみづくり」の取り組みに関すること

①専門的な相談機関と地域での相談活動等が連携して、必要なときに適切な窓口につながるしくみを充実していく必要があります。

(市民アンケート：問12 福祉委員アンケート：問31・問32)

「生活のなかで困ったときの相談先」として、多くの市民は家族・親族、友人・知人、近所の人などの身近な人をあげており、専門的な機関や地域の相談員などをあげた人は、それほど多くありません。これは、具体的なニーズがない段階では、専門的な機関などに相談することがイメージしにくいということだと考えられますが、それだけに、いざ必要になったときには適切な窓口で相談できるよう、情報が的確に得られるようにするとともに、“どこかに相談すればきちんとつながる”しくみとして、相談のネットワークを充実していくことが重要だといえます。

市民が福祉に関する相談をしやすくするための取り組みについて、地域で相談活動をしている校区福祉委員や民生委員の方々からは「市の相談窓口」や「地域の相談機関」などの公的な窓口の充実を求める意見が多く出されており、専門的な相談機能を充実したうえで、地域での身近な相談活動が専門機関等に的確につながることが期待されていると考えられます。市民参加の身近な相談窓口である「まちかど福祉相談所」についてもいっそう活用されるよう、地域ごとの拠点づくりを推進していくことが望まれます。

②災害時にだれもが安全に避難できるようにするための、平時からの取り組みやしくみづくりが求められています。

(市民アンケート：問20・問21 福祉委員アンケート：問24・問34)

自然災害等による被害が全国で頻発するなか、災害時にだれもが安全に避難できるよう地域ぐるみで取り組むことの必要性への関心が高まっています。今回の調査でも、約6割の市民が自分や家族の避難について不安を感じており、この5年間で力を入れて取り組むべき課題としても多くの人があげています。市民のなかには、避難所までの経路がわからなかったり、介護などが必要なため避難所での生活に不安を感じている人もおり、地域福

祉の視点からの災害時支援の取り組みを重点的な課題のひとつとして推進していく必要があります。

災害時の地域での支えあい活動をすすめるために、「支援が必要な人の把握」、「話しあいや訓練の実施」などの日常的な取り組みの重要性が指摘されています。また、「避難に関して心配な人が近所にいる」と約2割の市民が答えており、だれもが無関心ではいられない災害時の対応をテーマとすることで、地域での新たなつながりづくりをすすめていくこともできると考えられます。

地域での取り組みをすすめるうえで課題となっている個人情報についても、災害時の支援などに活用するために「適切に管理されプライバシーが守られるのであれば、提供してもよい」と約6割の市民が答えており、一定の理解は得られているものと考えられます。校区福祉委員で災害時に「支援活動に参加したい」と答えた人は約5割であり、一部の活動者だけで対応できる問題ではないことから、できるだけ多くの市民が協力しあえるしくみを構築するよう、適切な管理のもとでの情報共有をすすめていくための取り組みが求められています。

③虐待や権利侵害をなくすために、地域も協力して取り組んでいくことが求められています。

(福祉委員アンケート：問30・問35)

高齢者、障害者、子どもなど、弱い立場に置かれがちな人たちへの虐待が大きな問題となっています。今回の調査でも子どもの健全育成や虐待問題への対応を、力を入れて取り組むべき課題として多くの人があげており、悲惨な事件を防ぐために地域も協力して、虐待を引き起こさないよう養護する側の人の理解や虐待の要因となる負担軽減のための支援などを充実するとともに、早期に発見し、適切な対応につなぐ取り組みをすすめていく必要があります。

約2割の校区福祉委員は虐待や権利侵害を見聞きし、行政や専門機関に通報を行っているケースもありますが、さらに多くの市民が気につけ、必要なときには的確に相談などができるよう、啓発や学習などをすすめていく必要があります。

また、虐待につながる要因のひとつとして、養護する側の人の孤立があげられますが、今回の調査でも、家族に介護が必要な高齢者や障害者がいる人で近所との交流が少ない人もおり、災害時の支援のしくみづくりなどとも関連づけながら、つながりづくりをすすめていく必要があります。また、34歳以下の市民で近所との交流が少ない傾向がみられることから、“孤立した子育て”にしないための取り組みも重要です。

すべての人の権利擁護をすすめることも、地域福祉の重要な視点です。今回の調査の設問では、福祉の支援が必要な人への権利擁護を優先的に取り組むべき課題としてあげた人は多くはありませんでしたが、地域福祉をすすめるためのすべての取り組みの基盤として、権利擁護についての理解をすすめるとともに、問題を解決するための相談や支援などの具体的な取り組みを充実していく必要があります。

集 計 表

1. 市民アンケート調査 単純集計表（年齢・性別集計）

（％は縦軸の「全体（人）」に対する割合）

〔表１－１〕 問１ 年齢

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
16～24歳	4.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	3.8%
25～34歳	9.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	9.2%
35～44歳	14.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.3%	16.5%
45～54歳	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.1%	12.9%
55～64歳	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	19.9%	21.2%
65～74歳	24.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	28.4%	22.1%
75歳以上	12.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	11.7%	13.3%
無回答	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.0%

〔表１－２〕 問２ 性別

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
男	41.9%	51.9%	42.2%	35.1%	40.5%	40.6%	48.3%	38.9%	100.0%	0.0%
女	57.7%	48.1%	57.8%	64.9%	59.5%	59.4%	51.7%	61.1%	0.0%	100.0%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

〔表１－３〕 問３ 同居している家族の構成

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
ひとり暮らし	12.2%	5.6%	4.6%	4.6%	8.8%	14.3%	14.0%	26.8%	10.1%	13.9%
夫婦のみ	28.1%	1.9%	9.2%	10.9%	11.5%	35.2%	50.0%	35.6%	32.4%	25.1%
親と子ども （二世世代世帯）	49.4%	74.1%	78.9%	75.3%	70.3%	43.0%	27.4%	22.1%	49.9%	49.4%
親と子どもと孫 （三世世代世帯）	6.4%	16.7%	4.6%	6.3%	6.1%	4.1%	5.1%	10.7%	5.0%	7.5%
その他	2.6%	1.9%	1.8%	2.3%	3.4%	2.0%	2.7%	3.4%	2.2%	2.9%
無回答	1.3%	0.0%	0.9%	0.6%	0.0%	1.2%	0.7%	1.3%	0.4%	1.2%

【表１－４】 問４ 就業状況

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
会社員・公務員	21.2%	16.7%	42.2%	40.2%	39.9%	22.5%	2.7%	0.7%	33.8%	12.0%
自営業	6.8%	0.0%	4.6%	5.2%	12.2%	8.2%	8.6%	2.7%	9.9%	4.7%
農業	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.7%	0.4%	0.0%
自由業	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.8%	1.0%	0.0%	0.8%	0.3%
学生	3.0%	63.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	2.2%
専業主婦・主夫	18.0%	1.9%	21.1%	21.3%	10.1%	25.8%	19.5%	10.1%	0.2%	31.0%
パート・アルバイト・ 契約社員・派遣社員	15.3%	11.1%	20.2%	25.3%	26.4%	20.9%	6.2%	0.0%	7.6%	20.9%
無職	31.7%	1.9%	8.3%	6.3%	6.8%	19.3%	58.9%	82.6%	39.6%	26.2%
その他	2.3%	5.6%	1.8%	1.7%	4.1%	1.6%	1.4%	3.4%	2.4%	2.2%
無回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.8%	1.4%	0.0%	1.0%	0.6%

【表１－５】 問５ 暮らし向きの状況

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
豊か	1.6%	11.1%	2.8%	0.6%	2.7%	0.4%	0.3%	2.0%	2.0%	1.3%
どちらかといえば 豊か	7.6%	16.7%	5.5%	8.6%	9.5%	7.4%	7.2%	4.0%	8.0%	7.3%
ふつう	45.3%	35.2%	44.0%	38.5%	40.5%	51.6%	41.8%	61.1%	40.4%	49.0%
どちらかといえば 苦しい	28.4%	18.5%	26.6%	37.9%	29.7%	24.2%	31.5%	22.1%	32.4%	25.7%
かなり苦しい	14.5%	14.8%	19.3%	13.2%	16.9%	15.2%	15.8%	6.0%	15.5%	13.9%
わからない	1.4%	3.7%	0.9%	1.1%	0.7%	1.2%	1.7%	2.0%	1.4%	1.5%
その他	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	0.4%
無回答	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	0.2%	0.9%

【表１－６】 問６ 健康状態

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
健康	22.8%	63.0%	40.4%	34.5%	23.6%	15.6%	14.4%	9.4%	21.9%	23.7%
ふつう	43.7%	33.3%	45.0%	50.6%	50.0%	48.0%	40.1%	34.9%	46.7%	41.8%
日常生活には問題 はない	25.5%	1.9%	12.8%	9.2%	23.0%	29.9%	35.6%	38.3%	24.7%	26.2%
からだが弱く病気 がち	4.6%	1.9%	1.8%	4.0%	2.7%	4.1%	5.1%	9.4%	4.4%	4.7%
ねたきり・ほとん どねたきり	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.0%	0.2%	0.6%
その他	1.9%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.6%	3.1%	5.4%	1.4%	2.3%
無回答	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.7%	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%	0.7%

【表１－７】 問７ 介護が必要な家族の有無

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
介護が必要な人は いない	79.5%	79.6%	89.0%	81.6%	85.1%	75.8%	81.2%	69.8%	79.1%	80.3%
介護が必要な高齢 者がいる	12.1%	11.1%	6.4%	9.2%	9.5%	16.0%	10.6%	19.5%	13.1%	11.5%
介護が必要な障害 者（児）がいる	4.5%	7.4%	5.5%	4.0%	4.1%	4.1%	5.8%	2.0%	5.4%	3.8%
その他	1.9%	0.0%	0.0%	4.0%	1.4%	2.5%	0.7%	3.4%	1.0%	2.6%
無回答	2.5%	1.9%	0.0%	1.1%	0.7%	2.5%	2.7%	5.4%	2.0%	2.3%

【表1－8】 問8 居住している小学校区

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
東小学校区	4.0%	3.7%	5.5%	2.3%	3.4%	5.3%	2.7%	6.0%	3.4%	4.4%
西小学校区	3.8%	1.9%	3.7%	2.9%	3.4%	3.7%	4.5%	5.4%	4.6%	3.2%
南小学校区	3.4%	5.6%	1.8%	3.4%	3.4%	3.3%	5.1%	0.7%	3.6%	3.2%
北小学校区	5.1%	9.3%	7.3%	6.3%	4.1%	4.1%	4.1%	4.7%	5.2%	5.0%
第五小学校区	8.8%	5.6%	7.3%	6.3%	11.5%	9.0%	8.6%	12.1%	8.9%	8.8%
成美小学校区	3.4%	1.9%	3.7%	4.6%	6.1%	1.6%	2.7%	4.0%	3.4%	3.4%
明和小学校区	3.0%	1.9%	1.8%	2.9%	5.4%	3.3%	3.1%	1.3%	2.4%	3.4%
池田小学校区	4.6%	0.0%	2.8%	4.6%	4.1%	4.9%	6.8%	4.0%	4.6%	4.7%
中央小学校区	3.6%	5.6%	8.3%	5.2%	0.7%	2.9%	2.7%	3.4%	4.2%	3.2%
啓明小学校区	4.3%	7.4%	5.5%	4.0%	4.7%	1.6%	5.5%	4.7%	4.4%	4.2%
三井小学校区	4.3%	0.0%	7.3%	1.1%	2.7%	2.9%	7.9%	4.7%	4.0%	4.5%
木屋小学校区	4.2%	3.7%	2.8%	5.2%	2.7%	7.0%	3.4%	3.4%	3.8%	4.5%
木田小学校区	3.8%	7.4%	2.8%	1.7%	5.4%	4.5%	2.1%	5.4%	3.0%	4.4%
神田小学校区	3.7%	9.3%	5.5%	3.4%	4.7%	2.9%	3.4%	2.0%	4.2%	3.4%
堀溝小学校区	3.3%	3.7%	2.8%	4.6%	1.4%	3.3%	4.1%	2.7%	2.4%	3.9%
田井小学校区	5.0%	1.9%	2.8%	7.5%	6.1%	5.7%	4.1%	4.0%	5.0%	5.0%
桜小学校区	2.9%	5.6%	4.6%	2.9%	1.4%	1.6%	3.8%	2.7%	2.6%	3.1%
点野小学校区	4.5%	3.7%	2.8%	6.3%	4.1%	4.9%	4.8%	3.4%	3.8%	5.0%
和光小学校区	4.3%	0.0%	5.5%	5.7%	2.0%	5.3%	3.8%	5.4%	5.6%	3.4%
国松緑丘小学校区	4.3%	7.4%	1.8%	4.0%	4.1%	6.1%	3.1%	4.7%	4.6%	4.1%
楠根小学校区	1.5%	3.7%	0.0%	0.6%	1.4%	1.2%	2.1%	1.3%	1.8%	1.3%
梅が丘小学校区	2.7%	1.9%	2.8%	2.9%	2.7%	3.7%	3.1%	0.7%	2.4%	2.9%
宇谷小学校区	2.4%	1.9%	1.8%	1.7%	2.7%	3.3%	2.1%	2.0%	2.4%	2.3%
石津小学校区	2.2%	0.0%	0.9%	0.6%	2.0%	2.5%	3.1%	3.4%	2.6%	1.9%
どの小学校区か知らない	5.1%	5.6%	8.3%	7.5%	8.8%	4.9%	1.0%	4.0%	5.0%	5.0%
無回答	2.1%	1.9%	0.0%	1.7%	1.4%	0.4%	2.4%	4.0%	1.6%	1.9%

【表1－9】 問9 近所の人との交流

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
相談したり助け合う人がいる	25.5%	24.1%	16.5%	26.4%	26.4%	19.7%	29.5%	34.9%	18.9%	30.6%
家を行き来するほど親しい人がいる	20.2%	13.0%	18.3%	17.8%	17.6%	17.2%	23.6%	29.5%	15.1%	24.1%
道で会えば親しく話をする人がいる	45.3%	29.6%	34.9%	46.0%	48.0%	45.5%	49.3%	46.3%	39.0%	50.1%
あいさつをする程度	34.7%	59.3%	40.4%	36.2%	33.8%	38.1%	29.1%	27.5%	40.2%	30.8%
ほとんど（全く）つきあいはない	5.3%	1.9%	11.0%	8.6%	5.4%	5.7%	2.7%	3.4%	7.4%	3.8%
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	1.0%	0.7%	0.2%	0.7%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.7%	0.2%	0.3%

問10 地域の暮らしの環境

〔表1-10-1〕 ①高齢者が安心して暮らせる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.9%	5.6%	11.0%	3.4%	2.7%	4.9%	7.5%	14.8%	6.4%	7.3%
どちらかといえば そう思う	20.7%	27.8%	14.7%	20.7%	23.0%	18.0%	19.9%	25.5%	21.9%	19.9%
どちらかといえば そうは思わない	24.3%	20.4%	23.9%	25.3%	28.4%	25.0%	27.1%	15.4%	27.0%	22.4%
そうは思わない	25.0%	18.5%	25.7%	25.3%	23.6%	30.3%	26.0%	16.1%	22.7%	26.3%
わからない	17.1%	24.1%	22.9%	20.1%	17.6%	18.4%	12.7%	12.1%	15.5%	18.3%
無回答	6.1%	3.7%	1.8%	5.2%	4.7%	3.3%	6.8%	16.1%	6.4%	5.8%

〔表1-10-2〕 ②障害者が安心して暮らせる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	4.6%	3.7%	9.2%	2.3%	3.4%	3.3%	4.1%	8.1%	4.8%	4.4%
どちらかといえば そう思う	11.2%	18.5%	12.8%	10.9%	12.2%	10.7%	10.3%	10.1%	11.9%	10.8%
どちらかといえば そうは思わない	22.1%	29.6%	18.3%	25.9%	27.0%	20.9%	24.7%	11.4%	24.7%	20.3%
そうは思わない	28.8%	14.8%	25.7%	31.6%	31.1%	33.2%	30.8%	18.1%	27.4%	29.5%
わからない	26.7%	29.6%	32.1%	24.1%	21.6%	29.1%	22.3%	33.6%	24.5%	28.4%
無回答	6.6%	3.7%	1.8%	5.2%	4.7%	2.9%	7.9%	18.8%	6.6%	6.6%

〔表1-10-3〕 ③安心して子育てができる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.3%	3.7%	13.8%	4.0%	3.4%	4.9%	6.8%	8.1%	6.2%	6.3%
どちらかといえば そう思う	16.4%	37.0%	11.9%	14.9%	15.5%	18.4%	14.0%	17.4%	17.5%	15.6%
どちらかといえば そうは思わない	22.8%	14.8%	23.9%	26.4%	29.7%	25.0%	22.6%	10.1%	24.1%	21.8%
そうは思わない	26.3%	20.4%	36.7%	35.1%	36.5%	25.0%	22.9%	9.4%	24.7%	27.5%
わからない	18.7%	20.4%	11.9%	14.4%	9.5%	21.7%	19.5%	29.5%	17.3%	19.7%
無回答	9.4%	3.7%	1.8%	5.2%	5.4%	4.9%	14.0%	25.5%	10.1%	9.1%

〔表1-10-4〕 ④子どもが健やかに育つ

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.0%	13.0%	11.9%	2.9%	3.4%	4.1%	5.8%	8.1%	6.2%	5.7%
どちらかといえば そう思う	24.5%	37.0%	15.6%	22.4%	25.7%	29.9%	24.0%	19.5%	24.9%	24.0%
どちらかといえば そうは思わない	24.6%	14.8%	27.5%	28.2%	29.1%	25.0%	25.3%	15.4%	26.2%	23.4%
そうは思わない	22.7%	20.4%	30.3%	32.2%	29.1%	21.7%	17.5%	12.1%	22.1%	23.2%
わからない	13.5%	11.1%	11.9%	9.8%	8.1%	14.8%	13.0%	24.2%	11.7%	14.9%
無回答	8.8%	3.7%	2.8%	4.6%	4.7%	4.5%	14.4%	20.8%	8.9%	8.8%

【表１－１０－５】 ⑤生涯学習や活動ができる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	5.3%	5.6%	5.5%	1.7%	2.7%	4.9%	6.5%	9.4%	5.4%	5.0%
どちらかといえば そう思う	18.6%	22.2%	22.0%	18.4%	19.6%	18.9%	18.5%	14.8%	17.3%	19.7%
どちらかといえば そうは思わない	24.6%	14.8%	25.7%	25.9%	33.1%	25.0%	23.6%	18.1%	27.4%	22.7%
そうは思わない	22.1%	24.1%	22.9%	30.5%	25.7%	24.6%	18.2%	12.1%	22.3%	21.9%
わからない	20.8%	29.6%	21.1%	17.8%	14.2%	21.7%	21.9%	23.5%	18.7%	22.4%
無回答	8.5%	3.7%	2.8%	5.7%	4.7%	4.9%	11.3%	22.1%	8.9%	8.3%

【表１－１０－６】 ⑥住民のふれあいがある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.2%	11.1%	9.2%	2.9%	3.4%	4.1%	8.2%	8.1%	5.2%	6.9%
どちらかといえば そう思う	28.1%	27.8%	25.7%	29.9%	31.8%	26.6%	26.7%	30.2%	26.0%	29.8%
どちらかといえば そうは思わない	25.8%	27.8%	26.6%	28.2%	32.4%	28.7%	24.3%	13.4%	28.6%	23.7%
そうは思わない	20.7%	11.1%	22.0%	20.1%	19.6%	25.0%	22.6%	13.4%	21.7%	20.0%
わからない	11.6%	18.5%	14.7%	13.8%	8.1%	11.5%	9.6%	11.4%	11.3%	11.7%
無回答	7.6%	3.7%	1.8%	5.2%	4.7%	4.1%	8.6%	23.5%	7.2%	7.9%

【表１－１０－７】 ⑦世代が違う人の交流がある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	4.8%	11.1%	3.7%	3.4%	2.7%	2.9%	5.8%	7.4%	4.8%	4.7%
どちらかといえば そう思う	17.5%	14.8%	24.8%	23.0%	16.2%	19.3%	15.1%	10.1%	12.7%	21.1%
どちらかといえば そうは思わない	26.4%	25.9%	23.9%	32.2%	33.8%	27.5%	22.3%	21.5%	30.4%	23.4%
そうは思わない	29.5%	29.6%	31.2%	23.6%	30.4%	35.2%	31.2%	21.5%	30.2%	29.1%
わからない	14.2%	14.8%	14.7%	13.2%	12.2%	11.9%	16.1%	16.8%	14.9%	13.7%
無回答	7.6%	3.7%	1.8%	4.6%	4.7%	3.3%	9.6%	22.8%	7.0%	8.0%

【表１－１０－８】 ⑧困ったときに相談できる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.7%	7.4%	9.2%	3.4%	5.4%	4.5%	7.5%	11.4%	5.4%	7.6%
どちらかといえば そう思う	21.0%	24.1%	12.8%	21.8%	20.9%	25.4%	21.9%	16.1%	17.5%	23.7%
どちらかといえば そうは思わない	21.3%	20.4%	23.9%	23.0%	28.4%	20.1%	18.2%	18.8%	23.9%	19.3%
そうは思わない	31.2%	33.3%	35.8%	35.6%	28.4%	36.1%	30.8%	16.1%	34.2%	28.9%
わからない	12.6%	11.1%	15.6%	11.5%	12.8%	11.1%	11.6%	16.8%	11.5%	13.3%
無回答	7.3%	3.7%	2.8%	4.6%	4.1%	2.9%	9.9%	20.8%	7.4%	7.2%

【表１－１０－９】 ⑨誰かが支えてくれる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	5.5%	7.4%	7.3%	5.2%	4.1%	2.5%	5.1%	10.7%	5.4%	5.6%
どちらかといえば そう思う	20.0%	24.1%	15.6%	22.4%	24.3%	19.3%	20.5%	14.8%	17.5%	21.9%
どちらかといえば そうは思わない	23.0%	22.2%	24.8%	25.3%	29.7%	25.4%	19.2%	16.8%	25.6%	21.1%
そうは思わない	29.1%	25.9%	30.3%	33.3%	29.1%	32.4%	28.4%	19.5%	32.6%	26.6%
わからない	14.7%	14.8%	18.3%	7.5%	8.8%	16.4%	17.5%	17.4%	11.5%	16.8%
無回答	7.8%	5.6%	3.7%	6.3%	4.1%	4.1%	9.2%	20.8%	7.4%	8.0%

【表１－１０－１０】 ⑩住まいや生活環境がよい

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	9.9%	22.2%	13.8%	6.3%	4.7%	9.0%	9.6%	13.4%	9.3%	10.4%
どちらかといえば そう思う	39.0%	40.7%	33.9%	33.3%	45.3%	41.0%	38.7%	38.9%	39.8%	38.0%
どちらかといえば そうは思わない	19.3%	16.7%	17.4%	23.0%	20.3%	20.9%	20.2%	12.8%	20.3%	18.7%
そうは思わない	19.3%	14.8%	22.9%	25.9%	20.9%	20.1%	17.8%	10.1%	19.1%	19.6%
わからない	5.6%	1.9%	9.2%	5.7%	4.1%	4.9%	4.5%	10.1%	4.8%	6.3%
無回答	6.8%	3.7%	2.8%	5.7%	4.7%	4.1%	9.2%	14.8%	6.6%	7.0%

【表１－１０－１１】 ⑪道路や交通の便がよい

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	14.5%	16.7%	14.7%	10.9%	12.2%	14.8%	14.0%	20.1%	12.7%	15.8%
どちらかといえば そう思う	38.0%	53.7%	35.8%	37.4%	39.9%	37.3%	40.1%	29.5%	43.1%	34.6%
どちらかといえば そうは思わない	18.7%	3.7%	17.4%	19.0%	26.4%	18.9%	19.2%	15.4%	17.9%	18.9%
そうは思わない	19.1%	16.7%	29.4%	27.6%	14.9%	20.5%	16.8%	10.1%	17.1%	20.8%
わからない	3.3%	5.6%	0.9%	0.6%	2.0%	4.1%	2.4%	9.4%	2.2%	4.1%
無回答	6.3%	3.7%	1.8%	4.6%	4.7%	4.5%	7.5%	15.4%	7.0%	5.8%

【表１－１０－１２】 ⑫生活が便利である

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	16.1%	13.0%	16.5%	11.5%	14.2%	17.2%	17.8%	17.4%	13.3%	18.1%
どちらかといえば そう思う	38.4%	46.3%	39.4%	41.4%	39.9%	39.3%	40.1%	25.5%	44.7%	34.1%
どちらかといえば そうは思わない	20.5%	22.2%	23.9%	23.6%	22.3%	19.3%	18.5%	18.8%	20.9%	20.0%
そうは思わない	15.3%	11.1%	15.6%	16.7%	16.2%	17.2%	14.7%	12.8%	11.7%	18.1%
わからない	3.7%	1.9%	2.8%	2.9%	2.7%	4.1%	2.1%	9.4%	3.0%	4.1%
無回答	5.9%	5.6%	1.8%	4.0%	4.7%	2.9%	6.8%	16.1%	6.4%	5.6%

【表１－１０－１３】 ⑬活動できる場が身近にある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	5.7%	5.6%	7.3%	2.3%	3.4%	5.3%	7.9%	7.4%	4.8%	6.4%
どちらかといえば そう思う	19.6%	20.4%	19.3%	15.5%	27.0%	17.2%	23.6%	15.4%	19.5%	19.9%
どちらかといえば そうは思わない	24.9%	25.9%	21.1%	31.6%	21.6%	30.7%	22.9%	16.8%	28.0%	22.5%
そうは思わない	26.1%	22.2%	31.2%	29.9%	28.4%	27.0%	23.3%	20.1%	26.2%	26.2%
わからない	16.9%	22.2%	19.3%	14.4%	14.2%	17.2%	14.4%	21.5%	14.7%	18.3%
無回答	6.8%	3.7%	1.8%	6.3%	5.4%	2.5%	7.9%	18.8%	6.8%	6.7%

【表１－１０－１４】 ⑭人権がまもられている

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.4%	9.3%	7.3%	4.6%	4.7%	7.0%	4.5%	10.7%	5.8%	6.7%
どちらかといえば そう思う	23.0%	31.5%	22.9%	17.8%	20.9%	22.5%	26.7%	21.5%	26.6%	20.3%
どちらかといえば そうは思わない	19.2%	18.5%	17.4%	28.2%	22.3%	19.3%	17.8%	10.7%	20.1%	18.6%
そうは思わない	18.5%	16.7%	22.9%	19.0%	21.6%	18.4%	18.2%	12.8%	17.9%	19.0%
わからない	27.0%	20.4%	27.5%	25.3%	25.7%	30.3%	25.7%	28.9%	23.1%	29.8%
無回答	5.9%	3.7%	1.8%	5.2%	4.7%	2.5%	7.2%	15.4%	6.4%	5.6%

【表１－１０－１５】 ⑮災害に対して安全である

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
そう思う	6.4%	3.7%	6.4%	3.4%	4.1%	8.2%	5.5%	10.7%	6.2%	6.4%
どちらかといえば そう思う	25.5%	33.3%	23.9%	22.4%	23.0%	26.2%	26.4%	26.8%	26.8%	24.4%
どちらかといえば そうは思わない	20.1%	25.9%	19.3%	23.6%	23.0%	20.5%	20.2%	12.1%	22.1%	18.7%
そうは思わない	18.7%	11.1%	19.3%	19.5%	19.6%	19.7%	20.9%	14.1%	18.9%	18.7%
わからない	23.2%	22.2%	29.4%	25.3%	25.7%	23.0%	18.8%	22.1%	19.5%	25.9%
無回答	6.2%	3.7%	1.8%	5.7%	4.7%	2.5%	8.2%	14.1%	6.4%	5.8%

【表１－１１】 問11 地域での暮らしの満足度

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
満足している	10.5%	22.2%	8.3%	5.2%	8.1%	9.4%	12.3%	14.8%	9.1%	11.4%
どちらかといえば 満足している	57.4%	51.9%	58.7%	56.3%	60.8%	57.0%	57.9%	56.4%	60.0%	55.6%
どちらかといえば 満足していない	18.4%	16.7%	21.1%	20.7%	18.2%	19.7%	18.2%	12.8%	18.1%	18.6%
満足していない	8.6%	3.7%	11.0%	10.3%	8.1%	11.1%	5.8%	7.4%	8.0%	9.1%
無回答	5.1%	5.6%	0.9%	7.5%	4.7%	2.9%	5.8%	8.7%	4.8%	5.4%

【表１－１２】 問１２ 困ったときの相談先

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
家族や親族	77.7%	85.2%	87.2%	79.9%	83.1%	74.6%	73.6%	73.8%	74.0%	80.4%
近所の人	12.5%	1.9%	5.5%	17.8%	12.8%	11.1%	16.4%	10.1%	9.7%	14.6%
友人や知人	39.0%	63.0%	54.1%	51.7%	45.3%	44.7%	26.7%	14.8%	33.0%	43.4%
民生委員や福祉委員	4.3%	1.9%	0.9%	1.1%	1.4%	4.9%	9.2%	4.0%	4.4%	4.2%
市などの公的な相談窓口	12.0%	0.0%	5.5%	9.8%	11.5%	11.5%	19.9%	10.1%	12.9%	11.4%
福祉の施設や事業所	5.4%	3.7%	0.9%	2.3%	4.7%	5.7%	8.2%	7.4%	4.8%	5.8%
医療機関や薬局	9.5%	1.9%	4.6%	5.2%	7.4%	9.4%	14.4%	13.4%	11.3%	8.2%
その他	0.8%	0.0%	0.9%	1.7%	0.0%	0.8%	0.3%	2.0%	0.6%	1.0%
相談できるところはない	3.2%	0.0%	4.6%	3.4%	4.1%	2.5%	2.7%	4.7%	4.0%	2.6%
特に相談したいと思うことはない	3.0%	7.4%	2.8%	1.1%	2.7%	3.7%	2.7%	3.4%	4.0%	2.3%
無回答	4.6%	3.7%	0.9%	4.6%	4.1%	2.9%	5.8%	8.7%	4.8%	4.4%

【表１－１３】 問１３ 近所の人への支えの要否

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
困ったときには支えてほしいと思う	18.5%	27.8%	18.3%	21.3%	20.9%	15.2%	16.1%	21.5%	15.7%	20.6%
支えてほしいが難しいと思う	42.9%	22.2%	45.0%	36.8%	41.2%	42.6%	50.3%	40.9%	45.5%	40.9%
支えてほしいとは思わない	19.1%	29.6%	23.9%	15.5%	18.9%	23.8%	15.8%	14.1%	22.5%	16.5%
わからない	13.5%	16.7%	11.9%	18.4%	14.2%	13.9%	11.6%	10.7%	11.1%	15.2%
その他	1.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.7%	1.6%	0.3%	1.3%	0.4%	1.5%
無回答	5.1%	3.7%	0.9%	5.7%	4.1%	2.9%	5.8%	11.4%	4.8%	5.3%

【表１－１４】 問１４ 地域で支えあう福祉の要否

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
市民一人ひとりができることをする	30.9%	37.0%	37.6%	36.2%	33.1%	32.8%	28.1%	20.1%	30.2%	31.7%
協力できる人が取り組みばよい	10.5%	14.8%	14.7%	9.2%	8.1%	10.7%	9.6%	8.7%	9.5%	11.3%
地域の団体が中心になって取り組む	33.6%	31.5%	33.9%	29.3%	33.1%	38.5%	33.9%	30.9%	36.8%	31.0%
福祉は行政がやればよい	7.2%	0.0%	3.7%	6.9%	6.1%	6.6%	10.3%	8.1%	8.7%	6.0%
わからない	9.4%	9.3%	7.3%	9.2%	11.5%	6.6%	8.6%	16.1%	7.0%	11.3%
その他	2.1%	1.9%	1.8%	3.4%	3.4%	1.6%	1.7%	0.7%	2.0%	2.0%
無回答	6.3%	5.6%	0.9%	5.7%	4.7%	3.3%	7.9%	15.4%	5.8%	6.7%

【表１－１５】 問１５ 近所の人に助けてほしいこと

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
話し相手や相談相手になってほしい	13.6%	11.1%	19.3%	21.8%	10.8%	10.7%	12.0%	10.7%	14.1%	13.3%
安否確認や見守りをしてほしい	15.3%	18.5%	21.1%	13.2%	16.2%	12.7%	14.7%	17.4%	14.7%	15.6%
一時的に子どもを預かってほしい	4.1%	3.7%	18.3%	11.5%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	3.4%	4.7%
家事や買物などを手伝ってほしい	1.6%	5.6%	0.9%	1.1%	0.7%	1.2%	1.7%	2.7%	1.4%	1.8%
付き添いや送迎をしてほしい	1.4%	3.7%	0.9%	1.1%	0.7%	0.8%	1.7%	2.7%	0.8%	1.9%
介護を手伝ってほしい	1.4%	0.0%	0.9%	0.6%	0.7%	0.4%	2.7%	2.0%	1.2%	1.5%
その他	3.3%	0.0%	1.8%	4.0%	6.8%	1.2%	2.4%	6.7%	1.6%	4.5%
特に助けてほしいと思うことはない	58.5%	64.8%	48.6%	51.1%	60.8%	69.3%	61.3%	47.0%	61.4%	56.4%
無回答	9.0%	5.6%	1.8%	7.5%	5.4%	6.1%	13.4%	18.1%	9.1%	9.1%

【表１－１６】 問１６ 福祉活動への参加状況

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
地域の福祉活動	10.1%	3.7%	8.3%	9.8%	10.1%	9.0%	13.0%	10.1%	7.6%	12.0%
ボランティアやNPOの活動	3.7%	0.0%	3.7%	0.6%	1.4%	4.1%	6.5%	4.7%	4.0%	3.5%
ニーズのある人どうしの当事者活動	1.9%	1.9%	0.9%	1.7%	1.4%	1.6%	3.1%	2.0%	1.8%	2.0%
その他	1.9%	1.9%	0.0%	4.0%	2.0%	0.0%	2.7%	2.0%	1.4%	2.2%
特に参加していない	76.1%	85.2%	86.2%	79.3%	78.4%	84.0%	66.8%	63.8%	77.9%	74.7%
無回答	8.7%	7.4%	2.8%	5.2%	7.4%	4.1%	12.0%	20.8%	8.9%	8.6%

【表１－１７】 問１７ 福祉活動への参加意向

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
現在している活動を続けたい	7.1%	5.6%	2.8%	3.4%	2.0%	7.4%	12.3%	10.1%	6.2%	7.7%
現在の活動とは違う活動をしたい	1.3%	1.9%	1.8%	0.6%	1.4%	0.8%	2.4%	0.7%	1.8%	1.0%
今後は活動してみたい	30.6%	29.6%	38.5%	29.3%	34.5%	41.0%	28.1%	11.4%	31.0%	30.1%
特に活動をするつもりはない	39.8%	55.6%	42.2%	44.8%	42.6%	38.9%	31.8%	38.9%	43.1%	37.6%
その他	9.8%	1.9%	11.0%	14.9%	8.1%	6.1%	10.3%	13.4%	8.0%	11.1%
無回答	11.4%	5.6%	3.7%	6.9%	11.5%	5.7%	15.1%	25.5%	9.9%	12.4%

【表１－18】 問18 今後参加したい活動

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
安否確認や見守り・話し相手	22.7%	18.5%	22.9%	13.2%	19.6%	31.6%	26.0%	17.4%	24.3%	21.3%
高齢者・障害者等の介護や家事	4.5%	7.4%	3.7%	5.2%	2.0%	3.7%	6.8%	2.7%	4.8%	4.2%
子育ての手伝いや相談相手	11.6%	18.5%	24.8%	20.7%	14.2%	9.8%	4.8%	2.7%	7.6%	14.6%
高齢者・障害者等のサロン	12.5%	13.0%	13.8%	12.6%	11.5%	14.3%	13.4%	8.1%	11.7%	13.0%
その他	5.8%	3.7%	4.6%	4.6%	4.7%	5.3%	7.5%	8.1%	6.4%	5.4%
無回答	55.4%	59.3%	48.6%	58.0%	59.5%	48.0%	53.4%	67.1%	56.3%	54.8%

【表１－19】 問19 福祉活動に必要な条件づくり

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
活動に関するさまざまな情報提供	47.1%	61.1%	61.5%	54.6%	58.8%	51.2%	37.0%	23.5%	47.5%	46.6%
気軽に相談できる窓口	40.0%	40.7%	41.3%	43.7%	45.3%	40.6%	38.7%	30.9%	37.8%	41.7%
知識や技術を身につけるための研修	22.3%	20.4%	34.9%	29.3%	29.7%	24.2%	14.0%	12.1%	20.7%	23.4%
活動に関するアドバイザーの派遣	9.5%	14.8%	13.8%	9.2%	13.5%	9.4%	7.9%	5.4%	10.3%	9.1%
活動のための仲間やグループづくり	26.7%	33.3%	29.4%	31.6%	31.8%	27.5%	24.0%	15.4%	28.4%	25.3%
身近に活動ができる場（施設）	37.2%	59.3%	46.8%	51.7%	39.9%	38.9%	27.4%	18.8%	34.4%	39.2%
活動に必要な費用の援助	24.2%	38.9%	39.4%	28.7%	29.1%	22.5%	17.8%	12.8%	27.0%	22.1%
その他	1.5%	0.0%	2.8%	1.7%	3.4%	0.8%	1.7%	0.0%	1.2%	1.8%
特にない・わからない	16.4%	11.1%	9.2%	9.2%	12.8%	15.2%	20.2%	29.5%	17.1%	15.9%
無回答	8.2%	5.6%	1.8%	5.7%	4.7%	4.1%	12.7%	18.8%	6.8%	9.2%

【表１－20】 問20 災害時に気になること

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
自分や家族の避難が心配である	61.2%	70.4%	75.2%	75.3%	62.8%	57.0%	56.2%	47.0%	58.4%	63.3%
近所に避難できないと思う人がいる	18.1%	16.7%	16.5%	19.0%	17.6%	16.8%	23.3%	13.4%	19.3%	17.4%
避難場所や経路がわからない	16.9%	22.2%	25.7%	21.8%	15.5%	13.1%	14.0%	16.1%	17.9%	16.2%
避難所で生活できるかどうか心配	10.7%	14.8%	8.3%	4.6%	6.8%	11.9%	11.3%	18.1%	11.7%	9.9%
その他	3.8%	5.6%	2.8%	5.2%	3.4%	3.7%	4.1%	2.7%	3.4%	4.1%
特に気になることはない	17.9%	14.8%	9.2%	9.8%	22.3%	21.7%	20.9%	17.4%	18.7%	17.3%
無回答	4.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.0%	2.9%	5.5%	10.1%	4.2%	3.8%

【表１－２１】 問21 支援が必要な人の情報共有

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,186	54	109	174	148	244	292	149	497	684
適切に管理されれば提供してもよい	62.2%	70.4%	67.9%	64.9%	77.7%	62.3%	57.5%	46.3%	64.4%	60.7%
個人の情報は提供したくない	10.0%	9.3%	10.1%	9.2%	4.7%	11.1%	8.9%	15.4%	10.5%	9.5%
わからない	21.7%	16.7%	19.3%	21.3%	15.5%	22.5%	26.0%	22.1%	21.1%	22.2%
その他	1.8%	3.7%	2.8%	2.9%	2.0%	1.2%	1.4%	0.7%	0.8%	2.5%
無回答	4.3%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	2.9%	6.2%	15.4%	3.2%	5.1%

2. 市民アンケート調査 クロス集計表

(%は横軸の「全体(人)」に対する割合)

【表2-1】 問7 介護が必要な家族の有無

		全体(人)	年齢						
			16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
全体		1,186	4.6%	9.2%	14.7%	12.5%	20.6%	24.6%	12.6%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	4.6%	10.3%	15.1%	13.4%	19.6%	25.1%	11.0%
	介護が必要な高齢者がいる	144	4.2%	4.9%	11.1%	9.7%	27.1%	21.5%	20.1%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	7.5%	11.3%	13.2%	11.3%	18.9%	32.1%	5.7%
	その他	23	0.0%	0.0%	30.4%	8.7%	26.1%	8.7%	21.7%

【表2-2】 問9 近所の人との交流

		全体(人)	相談したり助け合う人がいる	家を行き来するほど親しい人がいる	道で会えば親しく話をする人がいる	あいさつをする程度	ほとんど(全く)つきあいはない	その他	無回答
全体		1,186	25.5%	20.2%	45.3%	34.7%	5.3%	0.5%	0.7%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	25.7%	20.3%	46.4%	34.1%	5.5%	0.5%	0.2%
	介護が必要な高齢者がいる	144	27.1%	21.5%	44.4%	38.2%	2.1%	0.0%	0.7%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	24.5%	17.0%	35.8%	34.0%	9.4%	0.0%	1.9%
	その他	23	21.7%	26.1%	47.8%	30.4%	4.3%	4.3%	0.0%

問10 地域の暮らしの環境

【表2-3-1】 ②障害者が安心して暮らせる

		全体(人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体		1,186	4.6%	11.2%	22.1%	28.8%	26.7%	6.6%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	4.5%	11.7%	22.2%	27.8%	28.0%	5.9%
	介護が必要な高齢者がいる	144	2.8%	11.1%	22.9%	30.6%	22.9%	9.7%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	9.4%	5.7%	24.5%	39.6%	18.9%	1.9%
	その他	23	0.0%	8.7%	17.4%	39.1%	17.4%	17.4%

【表2-3-2】 ⑪道路や交通の便がよい

		全体(人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体		1,186	14.5%	38.0%	18.7%	19.1%	3.3%	6.3%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	15.1%	39.2%	17.2%	19.6%	3.2%	5.7%
	介護が必要な高齢者がいる	144	8.3%	34.7%	28.5%	16.0%	3.5%	9.0%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	11.3%	35.8%	20.8%	24.5%	3.8%	3.8%
	その他	23	17.4%	30.4%	13.0%	21.7%	0.0%	17.4%

【表 2-3-3】 ⑫生活が便利である

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	16.1%	38.4%	20.5%	15.3%	3.7%	5.9%
介護が必 要な家族 の有無	介護が必要な人はいない	943	16.3%	39.6%	20.7%	14.6%	3.6%	5.2%
	介護が必要な高齢者がいる	144	11.1%	38.9%	20.8%	16.7%	4.2%	8.3%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	17.0%	32.1%	20.8%	22.6%	5.7%	1.9%
	その他	23	17.4%	34.8%	13.0%	17.4%	0.0%	17.4%

【表 2-3-4】 ⑭人権がまもられている

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	6.4%	23.0%	19.2%	18.5%	27.0%	5.9%
介護が必 要な家族 の有無	介護が必要な人はいない	943	6.0%	22.9%	18.8%	18.6%	28.3%	5.4%
	介護が必要な高齢者がいる	144	6.3%	27.8%	20.8%	14.6%	21.5%	9.0%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	7.5%	18.9%	28.3%	30.2%	13.2%	1.9%
	その他	23	0.0%	21.7%	17.4%	8.7%	34.8%	17.4%

【表 2-3-5】 ⑮災害に対して安全である

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	6.4%	25.5%	20.1%	18.7%	23.2%	6.2%
介護が必 要な家族 の有無	介護が必要な人はいない	943	6.3%	25.8%	20.1%	18.8%	23.5%	5.5%
	介護が必要な高齢者がいる	144	6.9%	28.5%	22.9%	15.3%	18.8%	7.6%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	3.8%	17.0%	22.6%	26.4%	26.4%	3.8%
	その他	23	4.3%	21.7%	8.7%	21.7%	21.7%	21.7%

【表 2-4-1】 ⑥住民のふれあいがある

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	6.2%	28.1%	25.8%	20.7%	11.6%	7.6%
近所の人 との交流	相談したり助け合う人がある	303	14.5%	42.2%	17.2%	10.6%	7.9%	7.6%
	家を行き来するほど親しい人がある	240	12.9%	42.5%	15.8%	10.4%	6.7%	11.7%
	道で会えば親しく話をする人がある	537	7.8%	36.1%	22.7%	14.3%	10.8%	8.2%
	あいさつをする程度	411	3.2%	16.8%	32.8%	28.5%	14.1%	4.6%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	3.2%	3.2%	22.2%	47.6%	11.1%	12.7%
	その他	6	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%

【表２－４－２】 ⑧困ったときに相談できる

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	6.7%	21.0%	21.3%	31.2%	12.6%	7.3%
近所の人 との交流	相談したり助け合う人がいる	303	16.8%	45.5%	14.9%	7.3%	7.3%	8.3%
	家を行き来するほど親しい人がいる	240	13.3%	41.3%	17.1%	8.8%	9.2%	10.4%
	道で会えば親しく話をする人がいる	537	8.0%	27.2%	22.7%	21.4%	12.3%	8.4%
	あいさつをする程度	411	2.7%	8.5%	21.7%	47.9%	14.8%	4.4%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	1.6%	4.8%	14.3%	57.1%	9.5%	12.7%
	その他	6	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%

【表２－４－３】 ⑨誰かが支えてくれる

		全体(人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		1,186	5.5%	20.0%	23.0%	29.1%	14.7%	7.8%
近所の人 との交流	相談したり助け合う人がいる	303	13.2%	39.3%	17.2%	10.9%	10.2%	9.2%
	家を行き来するほど親しい人がいる	240	12.5%	35.0%	18.3%	11.3%	11.3%	11.7%
	道で会えば親しく話をする人がいる	537	6.3%	25.3%	22.2%	22.5%	14.7%	8.9%
	あいさつをする程度	411	2.9%	10.0%	24.8%	40.1%	17.5%	4.6%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	0.0%	7.9%	14.3%	60.3%	4.8%	12.7%
	その他	6	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%

【表２－５】 問11 地域での暮らしの満足度

		全体(人)	満足して いる	どちらか といえば 満足して いる	どちらか といえば 満足して いない	満足して いない	無回答
全体		1,186	10.5%	57.4%	18.4%	8.6%	5.1%
暮らし向 きの状況	豊か	19	36.8%	52.6%	0.0%	0.0%	10.5%
	どちらかといえば豊か	90	30.0%	55.6%	10.0%	3.3%	1.1%
	ふつう	537	11.9%	65.2%	13.8%	4.7%	4.5%
	どちらかといえば苦しい	337	3.9%	55.5%	23.7%	9.8%	7.1%
	かなり苦しい	172	5.8%	39.5%	26.7%	23.3%	4.7%
	わからない	17	5.9%	52.9%	35.3%	0.0%	5.9%
	その他	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
健康状態	健康	271	17.3%	59.8%	12.2%	5.2%	5.5%
	ふつう	518	8.5%	59.8%	18.5%	8.3%	4.8%
	日常生活には問題はない	303	9.2%	55.1%	22.1%	8.9%	4.6%
	からだが弱く病気がち	54	5.6%	37.0%	29.6%	22.2%	5.6%
	ねたきり・ほとんどねたきり	5	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	その他	23	4.3%	56.5%	13.0%	17.4%	8.7%
近所の人 との交流	相談したり助け合う人がいる	303	15.8%	61.4%	12.2%	5.0%	5.6%
	家を行き来するほど親しい人がいる	240	14.2%	62.9%	11.7%	4.2%	7.1%
	道で会えば親しく話をする人がいる	537	11.5%	62.4%	14.9%	5.2%	6.0%
	あいさつをする程度	411	7.8%	53.0%	23.6%	11.9%	3.6%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	6.3%	39.7%	27.0%	20.6%	6.3%
	その他	6	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%

【表２－６】 問11 地域での暮らしの満足度

		全体(人)	満足して いる	どちらか といえば 満足して いる	どちらか といえば 満足して いない	満足して いない	無回答
全体		1,186	10.5%	57.4%	18.4%	8.6%	5.1%
⑩住まい や生活環 境がよい	そう思う	118	46.6%	44.9%	5.9%	0.8%	1.7%
	どちらかといえばそう思う	462	10.8%	80.1%	6.3%	2.4%	0.4%
	どちらかといえばそうは思わない	229	3.1%	55.9%	31.9%	7.9%	1.3%
	そうは思わない	229	2.6%	32.3%	38.9%	25.8%	0.4%
	わからない	67	6.0%	52.2%	23.9%	14.9%	3.0%
⑥住民の ふれあい がある	そう思う	74	45.9%	40.5%	10.8%	1.4%	1.4%
	どちらかといえばそう思う	333	11.7%	70.3%	11.4%	5.1%	1.5%
	どちらかといえばそうは思わない	306	5.2%	64.4%	23.5%	6.2%	0.7%
	そうは思わない	245	4.9%	44.9%	30.6%	18.8%	0.8%
	わからない	138	13.0%	60.1%	13.8%	11.6%	1.4%
⑬活動で きる場が 身近にあ る	そう思う	68	42.6%	47.1%	4.4%	2.9%	2.9%
	どちらかといえばそう思う	233	15.9%	69.1%	11.6%	3.4%	0.0%
	どちらかといえばそうは思わない	295	4.7%	66.8%	22.0%	5.4%	1.0%
	そうは思わない	309	4.5%	48.2%	27.8%	18.8%	0.6%
	わからない	200	13.0%	60.5%	17.5%	7.5%	1.5%
④子ども が健やか に育つ	そう思う	71	42.3%	46.5%	8.5%	1.4%	1.4%
	どちらかといえばそう思う	290	12.4%	74.8%	9.3%	2.4%	1.0%
	どちらかといえばそうは思わない	292	5.8%	61.6%	25.3%	6.5%	0.7%
	そうは思わない	269	5.6%	45.4%	28.3%	19.7%	1.1%
	わからない	160	10.6%	63.8%	14.4%	10.0%	1.3%
⑨誰かが 支えてく れる	そう思う	65	40.0%	47.7%	9.2%	0.0%	3.1%
	どちらかといえばそう思う	237	13.1%	73.8%	9.3%	2.5%	1.3%
	どちらかといえばそうは思わない	273	6.2%	64.1%	22.3%	6.6%	0.7%
	そうは思わない	345	4.9%	50.1%	28.4%	15.7%	0.9%
	わからない	174	15.5%	58.6%	14.9%	10.3%	0.6%

【表２－７】 問12 困ったときの相談先

		全体 (人)	家族や 親族	近所の 人	友人や 知人	民生委 員や福 祉委員	市など の公的 な相談 窓口	福祉の 施設や 事業所	医療機 関や薬 局	その他	相談で きるこ ろはな い	特に相 談した と思 うこと はない	無回答
全体		1,186	77.7%	12.5%	39.0%	4.3%	12.0%	5.4%	9.5%	0.8%	3.2%	3.0%	4.6%
介護が 必要な 家族の 有無	介護が必要な人はいない	943	79.4%	13.5%	39.3%	3.7%	12.4%	3.0%	8.8%	0.5%	3.6%	3.4%	4.1%
	介護が必要な高齢者がいる	144	72.2%	9.0%	40.3%	6.3%	10.4%	18.1%	15.3%	2.1%	2.1%	2.1%	4.9%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	83.0%	5.7%	30.2%	3.8%	18.9%	22.6%	15.1%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%
	その他	23	56.5%	21.7%	56.5%	13.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%
福祉活 動への 参加状 況	地域の福祉活動	120	80.0%	16.7%	52.5%	9.2%	15.0%	8.3%	11.7%	0.8%	1.7%	1.7%	0.0%
	ボランティアやNPOの活動	44	88.6%	22.7%	50.0%	15.9%	22.7%	18.2%	13.6%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	87.0%	26.1%	69.6%	17.4%	17.4%	21.7%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	22	86.4%	18.2%	36.4%	13.6%	9.1%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%
	特に参加していない	903	81.3%	12.3%	40.2%	3.3%	12.6%	4.8%	10.0%	0.7%	3.8%	3.3%	0.6%

【表２－８】 問13 近所の人の支えの要否

		全体(人)	困ったときには支えてほしいと思う	支えてほしいが難しいと思う	支えてほしいとは思わない	わからない	その他	無回答
全体		1,186	18.5%	42.9%	19.1%	13.5%	1.0%	5.1%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	17.6%	42.6%	19.7%	14.3%	1.0%	4.8%
	介護が必要な高齢者がいる	144	20.8%	47.9%	17.4%	6.9%	1.4%	5.6%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	28.3%	45.3%	11.3%	11.3%	1.9%	1.9%
	その他	23	21.7%	30.4%	17.4%	13.0%	0.0%	17.4%
近所の人との交流	相談したり助け合う人がある	303	38.9%	33.3%	8.6%	11.6%	1.7%	5.9%
	家を行き来するほど親しい人がある	240	33.8%	37.5%	11.3%	8.8%	0.8%	7.9%
	道で会えば親しく話をする人がある	537	22.2%	44.3%	13.8%	12.1%	1.1%	6.5%
	あいさつをする程度	411	8.0%	44.5%	27.7%	16.1%	0.5%	3.2%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	9.5%	42.9%	30.2%	9.5%	1.6%	6.3%
	その他	6	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
福祉活動への参加状況	地域の福祉活動	120	24.2%	55.0%	10.8%	9.2%	0.8%	0.0%
	ボランティアやNPOの活動	44	20.5%	59.1%	11.4%	9.1%	0.0%	0.0%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	43.5%	34.8%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%
	その他	22	9.1%	45.5%	31.8%	13.6%	0.0%	0.0%
	特に参加していない	903	18.2%	43.9%	21.0%	14.7%	1.1%	1.1%

【表２－９】 問14 地域で支えあう福祉の要否

		全体(人)	市民一人ひとりができることをする	協力できる人が取り組めばよい	地域の団体が中心になって取り組む	福祉は行政がやればよい	わからない	その他	無回答
全体		1,186	30.9%	10.5%	33.6%	7.2%	9.4%	2.1%	6.3%
福祉活動への参加状況	地域の福祉活動	120	40.0%	10.0%	34.2%	5.0%	5.0%	2.5%	3.3%
	ボランティアやNPOの活動	44	38.6%	9.1%	29.5%	6.8%	0.0%	9.1%	6.8%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	39.1%	8.7%	34.8%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%
	その他	22	36.4%	13.6%	31.8%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%
	特に参加していない	903	30.7%	11.4%	36.3%	7.8%	10.1%	2.0%	1.8%

【表２－10】 問15 近所の人に助けてほしいこと

		全体(人)	話し相手や相談相手になってほしい	安否確認や見守りをしてほしい	一時的に子どもを預かってほしい	家事や買物などを手伝ってほしい	付き添いや送迎をしてほしい	介護を手伝ってほしい	その他	特に助けてほしいと思うことはない	無回答
全体		1,186	13.6%	15.3%	4.1%	1.6%	1.4%	1.4%	3.3%	58.5%	9.0%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	13.4%	13.7%	4.3%	1.0%	0.7%	0.5%	2.7%	61.7%	8.7%
	介護が必要な高齢者がいる	144	15.3%	20.8%	2.1%	4.2%	2.1%	4.2%	6.9%	47.2%	9.0%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	20.8%	24.5%	9.4%	5.7%	5.7%	9.4%	7.5%	43.4%	1.9%
	その他	23	17.4%	26.1%	0.0%	8.7%	17.4%	4.3%	4.3%	34.8%	17.4%

【表2-11】 問17 福祉活動への参加意向

		全体(人)	現在している活動 を続けた い	現在の活動とは違 う活動を したい	今後は活 動してみ たい	特に活動 をするつ もりはな い	その他	無回答
全体		1,186	7.1%	1.3%	30.6%	39.8%	9.8%	11.4%
福祉活動 への参加 状況	地域の福祉活動	120	36.7%	8.3%	21.7%	19.2%	8.3%	5.8%
	ボランティアやNPOの活動	44	61.4%	13.6%	11.4%	9.1%	2.3%	2.3%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	69.6%	17.4%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%
	その他	22	27.3%	4.5%	27.3%	22.7%	18.2%	0.0%
	特に参加していない	903	0.7%	0.1%	35.1%	48.2%	10.5%	5.4%
近所の人の 支えの 要否	困ったときには支えてほしいと思う	219	10.5%	1.4%	37.4%	33.3%	9.6%	7.8%
	支えてほしいが難しいと思う	509	8.3%	2.2%	36.0%	37.5%	10.2%	5.9%
	支えてほしいとは思わない	226	5.3%	0.4%	24.3%	58.4%	7.5%	4.0%
	わからない	160	3.8%	0.6%	24.4%	42.5%	12.5%	16.3%
	その他	12	8.3%	0.0%	16.7%	25.0%	41.7%	8.3%

【表2-12】 問19 福祉活動に必要な条件づくり

		全体 (人)	活動に 関する さまざ まな情 報提供	気軽に 相談で きる窓 口	知識や 技術を 身につ けるた めの研 修	活動に 関する アドバ イザー の派遣	活動の ための 仲間や グルー プづく り	身近に 活動が できる 場(施 設)	活動に 必要な 費用の 援助	その他	特にな い・わ からな い	無回答
全体		1,186	47.1%	40.0%	22.3%	9.5%	26.7%	37.2%	24.2%	1.5%	16.4%	8.2%
福祉活動 への参加 状況	地域の福祉活動	120	59.2%	47.5%	29.2%	12.5%	39.2%	42.5%	35.0%	3.3%	6.7%	1.7%
	ボランティアやNPOの活動	44	65.9%	45.5%	22.7%	11.4%	29.5%	38.6%	38.6%	4.5%	4.5%	2.3%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	69.6%	60.9%	34.8%	30.4%	52.2%	65.2%	43.5%	0.0%	0.0%	4.3%
	その他	22	50.0%	40.9%	27.3%	9.1%	22.7%	50.0%	22.7%	4.5%	9.1%	9.1%
	特に参加していない	903	48.9%	40.9%	23.3%	10.0%	27.6%	39.8%	24.0%	1.3%	19.4%	3.2%

【表2-13】 問20 災害時に気になること

		全体(人)	自分や家 族の避難 が心配で ある	近所に避 難できな いと思う 人がいる	避難場所 や経路が わからな い	避難所で 生活でき るかどう か心配	その他	特に気 になるこ とはない	無回答
全体		1,186	61.2%	18.1%	16.9%	10.7%	3.8%	17.9%	4.0%
介護が必 要な家族 の有無	介護が必要な人はいない	943	60.8%	17.7%	16.4%	5.1%	4.2%	19.8%	3.6%
	介護が必要な高齢者がいる	144	65.3%	19.4%	19.4%	36.1%	2.8%	10.4%	2.1%
	介護が必要な障害者(児)がいる	53	73.6%	22.6%	15.1%	50.9%	1.9%	3.8%	1.9%
	その他	23	69.6%	17.4%	26.1%	8.7%	0.0%	13.0%	4.3%
福祉活動 への参加 状況	地域の福祉活動	120	66.7%	31.7%	10.0%	15.0%	3.3%	13.3%	1.7%
	ボランティアやNPOの活動	44	54.5%	36.4%	6.8%	13.6%	6.8%	22.7%	2.3%
	ニーズのある人どうしの当事者活動	23	78.3%	47.8%	13.0%	30.4%	13.0%	8.7%	0.0%
	その他	22	40.9%	13.6%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%	0.0%
	特に参加していない	903	62.9%	16.5%	17.8%	9.9%	3.8%	17.9%	3.0%

〔表 2－14〕 問21 支援が必要な人の情報共有

		全体(人)	適切に管理されれば提供してもよい	個人の情報は提供したくない	わからない	その他	無回答
全体		1,186	62.2%	10.0%	21.7%	1.8%	4.3%
介護が必要な家族の有無	介護が必要な人はいない	943	62.5%	10.1%	22.1%	1.7%	3.7%
	介護が必要な高齢者がいる	144	66.0%	10.4%	17.4%	2.1%	4.2%
	介護が必要な障害者（児）がいる	53	81.1%	3.8%	13.2%	1.9%	0.0%
	その他	23	43.5%	0.0%	43.5%	4.3%	8.7%
災害時に気になること	自分や家族の避難が心配である	726	67.4%	9.6%	19.4%	1.5%	2.1%
	近所に避難できないと思う人がいる	215	68.8%	8.4%	18.1%	1.9%	2.8%
	避難場所や経路がわからない	201	62.2%	12.4%	21.4%	3.0%	1.0%
	避難所で生活できるかどうか心配	127	63.0%	11.0%	20.5%	2.4%	3.1%
	その他	45	62.2%	11.1%	11.1%	15.6%	0.0%
	特に気になることはない	212	56.1%	10.8%	28.8%	1.9%	2.4%
近所の人との支えの要否	困ったときには支えてほしいと思う	219	72.6%	6.8%	15.5%	1.4%	3.7%
	支えてほしいが難しいと思う	509	67.4%	8.4%	19.4%	1.8%	2.9%
	支えてほしいとは思わない	226	55.8%	16.4%	23.5%	0.9%	3.5%
	わからない	160	47.5%	10.0%	36.3%	2.5%	3.8%
	その他	12	75.0%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%
近所の人との交流	相談したり助け合う人がいる	303	67.0%	6.6%	20.8%	1.7%	4.0%
	家を行き来するほど親しい人がいる	240	63.3%	10.8%	19.6%	0.4%	5.8%
	道で会えば親しく話をする人がいる	537	64.4%	8.2%	20.7%	1.7%	5.0%
	あいさつをする程度	411	59.1%	10.7%	24.1%	2.2%	3.9%
	ほとんど（全く）つきあいはない	63	50.8%	14.3%	27.0%	3.2%	4.8%
	その他	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

3. 校区福祉委員アンケート調査 クロス集計表

(%は横軸の「全体(人)」に対する割合)

[表3-1] 問6 健康状態

		全体(人)	健康	ふつう	日常生活には問題はない	からだが弱く病気がち	その他	無回答
全体		871	23.8%	52.2%	20.8%	1.7%	1.3%	0.2%
年齢	30～40歳代	33	33.3%	48.5%	15.2%	3.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	120	26.7%	55.8%	16.7%	0.0%	0.8%	0.0%
	60歳代前半	156	23.1%	52.6%	23.7%	0.6%	0.0%	0.0%
	60歳代後半	252	25.8%	56.3%	15.5%	1.2%	1.2%	0.0%
	70歳代前半	182	23.1%	47.3%	24.2%	3.8%	1.6%	0.0%
	70歳代後半	95	18.9%	46.3%	26.3%	3.2%	4.2%	1.1%
	80歳代	25	4.0%	60.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%

[表3-2] 問12 福祉の活動の頻度

		全体(人)	ほぼ毎日	週に1～数回	月に1～数回	年に1～数回	ほとんどしていない	その他	無回答
全体		871	8.6%	30.3%	38.6%	13.8%	4.8%	0.6%	3.3%
福祉委員会以外の活動	民生委員活動	246	11.8%	52.0%	30.1%	2.8%	1.2%	0.0%	2.0%
	地域や施設等でのボランティア活動	436	11.2%	37.8%	40.8%	7.8%	1.1%	0.2%	0.9%
	地域組織での福祉に関する活動	605	9.6%	31.4%	37.2%	15.2%	4.8%	0.8%	1.0%
	NPOなどでの福祉活動	35	14.3%	45.7%	28.6%	8.6%	0.0%	0.0%	2.9%
	その他	30	20.0%	46.7%	23.3%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福祉委員会の役員	現在役員をしている	397	13.4%	35.3%	38.3%	8.1%	2.5%	0.5%	2.0%
	以前に役員をしていた	93	3.2%	36.6%	31.2%	17.2%	8.6%	0.0%	3.2%
	役員をしたことはない	329	4.9%	24.3%	42.2%	21.0%	5.5%	0.6%	1.5%
	その他	10	0.0%	0.0%	70.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%

[表3-3] 問14 福祉の活動の期間

		全体(人)	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	その他	無回答
全体		871	6.5%	30.3%	23.2%	23.3%	14.4%	0.2%	2.1%
福祉委員以前の福祉の活動	していた	275	0.7%	12.4%	25.5%	30.5%	30.5%	0.0%	0.4%
	特にしていなかった	555	9.7%	39.8%	23.1%	20.2%	6.5%	0.2%	0.5%
	その他	18	0.0%	27.8%	16.7%	22.2%	22.2%	5.6%	5.6%

[表3-4] 問15 福祉の活動のきっかけ

		全体(人)	自分からしたいと思って参加した	誘われて興味をもつて参加した	頼まれてしかたなく参加した	その他	無回答
全体		871	11.8%	34.6%	37.0%	13.4%	3.2%
福祉委員以前の福祉の活動	していた	275	23.3%	42.5%	22.5%	9.8%	1.8%
	特にしていなかった	555	6.1%	32.1%	44.5%	15.7%	1.6%
	その他	18	22.2%	16.7%	44.4%	11.1%	5.6%

【表3-5】 問16 福祉の活動を始めたときの気持ち

		全体 (人)	他人や 社会の ために 役に立 ちたい	住んで いる地 域をよ り良く したい	技能や 能力、 経験を 活かし たい	生きが いや健 康を高 めたい	新たな 友人を 得たい	技術や 技能を 習得し たい	福祉の 活動に 興味が あった	ボラン ティア のお世 話にな った	将来世 話にな ると思 った	その他	特に明 確な気 持ちや 動機は なかった	無回答
全体		871	0.5%	54.0%	12.5%	28.0%	13.2%	4.5%	17.5%	1.6%	27.4%	4.2%	12.4%	2.9%
活動の きっかけ	自分からしたいと思 って参加した	103	73.8%	62.1%	24.3%	40.8%	18.4%	4.9%	35.0%	1.9%	22.3%	9.7%	1.0%	1.0%
	誘われて興味をも って参加した	301	53.5%	63.1%	16.3%	39.2%	17.9%	6.3%	26.9%	1.3%	30.6%	1.7%	3.0%	0.7%
	頼まれてしかた なく参加した	322	37.0%	46.3%	8.4%	20.2%	10.9%	3.4%	6.8%	1.6%	29.2%	1.2%	22.0%	1.9%
	その他	117	35.0%	48.7%	5.1%	12.8%	4.3%	2.6%	11.1%	1.7%	19.7%	14.5%	23.1%	0.9%

【表3-6】 問17 活動をして感じること

		全体 (人)	他人や 社会の ために 役に立 っている	地域が 良くな っている	技能や 能力、 経験を 活か せてい る	生きが いや健 康が高 まってい る	新たな 友人を 得るこ とがで きた	技術や 技能を 習得で きた	福祉へ の関心 が高ま った	思いや りの気 持ちが 深まった	社会で 評価さ れるよ うにな った	福祉の 課題が 見える ように なった	1～10 のよう なことは特 に感じ ない	無回答
全体		871	43.1%	28.7%	14.6%	23.5%	51.7%	6.5%	38.6%	52.1%	9.3%	42.5%	3.3%	3.2%
福祉の 活動 を 始 め た と き の 気 持 ち	他人や社会のた めに役に立ちたい	400	66.8%	36.3%	22.3%	31.0%	59.3%	9.0%	46.8%	60.0%	14.8%	49.5%	0.8%	0.8%
	住んでいる地域 をより良くしたい	470	53.0%	44.9%	17.7%	30.2%	54.0%	8.3%	45.1%	58.9%	12.6%	47.7%	1.5%	0.9%
	技能や能力、経 験を活かしたい	109	66.1%	41.3%	60.6%	39.4%	64.2%	15.6%	41.3%	54.1%	22.9%	55.0%	0.0%	0.0%
	生きがいや健 康を高めたい	244	54.1%	39.3%	27.0%	58.2%	70.1%	14.8%	49.2%	66.0%	18.4%	50.4%	0.0%	0.4%
	新たな友人を 得たい	115	47.8%	33.9%	24.3%	40.0%	87.8%	14.8%	50.4%	67.0%	14.8%	49.6%	0.0%	0.0%
	技術や技能を 習得したい	39	59.0%	38.5%	33.3%	48.7%	59.0%	38.5%	56.4%	87.2%	17.9%	64.1%	0.0%	2.6%
	福祉の活動に 興味があった	152	55.3%	33.6%	21.7%	34.9%	64.5%	14.5%	55.9%	72.4%	15.1%	59.9%	0.7%	1.3%
	ボランティアの お世話になった	14	35.7%	14.3%	21.4%	42.9%	42.9%	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%
	将来世話にな ると思った	239	49.8%	28.5%	14.2%	25.9%	59.8%	9.2%	46.4%	66.1%	9.6%	47.7%	1.3%	1.3%
	その他	37	29.7%	27.0%	13.5%	13.5%	62.2%	8.1%	37.8%	51.4%	10.8%	59.5%	2.7%	2.7%
	特に明確な気持 ちや動機はな かった	108	19.4%	8.3%	6.5%	8.3%	40.7%	1.9%	25.0%	34.3%	6.5%	29.6%	16.7%	1.9%
	自分からしたい と思っ て参加した	103	56.3%	41.7%	22.3%	36.9%	69.9%	6.8%	37.9%	53.4%	15.5%	43.7%	0.0%	1.9%
活動の き っ か け	誘われて興味を もって参加した	301	49.2%	28.9%	17.6%	32.6%	57.8%	7.3%	43.2%	58.8%	9.6%	45.2%	1.3%	0.7%
	頼まれてしかた なく参加した	322	39.4%	26.4%	12.1%	15.8%	47.5%	6.2%	34.2%	50.0%	8.1%	39.4%	5.6%	1.6%
	その他	117	32.5%	25.6%	8.5%	13.7%	39.3%	4.3%	41.0%	45.3%	7.7%	47.9%	6.0%	3.4%

【表３－７】 問18 福祉の活動で困っていること

		全体(人)	活動の時間的な負担が大きい	活動の体力的な負担が大きい	活動の経済的な負担が大きい	家族が活動を理解してくれない	一緒に活動するメンバーが少ない	活動のメンバーが高齢化している	活動するグループの運営が難しい	他の団体等との関係づくりが難しい
全体		871	28.2%	13.7%	4.2%	2.9%	26.3%	59.8%	4.5%	5.5%
福祉委員会以外の活動	民生委員活動	246	42.3%	19.9%	6.5%	3.3%	23.2%	63.4%	3.3%	6.1%
	地域や施設等でのボランティア活動	436	32.3%	17.2%	5.0%	2.5%	29.4%	69.0%	5.5%	5.5%
	地域組織での福祉に関する活動	605	28.9%	14.2%	4.6%	3.1%	29.1%	64.6%	4.6%	5.6%
	NPOなどでの福祉活動	35	28.6%	17.1%	2.9%	0.0%	34.3%	68.6%	8.6%	5.7%
	その他	30	36.7%	20.0%	3.3%	3.3%	30.0%	60.0%	6.7%	13.3%
福祉委員会の役員	現在役員をしている	397	33.5%	16.1%	5.0%	2.0%	26.7%	65.7%	6.5%	7.8%
	以前に役員をしていた	93	24.7%	16.1%	2.2%	3.2%	22.6%	58.1%	4.3%	5.4%
	役員をしたことはない	329	25.2%	10.6%	4.3%	3.3%	28.0%	56.8%	2.4%	3.6%
	その他	10	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%

		活動するための場所の確保が難しい	活動のための財源の確保が難しい	活動がマンネリ化している	新しい活動を始めることが難しい	相談や支援をしてくれる人がいない	その他	特にない・わからない	無回答
全体		5.7%	9.5%	27.7%	11.9%	3.0%	5.5%	9.6%	5.2%
福祉委員会以外の活動	民生委員活動	5.7%	7.3%	30.5%	13.4%	1.6%	5.7%	7.3%	3.7%
	地域や施設等でのボランティア活動	8.3%	10.8%	31.4%	13.3%	2.8%	6.4%	6.0%	2.3%
	地域組織での福祉に関する活動	6.6%	11.4%	28.3%	12.2%	3.3%	5.5%	8.1%	3.3%
	NPOなどでの福祉活動	14.3%	8.6%	37.1%	20.0%	8.6%	11.4%	2.9%	0.0%
	その他	13.3%	20.0%	13.3%	30.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%
福祉委員会の役員	現在役員をしている	8.6%	13.6%	29.0%	15.4%	5.0%	6.3%	6.5%	4.0%
	以前に役員をしていた	7.5%	6.5%	32.3%	15.1%	1.1%	10.8%	9.7%	4.3%
	役員をしたことはない	1.8%	5.2%	26.4%	7.6%	1.5%	3.0%	14.0%	3.3%
	その他	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%

【表3-8】 問19 今後の活動の意向

		全体(人)	現在の活動 を続けて いきたい	現在に加 えて新た な活動も したい	現在に代 えて新た な活動を したい	活動を縮 小したい ・やめた い	その他	無回答
全体		871	53.0%	10.2%	2.4%	21.9%	5.3%	7.1%
福祉の活 動で困っ ているこ と	活動の時間的な負担が大きい	246	44.3%	7.3%	2.8%	36.6%	6.5%	2.4%
	活動の体力的な負担が大きい	119	37.0%	9.2%	5.0%	40.3%	4.2%	4.2%
	活動の経済的な負担が大きい	37	43.2%	21.6%	2.7%	27.0%	2.7%	2.7%
	家族が活動を理解してくれない	25	40.0%	12.0%	4.0%	36.0%	0.0%	8.0%
	一緒に活動するメンバーが少ない	229	59.0%	12.7%	3.9%	18.8%	3.9%	1.7%
	活動のメンバーが高齢化している	521	55.5%	12.9%	2.5%	21.1%	4.0%	4.0%
	活動するグループの運営が難しい	39	48.7%	20.5%	2.6%	20.5%	5.1%	2.6%
	他の団体等との関係づくりが難しい	48	56.3%	12.5%	4.2%	20.8%	4.2%	2.1%
	活動するための場所の確保が難しい	50	50.0%	28.0%	4.0%	12.0%	6.0%	0.0%
	活動のための財源の確保が難しい	83	53.0%	18.1%	3.6%	16.9%	6.0%	2.4%
	活動がマンネリ化している	241	48.1%	17.4%	4.1%	21.6%	5.0%	3.7%
	新しい活動を始めることが難しい	104	45.2%	20.2%	2.9%	25.0%	5.8%	1.0%
	相談や支援をしてくれる人がいない	26	53.8%	15.4%	3.8%	19.2%	7.7%	0.0%
	その他	48	39.6%	10.4%	4.2%	20.8%	20.8%	4.2%
	特にない・わからない	84	46.4%	4.8%	0.0%	23.8%	11.9%	13.1%
活動をし て感じる こと	他人や社会のために役に立っている	375	60.0%	13.3%	1.3%	18.4%	3.5%	3.5%
	地域が良くなっている	250	61.6%	12.4%	2.0%	14.4%	5.6%	4.0%
	技能や能力、経験を活かしている	127	52.8%	18.1%	1.6%	19.7%	6.3%	1.6%
	生きがいや健康が高まっている	205	62.9%	18.5%	1.5%	9.8%	3.9%	3.4%
	新たな友人を得ることができた	450	60.4%	10.7%	1.6%	18.0%	5.6%	3.8%
	技術や技能を習得できた	57	43.9%	24.6%	1.8%	19.3%	5.3%	5.3%
	福祉への関心が高まった	336	59.8%	13.7%	2.4%	16.1%	4.8%	3.3%
	思いやりの気持ちが深まった	454	60.4%	11.2%	2.0%	17.6%	4.2%	4.6%
	社会で評価されるようになった	81	51.9%	22.2%	3.7%	12.3%	8.6%	1.2%
	福祉の課題が見えるようになった	370	51.4%	14.6%	3.8%	18.1%	7.6%	4.6%
	1～10のようなことは特に感じない	29	10.3%	0.0%	0.0%	79.3%	3.4%	6.9%

【表3-9】 問20 活動する人を増やす取り組み

		全体(人)	声をかけ て参加を 呼びかけ ている	チラシな どで参加 を呼びか けている	団体を通 じて参加 を呼びか けている	講座やイ ベントな どを開催 している	その他	必要だと 思うが取 り組んで いない	増やす必 要がある とは思わ ない	無回答
全体		871	41.9%	10.1%	11.9%	5.5%	1.6%	41.2%	2.1%	6.0%
福祉委員 会の役員	現在役員をしている	397	49.6%	15.9%	16.9%	7.1%	2.8%	32.7%	3.0%	3.8%
	以前に役員をしていた	93	44.1%	8.6%	9.7%	4.3%	1.1%	36.6%	1.1%	5.4%
	役員をしたことはない	329	34.0%	4.3%	6.7%	3.6%	0.6%	54.1%	1.2%	5.8%
	その他	10	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%

[表3-10] 問21 今後参加してほしい人

		全体(人)	元気な高 齢者	定年退職 者や子育 ての手が 離れた人	P T Aや 自治会な どの活動 の経験者	若い世代 の人	小学生・ 中学生な どの子ど もたち	地域にあ る企業の 従業員な ど	その他	特にない ・わから ない	無回答
全体		871	30.0%	65.3%	29.7%	43.1%	11.7%	2.0%	1.7%	3.2%	2.1%
年齢	30～40歳代	33	18.2%	60.6%	12.1%	39.4%	36.4%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	50歳代	120	28.3%	60.8%	25.0%	50.8%	16.7%	1.7%	2.5%	2.5%	0.0%
	60歳代前半	156	30.8%	64.7%	25.6%	48.7%	14.1%	1.9%	0.6%	3.2%	0.6%
	60歳代後半	252	23.8%	68.3%	36.1%	42.9%	9.9%	1.2%	1.6%	3.6%	1.6%
	70歳代前半	182	35.2%	68.1%	29.1%	41.8%	7.7%	3.3%	2.7%	2.2%	2.2%
	70歳代後半	95	36.8%	67.4%	35.8%	32.6%	7.4%	2.1%	2.1%	1.1%	6.3%
	80歳代	25	48.0%	48.0%	24.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	8.0%

[表3-11] 問24 災害時の福祉活動

		全体(人)	支援する活動に参加したい	参加するのは難しいと思う	わからない	その他	無回答
全体		871	49.4%	30.7%	13.8%	2.4%	3.8%
年齢	30～40歳代	33	45.5%	24.2%	27.3%	0.0%	3.0%
	50歳代	120	47.5%	24.2%	20.8%	5.0%	2.5%
	60歳代前半	156	46.2%	32.1%	17.9%	2.6%	1.3%
	60歳代後半	252	56.3%	27.0%	11.5%	2.4%	2.8%
	70歳代前半	182	51.6%	34.1%	10.4%	0.5%	3.3%
	70歳代後半	95	38.9%	40.0%	6.3%	4.2%	10.5%
	80歳代	25	40.0%	40.0%	12.0%	0.0%	8.0%

[表3-12] 問28 寄付のための取り組み

		全体(人)	共同募金 や社協会 費制をP Rする	寄付の使 い道の情 報公開を すすめる	団体等の 理解で呼 びかけを 充実する	その他	特にない ・わから ない	無回答
全体		871	40.4%	64.1%	39.3%	3.0%	5.7%	3.4%
年齢	30～40歳代	33	18.2%	72.7%	42.4%	3.0%	12.1%	0.0%
	50歳代	120	25.8%	73.3%	31.7%	5.8%	6.7%	2.5%
	60歳代前半	156	41.7%	66.0%	41.0%	2.6%	3.8%	1.3%
	60歳代後半	252	41.3%	62.3%	39.3%	2.0%	5.6%	2.8%
	70歳代前半	182	41.8%	65.4%	44.0%	3.3%	6.6%	3.3%
	70歳代後半	95	55.8%	52.6%	42.1%	3.2%	4.2%	9.5%
	80歳代	25	64.0%	48.0%	24.0%	0.0%	4.0%	8.0%

問29 地域の暮らしの環境の変化

〔表3-13-1〕 ③安心して子育てができる

		全体(人)	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	むしろ悪 くなった	わからな い	無回答
全体		871	2.1%	18.9%	43.2%	12.6%	14.7%	8.5%
年齢	30～40歳代	33	0.0%	9.1%	39.4%	45.5%	3.0%	3.0%
	50歳代	120	1.7%	18.3%	47.5%	19.2%	10.0%	3.3%
	60歳代前半	156	2.6%	15.4%	38.5%	17.3%	17.9%	8.3%
	60歳代後半	252	1.6%	20.2%	50.0%	8.3%	15.5%	4.4%
	70歳代前半	182	1.6%	22.0%	41.2%	10.4%	14.8%	9.9%
	70歳代後半	95	4.2%	21.1%	34.7%	4.2%	15.8%	20.0%
	80歳代	25	0.0%	12.0%	36.0%	4.0%	20.0%	28.0%

〔表3-13-2〕 ④子どもが健やかに育つ

		全体(人)	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	むしろ悪 くなった	わからな い	無回答
全体		871	2.9%	21.8%	45.5%	11.3%	10.0%	8.6%
年齢	30～40歳代	33	0.0%	15.2%	48.5%	33.3%	0.0%	3.0%
	50歳代	120	1.7%	18.3%	50.8%	15.8%	9.2%	4.2%
	60歳代前半	156	3.2%	19.2%	45.5%	12.8%	10.9%	8.3%
	60歳代後半	252	2.4%	20.2%	52.0%	8.3%	11.5%	5.6%
	70歳代前半	182	2.7%	27.5%	41.8%	11.5%	7.7%	8.8%
	70歳代後半	95	3.2%	27.4%	34.7%	4.2%	11.6%	18.9%
	80歳代	25	12.0%	16.0%	24.0%	4.0%	16.0%	28.0%

〔表3-14〕 問30 力を入れるべき福祉の課題

		全体(人)	ねたきり や認知症 の高齢者 の介護	高齢者の 生きがい づくり	障害者（ 児）の介 護や支援	子育てへ の支援	子どもの 健全育成 や虐待へ の対応	低所得な どで困っ ている人 への支援	外国籍住 民への支 援	生活環境 を良くす るための 取り組み
全体		871	52.5%	55.8%	21.4%	30.9%	41.3%	14.0%	1.8%	33.0%
年齢	30～40歳代	33	48.5%	30.3%	21.2%	66.7%	66.7%	21.2%	0.0%	27.3%
	50歳代	120	53.3%	52.5%	29.2%	32.5%	50.0%	14.2%	2.5%	29.2%
	60歳代前半	156	46.2%	44.9%	17.9%	33.3%	42.9%	12.2%	1.3%	37.2%
	60歳代後半	252	56.3%	58.3%	21.0%	33.3%	42.9%	15.5%	2.8%	33.3%
	70歳代前半	182	47.8%	64.8%	22.5%	23.6%	37.4%	12.1%	1.6%	38.5%
	70歳代後半	95	58.9%	60.0%	18.9%	25.3%	29.5%	13.7%	1.1%	27.4%
	80歳代	25	64.0%	72.0%	12.0%	8.0%	16.0%	16.0%	0.0%	16.0%
		ボランテ ィアなど の活動の 推進	地域のつ ながりづ くりや交 流の場	日常のち よつとし た支援を 行う活動	災害時の 高齢者・ 障害者等 の支援	支援が必 要な人な どの権利 擁護	福祉の相 談が気軽 にできる しくみ	その他	特にな い・わか らない	無回答
全体		26.5%	36.7%	25.1%	34.8%	7.3%	27.7%	3.0%	1.8%	2.5%
年齢	30～40歳代	15.2%	33.3%	9.1%	18.2%	12.1%	27.3%	3.0%	3.0%	0.0%
	50歳代	10.8%	33.3%	24.2%	34.2%	8.3%	26.7%	4.2%	1.7%	2.5%
	60歳代前半	25.0%	39.1%	25.6%	32.1%	6.4%	29.5%	3.8%	1.9%	1.9%
	60歳代後半	31.0%	40.1%	27.0%	34.1%	4.8%	27.4%	3.2%	1.6%	0.4%
	70歳代前半	30.2%	39.6%	25.8%	37.9%	12.1%	26.9%	1.6%	2.7%	2.2%
	70歳代後半	29.5%	26.3%	25.3%	40.0%	5.3%	29.5%	3.2%	1.1%	8.4%
	80歳代	36.0%	32.0%	24.0%	40.0%	0.0%	24.0%	0.0%	0.0%	8.0%

【表３－１５】 問31 福祉の相談の取り組み

		全体(人)	市の相談窓口を充実する	地域の相談機関を充実する	身近な施設等でできるようにする	市民も参加する相談窓口を充実する	民生委員等と専門機関等をつなぐ	その他	特にない・わからない	無回答
全体		871	34.4%	30.9%	23.0%	27.7%	35.5%	2.6%	5.3%	4.6%
福祉委員会以外の活動	民生委員活動	246	38.2%	45.9%	26.4%	26.0%	29.7%	3.3%	2.4%	3.7%
	地域や施設等でのボランティア活動	436	33.5%	33.7%	22.9%	29.1%	34.6%	2.5%	5.3%	3.4%
	地域組織での福祉に関する活動	605	35.4%	31.6%	23.5%	28.1%	37.5%	2.3%	4.5%	4.3%
	NPOなどでの福祉活動	35	37.1%	28.6%	28.6%	20.0%	25.7%	8.6%	5.7%	2.9%
	その他	30	26.7%	26.7%	26.7%	36.7%	43.3%	10.0%	0.0%	6.7%

【表３－１６】 問32 まちかど福祉相談所の利用

		全体(人)	支援が必要なケースを相談した	地域での活動について相談した	その他のことについて相談した	話を聞いてもらった	相談したり話をしたことはない	まちかど福祉相談所を知らない	その他	無回答
全体		871	4.8%	2.1%	1.4%	2.8%	57.4%	15.4%	3.7%	12.5%
福祉委員会の校区	池田校区	32	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%	78.1%	6.3%	3.1%	6.3%
	梅が丘校区	21	14.3%	4.8%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	4.8%	19.0%
	神田校区	41	4.9%	0.0%	0.0%	2.4%	63.4%	22.0%	0.0%	7.3%
	北校区	55	7.3%	1.8%	1.8%	1.8%	54.5%	7.3%	3.6%	21.8%
	木田校区	53	5.7%	0.0%	0.0%	1.9%	43.4%	37.7%	0.0%	11.3%
	楠根校区	24	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	8.3%	0.0%	25.0%
	国松緑丘校区	32	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	56.3%	25.0%	0.0%	15.6%
	啓明校区	19	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	78.9%	5.3%	0.0%	10.5%
	木屋校区	53	5.7%	0.0%	1.9%	1.9%	77.4%	3.8%	5.7%	3.8%
	桜校区	44	2.3%	0.0%	0.0%	4.5%	61.4%	9.1%	0.0%	22.7%
	点野校区	88	6.8%	0.0%	0.0%	2.3%	52.3%	23.9%	3.4%	11.4%
	成美校区	29	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	62.1%	24.1%	3.4%	6.9%
	田井石津校区	58	3.4%	1.7%	1.7%	6.9%	58.6%	8.6%	8.6%	10.3%
	第五校区	44	0.0%	4.5%	2.3%	6.8%	54.5%	6.8%	2.3%	22.7%
	中央校区	30	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	50.0%	23.3%	3.3%	10.0%
	西校区	61	6.6%	3.3%	0.0%	1.6%	68.9%	3.3%	6.6%	9.8%
	東校区	20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.0%	25.0%	0.0%	10.0%
	堀溝校区	29	10.3%	10.3%	6.9%	0.0%	48.3%	13.8%	0.0%	10.3%
	三井校区	13	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	53.8%	0.0%	7.7%
	南校区	45	0.0%	8.9%	0.0%	0.0%	46.7%	31.1%	4.4%	8.9%
	明德宇谷校区	26	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	65.4%	19.2%	7.7%	3.8%
	明和校区	18	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	44.4%	11.1%	5.6%	27.8%
	和光校区	28	25.0%	7.1%	0.0%	3.6%	39.3%	0.0%	17.9%	7.1%

〔表 3－17〕 問34 災害時の活動の条件づくり

		全体(人)	支援が必要 な人の 情報の共 有	地域での 防災組織 の確立	災害ボラ ンティア センター の構築	災害時に 活用でき る資機材 の整備	平時から の意識づ くりや訓 練の実施	その他	特にな い・わか らない	無回答
全体		871	68.8%	30.9%	10.6%	14.8%	45.8%	1.5%	2.5%	2.9%
福祉委員 会以外の 活動	民生委員活動	246	80.5%	32.5%	10.6%	10.2%	47.6%	1.6%	1.2%	1.6%
	地域や施設等での ボランティア活動	436	70.0%	32.3%	9.6%	16.3%	47.2%	1.8%	1.4%	2.5%
	地域組織での福祉 に関する活動	605	68.1%	31.7%	10.2%	16.7%	46.6%	1.7%	2.0%	2.8%
	NPOなどでの福祉 活動	35	68.6%	22.9%	14.3%	11.4%	51.4%	0.0%	2.9%	2.9%
	その他	30	73.3%	40.0%	13.3%	10.0%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%

〔表 3－18〕 問35 虐待等の見聞きや通報

		全体(人)	行政や専 門機関等 に通報や 相談した	見聞きし たが通報 したこと はない	見聞きし たことは ない	その他	無回答
全体		871	9.6%	7.1%	69.6%	3.2%	10.4%
福祉委員 会以外の 活動	民生委員活動	246	18.3%	6.9%	59.3%	5.7%	9.8%
	地域や施設等でのボランティア活動	436	12.8%	6.9%	68.6%	3.4%	8.3%
	地域組織での福祉に関する活動	605	9.9%	7.4%	69.4%	3.3%	9.9%
	NPOなどでの福祉活動	35	20.0%	8.6%	57.1%	2.9%	11.4%
	その他	30	20.0%	10.0%	50.0%	3.3%	16.7%

4. 平成15年調査の結果【抜粋】

平成17年3月に策定した「寝屋川市地域福祉計画」に市民のニーズや意識を反映するために実施した「市民アンケート調査」の結果のうち、本報告書の分析に引用した項目の単純集計表を、「寝屋川市地域福祉計画の策定に向けた市民・事業者アンケート調査報告書」（平成16年3月発行）から抜粋して掲載しました。調査の詳細は同報告書をご参照ください。

○調査の実施概要

（調査の目的と内容）

寝屋川市地域福祉計画を策定するにあたり、計画づくりへの市民参加のひとつとして、暮らしや保健福祉などに対する意見をお聞きするために実施しました。

調査項目は下記のとおりです。

1. 回答者の属性と暮らしの状況
2. 地域との関わりや地域に対する意識
3. これからの福祉(地域福祉)に関する考え方や参加意識

（調査の対象者）

次世代を担う若者の意見も把握するよう、16歳以上の市民を対象として、平成15年11月15日現在の住民基本台帳から3,000人を無作為抽出しました。

（調査の方法）

郵送で調査票の配付・回収を行う、自記式の質問紙法で実施しました。

調査票は平成15年11月20日に発送し、12月5日までに回答するよう依頼しましたが、できるだけ多くの方のご意見を反映するよう、12月末日までに到着したものを有効としました。

（調査票の回収状況）

調査票の配付数3,000通に対して、1,376通が返送されましたが、このうち、白紙の調査票3通を除いた1,373通を有効としました。有効回収率は45.8%です。

○単純集計表（年齢・性別集計）【抜粋】（％は縦軸の「全体(人)」に対する割合）

【表4-1】 年齢（問1）

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
16～24歳	5.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.7%
25～34歳	8.9%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	9.2%
35～44歳	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	7.9%
45～54歳	16.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.7%	17.4%
55～64歳	28.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	26.7%	30.2%
65～74歳	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	26.5%	18.0%
75歳以上	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	7.9%	11.1%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

【表4-2】 世帯類型（問3）

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
ひとり暮らし	7.8%	1.3%	0.8%	4.4%	5.7%	7.1%	12.2%	17.0%	5.0%	9.7%
夫婦のみ	28.3%	1.3%	9.8%	4.4%	10.0%	38.3%	49.7%	35.6%	30.9%	26.5%
二世帯同居	47.9%	73.4%	77.0%	74.6%	67.4%	43.1%	23.5%	19.3%	49.0%	47.3%
三世帯同居	11.8%	19.0%	9.0%	14.0%	11.7%	8.4%	11.2%	20.0%	11.8%	11.6%
その他	3.8%	2.5%	3.3%	2.6%	4.8%	3.0%	3.1%	7.4%	3.2%	4.2%
無回答	0.4%	2.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.3%	0.7%	0.0%	0.6%

【表４－３】 職業（問６）

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
勤め人（フルタイム）	22.1%	13.9%	49.2%	43.0%	38.3%	21.1%	3.4%	1.5%	37.4%	11.6%
自営業（家族従業者）	8.8%	0.0%	3.3%	7.9%	9.6%	14.0%	9.2%	3.0%	13.1%	5.9%
自由業	0.9%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	1.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.1%
パート・アルバイト	13.7%	19.0%	21.3%	16.7%	23.5%	14.5%	5.8%	0.0%	6.4%	18.6%
内職	0.8%	0.0%	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	1.0%	0.7%	0.0%	1.4%
専業主婦	24.6%	2.5%	13.9%	24.6%	17.4%	31.5%	32.0%	23.0%	0.2%	41.6%
学生・生徒	3.5%	58.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	3.0%	3.8%
その他	2.2%	1.3%	2.5%	2.6%	0.0%	1.3%	3.4%	5.9%	2.9%	1.7%
有給の仕事には就いていない	20.5%	3.8%	6.6%	4.4%	9.6%	14.5%	39.8%	49.6%	32.9%	11.7%
無回答	3.0%	1.3%	0.8%	0.0%	0.4%	1.5%	3.4%	15.6%	2.1%	3.6%

【表４－４】 暮らし向き（問７）

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
どちらかといえば豊か	5.5%	11.4%	4.1%	7.0%	5.7%	4.3%	5.1%	5.9%	5.0%	5.8%
ふつう	50.5%	49.4%	42.6%	45.6%	44.3%	53.6%	53.7%	58.5%	52.1%	49.6%
どちらかといえば苦しい	29.0%	24.1%	36.1%	30.7%	32.2%	27.4%	28.6%	23.7%	27.7%	29.8%
かなり苦しい	11.9%	8.9%	16.4%	16.7%	16.1%	11.7%	9.5%	3.7%	13.8%	10.5%
わからない	1.7%	6.3%	0.8%	0.0%	1.3%	1.5%	1.0%	3.7%	1.1%	2.2%
その他	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.0%	1.0%	1.5%	0.2%	1.1%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%	3.0%	0.2%	1.0%

地域での暮らしの満足度（問 18）

【表４－５－１】 ①高齢者が安心して暮らせる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	14.1%	6.3%	5.7%	10.5%	13.9%	11.2%	16.7%	31.1%	14.3%	13.7%
どちらかという そう思う	18.5%	16.5%	13.9%	11.4%	14.8%	19.8%	23.1%	22.2%	19.9%	17.6%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.7%	25.3%	27.0%	30.7%	22.6%	22.8%	19.0%	7.4%	25.0%	19.4%
そうは思わ ない	23.7%	20.3%	30.3%	36.8%	28.3%	23.6%	21.1%	7.4%	22.7%	24.4%
わからない	16.0%	29.1%	23.0%	9.6%	17.4%	16.2%	11.2%	14.8%	13.6%	17.6%
無回答	6.1%	2.5%	0.0%	0.9%	3.0%	6.3%	8.8%	17.0%	4.5%	7.3%

【表４－５－２】 ②障害者が安心して暮らせる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	8.4%	3.8%	6.6%	8.8%	8.7%	8.1%	10.9%	7.4%	9.5%	7.8%
どちらかという そう思う	12.8%	16.5%	6.6%	12.3%	12.2%	12.7%	13.6%	17.0%	15.0%	11.1%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	19.2%	25.3%	35.2%	18.4%	23.0%	19.5%	12.9%	8.1%	20.6%	18.4%
そうは思わ ない	27.5%	32.9%	28.7%	43.9%	31.3%	26.1%	26.5%	8.9%	30.4%	25.5%
わからない	23.2%	19.0%	23.0%	16.7%	21.7%	25.9%	22.8%	27.4%	18.8%	26.4%
無回答	8.8%	2.5%	0.0%	0.0%	3.0%	7.6%	13.3%	31.1%	5.7%	10.9%

【表４－５－３】 ③安心して子育てができる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	9.1%	7.6%	8.2%	9.6%	10.9%	7.6%	10.2%	8.9%	10.6%	8.1%
どちらかという そう思う	16.1%	15.2%	13.9%	14.9%	20.0%	17.3%	14.6%	12.6%	17.4%	15.3%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	22.0%	26.6%	27.9%	20.2%	27.0%	23.6%	18.0%	11.1%	24.0%	20.6%
そうは思わ ない	24.3%	21.5%	37.7%	46.5%	27.0%	26.1%	15.3%	5.2%	23.3%	25.0%
わからない	17.3%	26.6%	12.3%	8.8%	11.3%	16.8%	21.8%	25.9%	16.6%	17.8%
無回答	11.3%	2.5%	0.0%	0.0%	3.9%	8.6%	20.1%	36.3%	8.2%	13.2%

【表４－５－４】 ④子どもが健やかに育つ

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	9.5%	7.6%	9.8%	11.4%	12.2%	8.1%	8.5%	9.6%	10.0%	9.1%
どちらかという そう思う	19.4%	22.8%	17.2%	16.7%	20.4%	20.6%	18.4%	18.5%	20.8%	18.4%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	23.5%	24.1%	27.9%	23.7%	30.0%	23.9%	20.7%	12.6%	24.5%	22.8%
そうは思わ ない	24.1%	30.4%	37.7%	42.1%	23.0%	24.1%	18.7%	6.7%	25.0%	23.6%
わからない	11.9%	12.7%	6.6%	6.1%	9.1%	13.2%	14.3%	17.0%	10.7%	12.7%
無回答	11.7%	2.5%	0.8%	0.0%	5.2%	10.2%	19.4%	35.6%	8.9%	13.4%

【表４－５－５】 ⑤生涯学習や活動ができる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	9.1%	8.9%	7.4%	7.9%	8.7%	9.1%	10.2%	10.4%	10.2%	8.4%
どちらかという そう思う	19.2%	13.9%	20.5%	16.7%	20.0%	21.6%	19.4%	14.1%	20.6%	18.1%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	22.0%	21.5%	24.6%	23.7%	29.1%	22.3%	18.0%	14.1%	21.3%	22.6%
そうは思わ ない	21.5%	29.1%	28.7%	36.0%	23.0%	20.8%	17.3%	7.4%	24.2%	19.6%
わからない	17.4%	22.8%	18.9%	15.8%	14.3%	16.8%	18.0%	19.3%	16.1%	18.4%
無回答	10.9%	3.8%	0.0%	0.0%	4.8%	9.4%	17.0%	34.8%	7.7%	12.9%

【表４－５－６】 ⑥住民のふれあいがある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	10.1%	6.3%	5.7%	9.6%	8.7%	8.4%	13.3%	16.3%	9.3%	10.6%
どちらかという そう思う	29.0%	25.3%	30.3%	23.7%	29.1%	33.0%	28.9%	23.7%	29.2%	29.0%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	24.8%	29.1%	30.3%	26.3%	30.0%	24.4%	21.8%	16.3%	28.3%	22.4%
そうは思わ ない	18.5%	24.1%	24.6%	28.9%	20.9%	16.2%	16.3%	8.1%	18.8%	18.2%
わからない	9.1%	12.7%	7.4%	11.4%	8.7%	10.7%	7.5%	6.7%	8.6%	9.5%
無回答	8.5%	2.5%	1.6%	0.0%	2.6%	7.4%	12.2%	28.9%	5.9%	10.2%

【表４－５－７】 ⑦世代間の交流がある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	7.1%	8.9%	6.6%	5.3%	7.0%	5.3%	8.8%	9.6%	5.2%	8.4%
どちらかという そう思う	18.1%	20.3%	18.9%	20.2%	19.1%	17.8%	14.6%	20.0%	15.7%	19.7%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.0%	17.7%	28.7%	20.2%	27.4%	22.3%	16.0%	13.3%	24.2%	18.7%
そうは思わ ない	31.3%	39.2%	36.1%	43.9%	30.9%	29.9%	32.3%	15.6%	35.1%	28.9%
わからない	12.4%	10.1%	9.0%	10.5%	11.3%	15.0%	12.9%	11.1%	12.0%	12.7%
無回答	10.2%	3.8%	0.8%	0.0%	4.3%	9.6%	15.3%	30.4%	7.9%	11.6%

【表４－５－８】 ⑧困ったときに相談できる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	12.2%	15.2%	9.8%	13.2%	11.7%	8.6%	15.3%	16.3%	7.9%	15.0%
どちらかという そう思う	20.6%	20.3%	21.3%	19.3%	21.7%	22.3%	17.0%	20.7%	18.2%	22.3%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.4%	22.8%	23.0%	32.5%	24.3%	22.3%	17.0%	12.6%	25.4%	18.7%
そうは思わ ない	24.7%	29.1%	37.7%	28.9%	26.5%	25.1%	23.1%	5.9%	28.8%	21.8%
わからない	11.6%	10.1%	7.4%	5.3%	12.6%	13.5%	12.9%	11.9%	12.3%	11.1%
無回答	9.5%	2.5%	0.8%	0.9%	3.0%	8.1%	14.6%	32.6%	7.3%	11.0%

【表４－５－９】 ⑨困ったときに支えてくれる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	10.3%	17.7%	10.7%	10.5%	10.4%	6.9%	10.2%	16.3%	6.8%	12.7%
どちらかという そう思う	21.0%	29.1%	21.3%	22.8%	22.2%	20.6%	18.0%	20.0%	18.1%	23.2%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	20.8%	15.2%	26.2%	28.9%	24.3%	22.6%	16.7%	10.4%	23.8%	18.7%
そうは思わ ない	24.8%	26.6%	31.1%	29.8%	27.4%	25.9%	25.2%	6.7%	30.4%	21.0%
わからない	13.9%	8.9%	10.7%	7.9%	13.0%	17.0%	15.0%	14.1%	13.8%	14.1%
無回答	9.1%	2.5%	0.0%	0.0%	2.6%	7.1%	15.0%	32.6%	7.2%	10.4%

【表４－５－10】 ⑩安心して医療が受けられる

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	18.6%	15.2%	12.3%	18.4%	15.7%	12.9%	22.8%	37.8%	17.7%	19.0%
どちらかという そう思う	27.7%	31.6%	31.1%	25.4%	26.5%	28.9%	27.6%	23.7%	30.2%	26.1%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	20.0%	12.7%	24.6%	19.3%	27.0%	23.6%	15.6%	7.4%	20.9%	19.4%
そうは思わ ない	18.9%	22.8%	27.0%	26.3%	20.4%	20.6%	15.3%	4.4%	18.1%	19.6%
わからない	7.5%	15.2%	4.9%	10.5%	7.8%	7.9%	6.1%	3.7%	6.8%	7.9%
無回答	7.3%	2.5%	0.0%	0.0%	2.6%	6.1%	12.6%	23.0%	6.3%	8.0%

【表４－５－１１】 ⑪住まいや地域の環境がよい

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	15.1%	11.4%	10.7%	12.3%	17.0%	11.7%	16.7%	27.4%	14.5%	15.5%
どちらかという そう思う	33.8%	40.5%	33.6%	28.1%	37.4%	34.5%	35.0%	23.7%	31.8%	35.3%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.8%	24.1%	27.0%	28.9%	20.9%	24.1%	18.4%	11.9%	26.8%	18.4%
そうは思わ ない	17.2%	12.7%	23.8%	27.2%	16.5%	18.3%	16.0%	6.7%	17.4%	17.1%
わからない	4.7%	8.9%	4.9%	3.5%	5.7%	5.1%	3.1%	4.4%	3.6%	5.4%
無回答	7.4%	2.5%	0.0%	0.0%	2.6%	6.3%	10.9%	25.9%	5.9%	8.3%

【表４－５－１２】 ⑫だれもが外出しやすい

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	15.4%	11.4%	13.1%	12.3%	12.6%	14.2%	18.7%	24.4%	13.6%	16.6%
どちらかという そう思う	31.7%	43.0%	33.6%	33.3%	33.0%	34.0%	27.2%	21.5%	33.8%	30.3%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.0%	21.5%	24.6%	24.6%	23.0%	22.8%	19.0%	11.1%	24.5%	18.7%
そうは思わ ない	14.3%	13.9%	20.5%	22.8%	16.5%	12.7%	11.6%	8.9%	14.5%	14.3%
わからない	8.7%	7.6%	7.4%	7.0%	10.4%	8.9%	9.5%	6.7%	7.0%	9.7%
無回答	8.8%	2.5%	0.8%	0.0%	4.3%	7.4%	13.9%	27.4%	6.6%	10.2%

【表４－５－１３】 ⑬生活が便利である

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	22.7%	20.3%	22.1%	19.3%	23.0%	20.3%	24.8%	28.9%	21.1%	23.9%
どちらかという そう思う	36.5%	38.0%	43.4%	42.1%	40.9%	38.6%	30.3%	25.2%	38.6%	35.1%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	17.6%	19.0%	17.2%	22.8%	13.0%	20.6%	18.4%	10.4%	19.0%	16.5%
そうは思わ ない	11.7%	8.9%	13.9%	11.4%	16.5%	10.4%	11.9%	5.9%	11.4%	11.7%
わからない	3.8%	10.1%	3.3%	3.5%	3.5%	2.8%	3.7%	4.4%	3.9%	3.7%
無回答	7.8%	3.8%	0.0%	0.9%	3.0%	7.4%	10.9%	25.2%	5.9%	9.0%

【表４－５－１４】 ⑭活動できる場が身近にある

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	9.9%	11.4%	7.4%	10.5%	9.6%	8.6%	11.6%	11.9%	8.1%	11.2%
どちらかという そう思う	19.6%	19.0%	21.3%	19.3%	25.7%	19.3%	18.0%	13.3%	20.0%	19.4%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	25.7%	19.0%	32.0%	24.6%	28.3%	29.7%	22.1%	17.0%	30.6%	22.3%
そうは思わ ない	22.1%	25.3%	27.9%	30.7%	20.4%	21.8%	21.8%	12.6%	22.4%	22.1%
わからない	14.0%	21.5%	11.5%	14.0%	13.5%	14.0%	12.6%	15.6%	12.2%	15.2%
無回答	8.7%	3.8%	0.0%	0.9%	2.6%	6.6%	13.9%	29.6%	6.8%	9.9%

【表４－５－15】 ⑮人権が守られている

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
そう思う	8.0%	5.1%	4.1%	6.1%	6.5%	5.8%	10.2%	17.8%	7.7%	8.3%
どちらかという そう思う	22.4%	21.5%	20.5%	20.2%	21.3%	22.6%	26.2%	18.5%	25.2%	20.3%
どちらかといえ ばそうは思わ ない	21.2%	19.0%	25.4%	24.6%	27.8%	21.6%	16.3%	14.8%	22.9%	20.1%
そうは思わ ない	19.4%	21.5%	27.0%	22.8%	20.9%	20.8%	17.0%	7.4%	20.4%	18.6%
わからない	22.0%	30.4%	23.0%	26.3%	20.0%	23.9%	19.0%	17.8%	18.8%	24.3%
無回答	7.1%	2.5%	0.0%	0.0%	3.5%	5.3%	11.2%	23.7%	5.0%	8.4%

【表４－６】 生活全般の満足度（問 19）

	全体	年齢							性別	
		16～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	男	女
全体（人）	1,373	79	122	114	230	394	294	135	559	811
満足している	15.5%	19.0%	11.5%	7.9%	11.7%	12.7%	18.4%	31.9%	15.2%	15.7%
どちらかという 満足している	55.9%	63.3%	53.3%	53.5%	56.5%	59.1%	52.0%	54.1%	54.9%	56.7%
どちかといえ ば満足してい ない	18.5%	13.9%	26.2%	28.9%	19.6%	19.0%	16.3%	7.4%	19.3%	17.9%
満足してい ない	7.7%	3.8%	8.2%	9.6%	8.7%	8.1%	8.5%	3.0%	9.1%	6.8%
無回答	2.3%	0.0%	0.8%	0.0%	3.5%	1.0%	4.8%	3.7%	1.4%	3.0%

1. 市民アンケート調査 調査票

「寝屋川市地域福祉計画」の見直しに向けた

『暮らしと福祉』についてのアンケート調査のお願い

市民のみならずには、日頃から市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。
少子高齢化が急速にすすみ、経済も厳しい状況が続くなかで、子育てや介護をはじめ日々の暮らしに関わる福祉は、すべての人に身近な問題となってきました。「地域のことは地域の住民が決める」という地域主権の考え方が広がるなかで、市民のニーズに応じた福祉を地域のさまざまな力をあわせてつくっていく「地域福祉」の推進が、いっそう求められています。

本市では、「**1+1を3に！ 私たちのつぎ代りひろげる「元気都市」の福祉**」をスローガンとした「寝屋川市地域福祉計画」を平成17年3月に策定し、市民や関係者のみなさま方と連携して推進してきました。そしてこのたび、5年間の取り組みをふりかえり、十分には取り組めなかった課題や新たな状況に対応する新しい地域福祉計画を策定することになりました。

この計画は、行政だけでなく保健福祉に関する活動・事業を行っている方々や、地域で暮らしている市民のみならずと協力して地域福祉をすすめるよう、計画づくりにできるだけでなくの方に参加していただき、いっしょにつくっていききたいと考えています。

計画づくりへの参加の場のひとつとして、暮らしや福祉についてのご意見を広くお聞きするために、16歳以上の市民の方々のなかから3,000人を無作為に（くじ引きのような方法で）選んで、この調査票を送らせていただきました。

調査票は無記名で、調査結果はすべて統計的に処理いたします。また、市政運営以外の目的で調査結果を使用することは決してありません。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成22年2月

寝屋川市長 馬 場 好 弘

調査票にご記入いただくうえでの注意

- * この調査票は、お送りした封筒のあて名の方で本人がお答えください。病気や障害などのためにご本人がご記入にできない場合は、ご家族の方などがご本人のご意見に基づいてご記入くださいますようお願いいたします。
- * 年齢などによってお答えいただくにくい問いがある場合は、お答えいただける問いだけに回答ください。
- * それぞれの問いについて、あなたのお考えに近い答えの番号に○を付けてください。
- * 「その他」を選ばれた場合は、具体的な内容を（ ）のなかにお書きください。
- * お答えいただきました調査票は、**無記名のまま**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに**3月14日(日)**までにポストに入れてください。

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

寝屋川市保健福祉部 福祉政策課（担当 前川・山本）

電話 072-824-1181（内線623610） FAX 072-838-9800

問1 あなたの年齢は。

() 歳

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男	2 女
-----	-----

問3 同居されている家族の構成は。(○は1つ)

1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ	3 親と子ども (二世代世帯)
4 親と子どもと孫 (三世代世帯)	5 その他 ()	

問4 あなたのお仕事は。(○は1つ)

1 会社員・公務員	2 自営業	3 農業	4 自由業
5 学生	6 専業主婦・主夫	7 パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	
8 無職	9 その他 ()		

問5 あなたの世帯の現在の暮らし向き (経済的な状況) は。(○は1つ)

1 豊か	2 どちらかといえば豊か	3 ふつう
4 どちらかといえば苦しい	5 かなり苦しい	6 わからない
7 その他 ()		

問6 あなたの現在の健康状態は。(○は1つ)

1 健康	2 ふつう	3 持病や障害などがあるが、日常生活には問題はない
4 からだが弱く、病気がち	5 ねたきり (ほとんどねたきり)	
6 その他 ()		

問7 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいませんか。(○はいくつでも)

1 介護が必要な人はいない	2 介護が必要な高齢者がいる
3 介護が必要な障害者 (児) がいる	4 その他 ()

問8 あなたが現在お住まいの小学校区は。(○は1つ)

1 東小学校区	2 西小学校区	3 南小学校区	4 北小学校区
5 第五小学校区	6 成美小学校区	7 明和小学校区	8 池田小学校区
9 中央小学校区	10 啓明小学校区	11 三井小学校区	12 木屋小学校区
13 木田小学校区	14 神田小学校区	15 堀溝小学校区	16 田井小学校区
17 桜小学校区	18 点野小学校区	19 和光小学校区	20 国松緑丘小学校区
21 楠根小学校区	22 梅が丘小学校区	23 宇谷小学校区	24 石津小学校区
25 どの小学校区区知らない			

問9 あなたご家族は、近所の人との程度の交流がありますか。(○はいくつでも)

1 困ったときには相談したり助け合う人がある	2 家を行き来するほど親しい人がある
3 道などで会えば親しく話をする人がある	4 あいさつをする程度
5 はほとんど (全く) つきあいはない	
6 その他 ()	

問10 あなたは現在お住まいの地域での暮らしに関するつぎのことについてどのように感じていますか。
(○は①～⑤のそれぞれに1つずつ)

そう思う	どちらか というば そう思う	どちらか というば わかない	どちらか というば わかない	そうは思 い	わからな い
①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
②障害者が社会に参加し、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
③ゆとりをもって安心して子育てができる	1	2	3	4	5
④子どもが健やかに育つ環境がある	1	2	3	4	5
⑤だれもが生涯学習や好きな活動ができる	1	2	3	4	5
⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある	1	2	3	4	5
⑦世代が違う人どうしの交流がある	1	2	3	4	5
⑧困ったときにもすぐに相談できる	1	2	3	4	5
⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる	1	2	3	4	5
⑩住まいや地域の生活環境がよい	1	2	3	4	5
⑪道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい	1	2	3	4	5
⑫生活のいろいろな面で便利である	1	2	3	4	5
⑬いろいろな活動ができる場が身近にある	1	2	3	4	5
⑭すべての人の人権がまもられている	1	2	3	4	5
⑮災害などに対して安全である	1	2	3	4	5

問11 生活全般を通して、あなたは現在お住まいの地域での暮らしに満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば満足していない	4 満足していない

問12 あなたは生活のなかで困ったときに、だれ (どこ) に相談しますか。(○はいくつでも)

1 家族や親族	2 近所の人	3 友人や知人	4 民生委員や福祉委員
5 市などの公的な相談窓口	6 福祉の施設や事業所	7 医療機関や薬局	
8 その他 ()			
9 相談できることはない	10 特に相談したいと思うことはない		

問13 あなたは生活のなかで困ったときに、近所の人に来てほしいと思いますか。(○は1つ)

1 困ったときには、近所の人に来てほしいと思う (現在支えてもらっている場合も含みます)
2 支えてほしいが、難しいと思う
3 近所の人に来てほしいとは思わない
4 わからない
5 その他 ()

問14 あなたは、市民も参加して「地域でまえあう福祉」を推進していくことについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 市民一人ひとりが、自分ができることをしていけばよい
- 2 協力できる人が取り組めばよい
- 3 個人では難しいので、地域の団体などが中心になって取り組めばよい
- 4 福祉は行政の仕事なので、行政がやればよい
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問15 あなたは、日常生活で、近所の人に助けてほしいと思うことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 自分や家族の話し相手や相談相手になってほしい
- 2 安否確認や見守りをしてほしい
- 3 用事のときなど一時的に子どもを預かってほしい
- 4 家事や買物などを手伝ってほしい
- 5 出かける時に付き添いや送迎をしてほしい
- 6 介護を手伝ってほしい
- 7 その他 ()
- 8 特に助けてほしいと思うことはない

問16 あなたは、福祉に関するつぎのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- 1 自治会や校区福祉委員会などの地域の福祉活動
- 2 福祉に関するボランティアやNPOの活動
- 3 福祉ニーズのある人どうしの当事者活動
- 4 その他（ ）
- 5 特に福祉に関する活動には参加していない

問17 あなたは今後、福祉に関する活動をしたい（または続けたい）と思いますか。（○は1つ）

- 1 現在している活動が続けたい
- 2 現在の活動とは違う活動をしたい（現在の活動に加えてみたい場合も含みます）
- 3 現在は活動していないが、今後は活動してみたい
- 4 特に活動をするつもりはない（現在の活動をやめたい場合も含みます）
- 5 その他（ ）

問18 今後、福祉に関する活動をしたい（または続けたい）とお考えの方は、どのような活動をしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 ひとりで暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手
- 2 高齢者・障害者等の介護や家事の手伝い
- 3 子育ての手伝いや相談相手
- 4 高齢者・障害者等のサロン（地域での交流の場）などの手伝い
- 5 その他（ ）

問19 市民が福祉に関する活動に参加しやすくするために、どのような条件づくりが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1	活動に関するさまざまな情報提供	2	気候に相談できる窓口
3	知識や技術を身につけるための研修	4	活動に相対するアドバイザーの派遣
5	活動のための仲間やグループづくり	6	身近に活動ができる場（施設）
7	活動に必要な費用の援助		
8	その他（		）
9	特になし、または、わからない		

3

問20 地震や風水害等の災害時に、だれもが安全に避難などができるようにしていくうえで、あなたが
気になることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 自分や家族が安全に避難できるか心配である
- 2 近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる
- 3 避難場所やそこまでの経路がわからない
- 4 介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるかどうか心配である
- 5 その他（ ）
- 6 特に気になることはない

問2! 災害時にだれもが安全に避難などができるよう地域で支えあうために、支援が必要なのは人の情報などを地域で共有することについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 情報が適切に管理されプライバシーが守られるのならば、個人の情報を提供してもよいと思う
- 2 どのような場合であっても、個人の情報は提供したくないと思う
- 3 わからない
- 4 その他（ ）

問22 寝屋川市の福祉に関してご意見等がありましたら、自由にお書きください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

お答えいただきました調査票は、
までにポストに入れてください。

2. 校区福祉委員アンケート調査 調査票

「寝屋川市地域福祉計画」の見直しに向けた

地域福祉活動等 に関するアンケート調査のお願い

市民のみなさまには、日頃から市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。
少子高齢化が急速にすすみ、経済も厳しい状況が続くなかで、子育てや介護をはじめ日々の暮らしに関わる福祉は、すべての人に身近な問題となってきました。「地域のことは地域の住民が決める」という地域主権の考え方が広がるなかで、市民のニーズに応じた福祉を地域のさまたざまな力をあわせてつくっていく「地域福祉」の推進が、いっそう求められています。

本市では、「**1 + 1 を 3 に！ 私たちのつぎかりでひろげる「元気都市」の福祉**」をスローガンとした「寝屋川市地域福祉計画」を平成17年3月に策定し、市民や関係者のみなさま方と連携して推進してきました。そしてこのたび、5年間の取り組みをふりかえり、十分には取り組めなかった課題や新たな状況に対応する新しい地域福祉計画を策定することになりました。

この計画は、行政だけでなく保健福祉に関する活動・事業を行っている方々や、地域で暮らしている市民のみなさまと協力して地域福祉をすすめるよう、計画づくりにもできるだけの方に参加していただき、いっしょにつくっていくと考えています。

計画づくりへの参加の場のひとつとして、現在、地域で福祉活動をしておられる方々に活動の状況や今後のご意向、地域福祉に関する課題などをお聞きするため、寝屋川市校区福祉委員長協議会のご協力を得て、校区福祉委員のみなさまに、この調査票を送らせていただきました。

調査票は無記名で、調査結果はすべて統計的に処理いたします。また、市政運営以外の目的で調査結果を使用することは決してありません。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成22年3月

寝屋川市長 馬 場 好 弘

調査票にご記入いただくうえでのご注意

- * この調査票は、お送りした封筒のあて名の方ご本人がお答えてください。
- * それぞれの問いについて、あなたのお考えに近い答えの番号に○を付けてください。
「その他」を選ばれた場合は、具体的な内容を（ ）のなかにお書きください。
- * お答えいただきました調査票は、**無記名のまま**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **3月17日(水)** までにポストに入れてください。

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

寝屋川市保健福祉部 福祉政策課 (担当 前川・山本)

電話 072-824-1181 (内線623610) FAX 072-838-9800

問 1 あなたの年齢は。

() 歳

問 2 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男	2 女
-----	-----

問 3 同居されている家族の構成は。(○は1つ)

1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ	3 親と子ども (二世代世帯)
4 親と子どもと孫 (三世代世帯)	5 その他 ()	

問 4 あなたのお仕事は。(○は1つ)

1 会社員・公務員	2 自営業	3 農業	4 自由業
5 学生	6 専業主婦・主夫	7 パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	
8 無職	9 その他 ()		

問 5 あなたの世帯の現在の暮らし向き (経済的な状況) は。(○は1つ)

1 豊か	2 どちらかといえば豊か	3 ふつう
4 どちらかといえば苦しい	5 かなり苦しい	6 わからない
7 その他 ()		

問 6 あなたの現在の健康状態は。(○は1つ)

1 健康	2 ふつう	
3 持病や障害などがあるが、日常生活には問題はない	4 からだが弱く、病気がち	
5 その他 ()		

問 7 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいいますか。(○はいくつでも)

1 介護が必要な人はいない	2 介護が必要な高齢者がいる
3 介護が必要な障害者 (児) がいる	4 その他 ()

問 8 あなたが活動されている福祉委員会の校区は。(○は1つ)

1 池田校区	2 梅が丘校区	3 神田校区	4 北校区
5 木田校区	6 楠根校区	7 国松緑丘校区	8 啓明校区
9 木屋校区	10 桜校区	11 点野校区	12 成美校区
13 田井石津校区	14 第五校区	15 中央校区	16 西校区
17 東校区	18 堀溝校区	19 三井校区	20 南校区
21 明德宇谷校区	22 明和校区	23 和光校区	

問 9 あなたは近所の人との程度の交流がありますか。(○はいくつでも)

1 困ったときには相談したり助け合う人がある	2 家を行き来するほど親しい人がある
3 道などで会えば親しく話をする人がある	4 あいさつをする程度
5 ほとんど (全く) つきあいはない	
6 その他 ()	

あなたがされている福祉に関する活動についておたずねします。

問10 あなたは、校区福祉委員会活動以外に、福祉に関する活動をされていますか。(○はいくつでも)

1 民生委員活動	
2 校区福祉委員会活動・民生委員活動以外の、地域や施設等でのボランティア活動	
3 自治会、老人会、子ども会、婦人会等の地域組織での福祉に関する活動	
4 NPOなどでの福祉活動 (※NPOとは、営利を目的にせず公共的な活動を行う組織です。)	
5 その他 ()	

問11 あなたは、校区福祉委員会の役員をされていますか。(○は1つ)

1 現在、役員をしている	2 以前に役員をしていた
3 役員をしたことはない	4 その他 ()

問12 現在、福祉の活動 (校区福祉委員会以外の活動も含めて) をされている頻度は。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 週に1～数回	3 月に1～数回
4 年に1～数回	5 ほとんどしていない	6 その他 ()

問13 あなたは、校区福祉委員になる前から、福祉の活動をしていましたか。(○は1つ)

1 していた	2 特にしていなかった
3 その他 ()	

問14 あなたが福祉の活動を始めてからの期間は。(○は1つ)

1 1年未満	2 1年～5年未満	3 5年～10年未満
4 10年～20年未満	5 20年以上	6 その他 ()

問15 あなたが福祉の活動に参加したきつかけは。(○は1つ)

1 自分から活動したいと思って参加した	
2 友人や知人、地域の人などに誘われて、活動に興味をもって参加した	
3 友人や知人、地域の人などに頼まれて、しかたなく参加した	
4 その他 ()	

問16 あなたが福祉の活動を始めたときの気持ちや動機は。(○はいくつでも)

1 他人や社会のために役に立ちたい	2 自分の住んでいる地域をより良くしたい
3 自分の技能や能力、経験を活かしたい	4 自分の生きがいや健康を高めたい
5 新たな友人を得たい	6 自分のためになる技術や技能を習得したい
7 福祉の活動に興味があった	8 以前にボランティアのお世話になった
9 将来、自分自身がボランティアのお世話になるかもしれないと思った	
10 その他 ()	
11 特に明確な気持ちや動機はなかった	

問17 福祉の活動をされていて、つぎのようなことを感じますか。(○はいくつでも)

1	他人や社会のために役に立っている	2	地域が良くなっている
3	自分の技能や能力、経験を活かしている	4	自分の生きがいや健康が高まっている
5	新たな友人を得ることができた	6	自分のためになる技術や技能を習得できた
7	福祉への関心が高まった	8	他人への思いやりやの気持ちが深まった
9	社会で評価されるようになった	10	福祉の課題がより見えるようになった
11	1～10のようなことは特に感じない		

※その他、福祉の活動をする中で感じていることがあれば、お書きください。

問18 福祉の活動をするうえで困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1	活動の時間的な負担が大きい	2	活動の体力的な負担が大きい
3	活動の経済的な負担が大きい	4	家族が活動を理解してくれない
5	いっしょに活動するメンバーが少ない	6	活動のメンバーが高齢化している
7	活動するグループの運営が難しい	8	他の団体等との関係づくりが難しい
9	活動するための場所の確保が難しい	10	活動のための財源の確保が難しい
11	活動がマンネリ化している	12	新しい活動を始めることが難しい
13	活動について相談したり、専門的な支援をしてくれる人がいない		
14	その他		

15 特にない、または、わからない

問19 今後の活動について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1	現在の活動を続けていきたい
2	現在の活動に加えて、新たな活動もしていきたい
3	現在の活動に代えて、新たな活動をしていきたい
4	活動を縮小したい、または、やめたい
5	その他 ()

※「新たな活動を(も)したい」とお答えの方は、どのような活動を考えておられますか。

地域福祉活動をいっそう推進していくための課題などについておたずねします。

問20 福祉の活動をする人を増やすために、あなたが取り組んでいることがありますか。(○はいくつでも)

1	友人や知人、近所の人などに声をかけて、参加を呼びかけている
2	チラシや機関紙、ポスターなどで、広く参加を呼びかけている
3	関わりのある団体等を通じて参加を呼びかけている
4	活動の参加につながる講座やイベントなどを開催している
5	その他 ()
6	福祉の活動に参加する人を増やすことは必要だと思いが、特に取り組みはしていない
7	福祉の活動に参加する人を増やす必要があるとは思わない

問21 今後、特にどのような人に、福祉の活動に参加してほしいと思いますか。(○は2つまで)

1	元気な高齢者	2	定年退職者や子育ての手が離れた世代の人
3	P T Aや自治会などの活動の経験者	4	若い世代の人
5	小学生・中学生などの子どもたち	6	地域にある企業の従業員など
7	その他 ()		
8	特にない、または、わからない		

問22 市民が福祉の活動に参加しやすくするために、どのような条件づくりが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	活動に関するさまざまな情報提供	2	気軽に相談できる窓口の充実
3	知識や技術を身につけるための研修	4	活動に関するアドバイザーの派遣
5	活動のための仲間やグループづくり	6	身近に活動ができる場（施設）の充実
7	活動に必要な費用の援助		
8	その他		
9	特にない、または、わからない		

問23 N P Oやコミュニティビジネスなどの、より組織的なたちで福祉の活動をすすめることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ) (※コミュニティビジネスとは、生活に関わる課題を解決するために、地域の人材や資源を活かしてビジネス的な手法で取り組む活動・事業です。)

1	活動を広げる手法としてよいことであり、自分でもやってみたいと思っている
2	活動を広げる手法としてよいことだと思うが、自分ではやるつもりはない
3	福祉の活動の手法として、よいことだとは思わない
4	関心がない、または、わからない
5	その他 ()

問24 あなたは災害時の福祉活動について、どのように思いますか。(○は1つ)

1	災害時に支援が必要な人の役に立つよう、支援する活動に参加したい
2	災害時に活動に参加するのは難しいと思う
3	わからない
4	その他 ()

問25 福祉の活動に関して、協働している団体や機関等がありますか。(○はいくつでも)

1	自治会等の地域組織	2	ボランティア団体	3	NPO
4	福祉の施設や事業所	5	学校・幼稚園等の教育機関	6	一般の企業や事業所
7	社会福祉協議会	8	寝屋川市の関係部局	9	市以外の行政機関
10	その他 (				)
11	他の団体・機関等との協働は特にしていない、または、わからない				

※いずれかの団体・機関等と協働されている方は、どのような内容ですか。
(たくさんある場合は、主なものをお書きください。)

問26 他の団体や機関等との協働をよりすすめていくためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1	団体・機関等が対等な立場で協働ができる場をつくる
2	多様な団体・機関等の活動に関する情報をいっそう公開する
3	団体・機関等をコーディネートするしくみや人を充実する
4	その他 (
5	特にない、または、わからない

問27 市民の活動と行政の協働をよりすすめていくためには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1	市民と協働で実施する事業の数をもっと増やす
2	効果的に協働するために、事業の企画・立案段階から市民が参加できるようにする
3	効果的に協働するために、財源の確保をはじめ、行政が担う役割を充実する
4	市民との協働に関する行政職員の理解を深める
5	行政との協働に関する市民の理解を深める
6	その他 (
7	特にない、または、わからない

問28 市民が福祉活動への寄付をしやすくするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1	共同募金や社協の会費制度などについてのPRを充実する
2	寄付の使い道についていっそうの情報公開をすすめる
3	自治会や関係団体等の理解を得て、協力の呼びかけを充実する
4	その他 (
5	特にない、または、わからない

活動を通してあなたが感じておられる寝屋川市の福祉の課題などについておたずねします。

問29 あなたの地域の福祉に関する環境について、つぎのことは、おおむね5年前とくらべてどのような変化があったと思いますか。
(○は①～⑤のそれぞれに1つずつ)

	かなりよくなった	多少はよくなった	あまり変わらなかった	むしろ悪くなった	わからない
①高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
②障害者が社会に参加し、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
③ゆとりをもって安心して子育てができる	1	2	3	4	5
④子どもが健やかに育つ環境がある	1	2	3	4	5
⑤だれもが生涯学習や好きな活動ができる	1	2	3	4	5
⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある	1	2	3	4	5
⑦世代が違う人どうしの交流がある	1	2	3	4	5
⑧困ったときにもすぐに相談できる	1	2	3	4	5
⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる	1	2	3	4	5
⑩住まいや地域の生活環境がよい	1	2	3	4	5
⑪道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい	1	2	3	4	5
⑫生活のいろいろな面で便利である	1	2	3	4	5
⑬いろいろな活動ができる場が身近にある	1	2	3	4	5
⑭すべての人の人権がまもられている	1	2	3	4	5
⑮災害などに対して安全である	1	2	3	4	5

問30 寝屋川市において、今後おおむね5年間で、特に力を入れて取り組むべき福祉の課題はなんだと思いますか。(○は5つまで)

1	ねたきりや認知症などの高齢者の介護	2	高齢者の生きがいづくり
3	障害者(児)の介護や支援	4	子育てへの支援
5	子どもの健全育成や虐待問題への対応	6	低所得などで生活に困っている人への支援
7	外国籍住民への支援	8	地域の生活環境を良くするための取り組み
9	ボランテニアなどの地域での活動の推進	10	地域の人のつながりづくりや交流の場づくり
11	日常のちよっとした支援を行う活動	12	災害時の高齢者・障害者等の支援体制づくり
13	福祉の支援が必要な人などの権利擁護	14	福祉の相談が気軽にできるしくみづくり
15	その他		
16	特にない、または、わからない		

問31 市民が福祉にたいしていっそう相談しやすくするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 福祉に関する市の相談窓口を充実する
- 2 地域包括支援センターなどの相談機関を充実する
- 3 身近な福祉施設・事業所や医療機関・薬局等で相談にのってもらえるようにする
- 4 「まちなか福祉相談所」など、市民も参加する身近な地域の相談窓口を充実する
- 5 地域で相談にのっている民生委員・福祉委員等と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する
- 6 その他〔

7 特にない、または、わからない

問32 あなたは「まちかど福祉相談所」に相談などをしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 支援が必要なケースについて相談した
- 2 地域での活動について相談した
- 3 その他のことについて相談した
- 4 相談ではないが、話を聞いてもらった
- 5 相談したり、話を聞いてもらったことはない
- 6 「まちかど福祉相談所」を知らない
- 7 その他（ ）

※まちかど福祉相談所が地域の相談拠点としてより充実するために、どんなことを期待しますか。

問33 日常的に貝守りや生活支援が必要の人が安心して生活できるようにしていくために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う
- 2 自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する
- 3 地域と専門機関との連携を充実する
- 4 希望する人には有償で生活支援を行うしくみをつくる

6 特にない、または、わからない

問34 災害時に地域で支えあう活動をすすめるために、特にどのような条件づくりが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 災害時に支援が必要の人がどこにいるかなどの情報の共有
- 2 地域での防災組織の確立
- 3 災害時に活動のコーディネーターや支援を行う「災害ボランティアセンター」の構築
- 4 災害時の避難や救出等に活用できる資機材の整備
- 5 平時からの意識づくりや話しあい、訓練などの実施
- 6 その他（

7 特にない、または、わからない

-2-

問35 あなたは、活動や日常生活のなかで、虐待や権利侵害を見聞きしたり、それについて通報や相談などをしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 虐待や権利侵害を見聞きし、行政や専門機関等に通報や相談を行った
- 2 虐待や権利侵害を見聞きしたが、通報や相談をしたことはない
- 3 虐待や権利侵害を見聞きしたことはない
- 4 その他（

※虐待や権利侵害をなくすために、どのような取り組みを充実すべきだと思いますか。

問36 寝屋川市の福祉に関してご意見等がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

お答えいただきました調査票は、無記名のまま返信用封筒に入れて、切手を貼らずに3月17日(水)までにポストに入れてください。

$$\infty$$

「寝屋川市地域福祉計画」の見直しに向けた
「暮らしと福祉」についてのアンケート調査
地域福祉活動等に関するアンケート調査
報 告 書

平成22年 3 月

編集・発行 寝屋川市保健福祉部福祉政策課

〒572-8533 寝屋川市池田西町28番22号
(市立総合センター 2 階)

TEL 072-824-1181 FAX 072-838-9800

この冊子は●部作成し、1 部あたりの印刷単価は●円です。